

平成30年度
富良野市観光経済調査報告書

平成31年3月

富 良 野 市

目 次

1 調査の目的と方法概要	1
1.1 調査目的	1
1.2 効果計測の方法	1
2 観光消費実態調査	2
2.1 調査概要	2
2.2 調査結果	3
3 観光経済事業所調査	44
3.1 調査概要	44
3.2 調査結果	46
4 観光経済波及効果の推計	60
4.1 推計の流れと前提	60
4.2 推計結果	66
4.付 雇用効果にかかる検討	70
5 観光に関する住民意識調査	72
5.1 調査概要	72
5.2 調査結果	73
6 富良野観光経済振興の課題と方向	96
参考資料 1 アンケート調査票	98
参考資料 2 観光に関する住民意識調査 自由回答	107

1 調査の目的と方法概要

1.1 調査目的

- ・観光客を対象とした観光消費実態調査（夏季・冬季）および市内の観光事業者等を対象とした観光経済事業所調査を実施し、過去3回（H12・18・25年）実施した調査結果との経年変化や基礎データを得ることにより、現状や今後の動向を把握し、市民・商業者の両者が抱える課題を抽出する。
- ・また、本調査において、新たに観光に関する住民意識調査を実施し、市民の観光に対する考え方、課題等について抽出する。
- ・以上の調査をもとに、およそ10年後を見据えた取り組みの方向性について検討を行う基礎資料に資することを目的とする。

1.2 効果計測の方法

- ・経済効果の計測は、①富良野市に訪れた観光客を対象とした「観光消費実態調査」の結果をもとにした年間観光消費額の推計、②富良野市内の事業者を対象とした「観光経済事業所調査」の結果をもとにした観光関連産業及び市内産業構造の把握を踏まえて、乗数理論に基づき実施した。

2 観光消費実態調査

2.1 調査概要

(1) アンケート調査の実施方法・期間

- ・アンケート調査の実施方法、および、実施期間は以下のとおりである。

図表2-1-1 アンケート調査実施地点

時期	実施場所
夏季	【対面調査】 フラノマルシェ／チーズ工房
冬季	【対面調査】 フラノマルシェ／北の峰ターミナル 【留置調査】 民宿あきば／ニュー富良野ホテル／ハイランドふらの／富良野ナチュラックスホテル／富良野プリンスホテル／新富良野プリンスホテル／ホステルトマール／ホテルエーデルヴェルメ

図表2-1-2 実施期間別アンケート回収票数

時期	実施場所	回収票数
夏季	平成30年8月～10月	502票
冬季	平成30年11月～平成31年3月	691票
合計		1,193票

(2) アンケート調査の内容

- ・アンケートの調査項目は以下のとおり（アンケート票は資料編参照）。

図表2-1-3 アンケート調査項目

区分	内容
回答者の属性	住まい／性別／旅行形態／富良野市内観光の回数／市外利用交通機関
目的・情報源・訪問地	旅行の主たる目的／富良野の観光に係る情報源／富良野市内での訪問地
富良野市内での観光消費額	パック・団体旅行の場合の支払額（パック・団体旅行対象）／一人分の宿泊費（パック・団体旅行以外対象）／交通費（パック・団体旅行以外対象）／物品別の購入金額／飲食・サービスに係る購入金額
移住・再訪意識	移住意識／再訪意識とその時期／ 等
富良野観光の印象	満足度／満足・不満足の内容／友人等への紹介

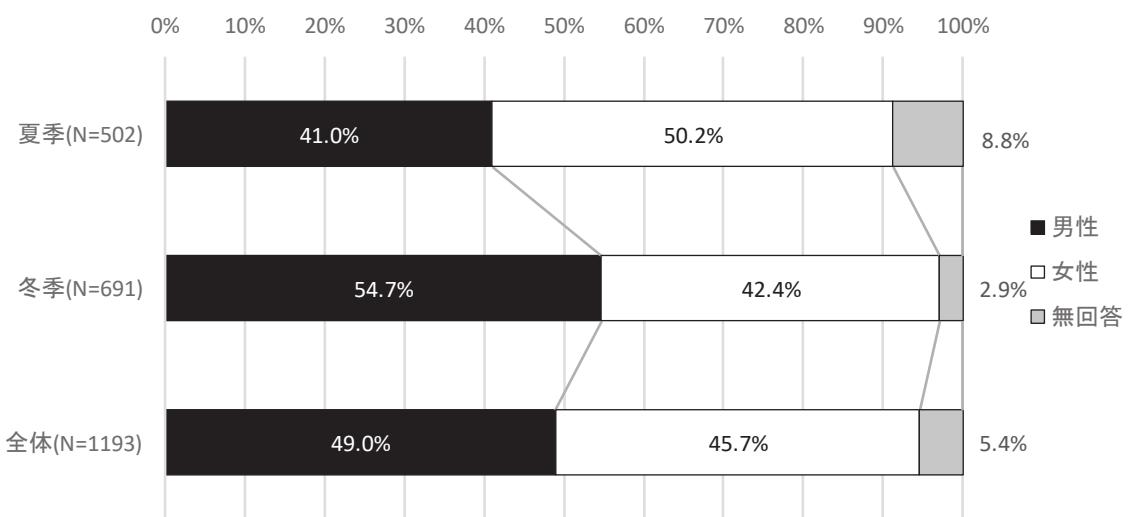
2.2 調査結果

(1) 回答者の属性、旅行形態、観光回数、利用交通機関

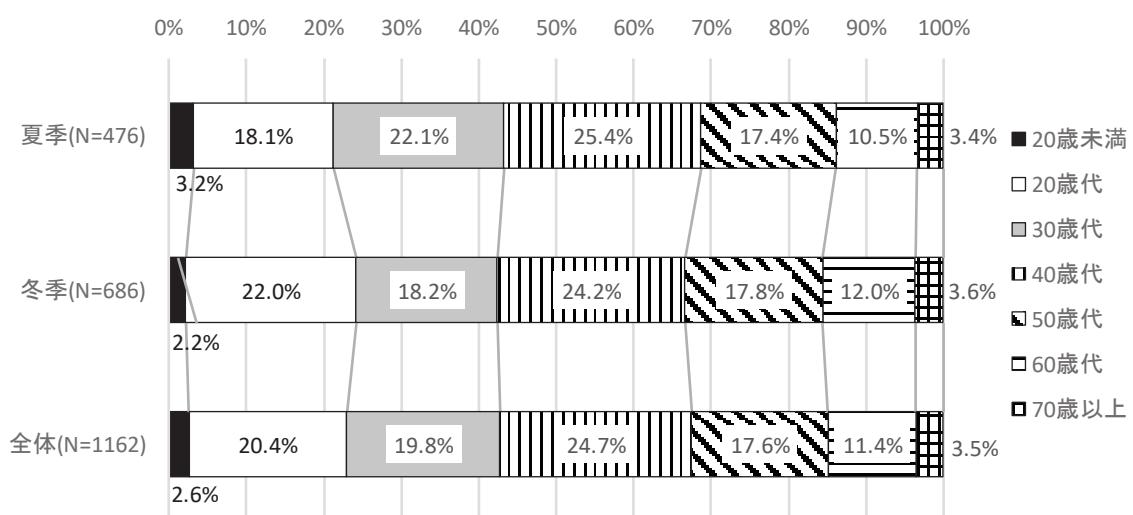
①回答者の属性

- ・男女比は女性がやや多い。
- ・年代は40歳代が最も多く、20歳代、30歳代が次いでいる。
- ・居住地は札幌市をはじめとする石狩管内が最も多く、近隣の上川管内が次いでいる。
道外客は東京都や神奈川県等の首都圏、海外客は豪州や中国が多くなっている。

図表2-2-1 季節別・男女別構成

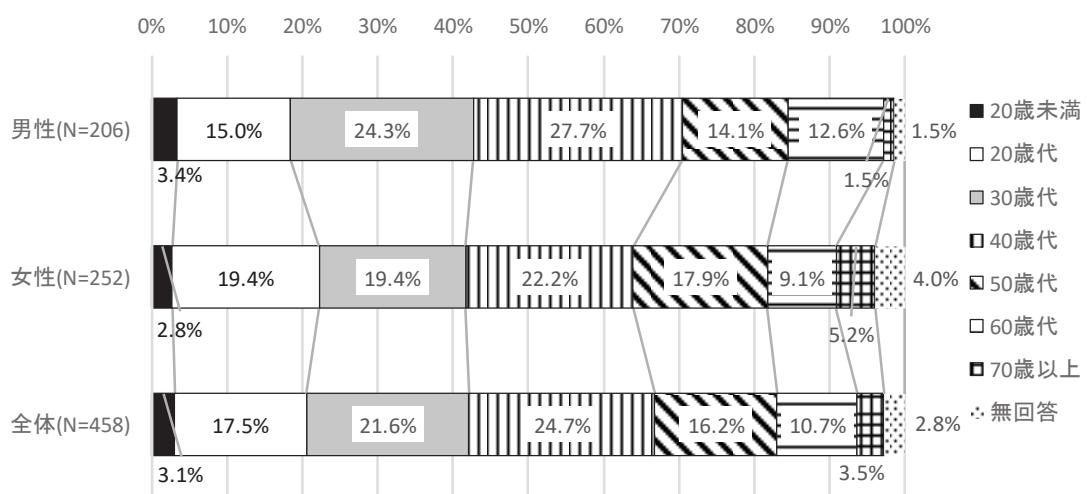


図表2-2-2 季節別・年齢別構成

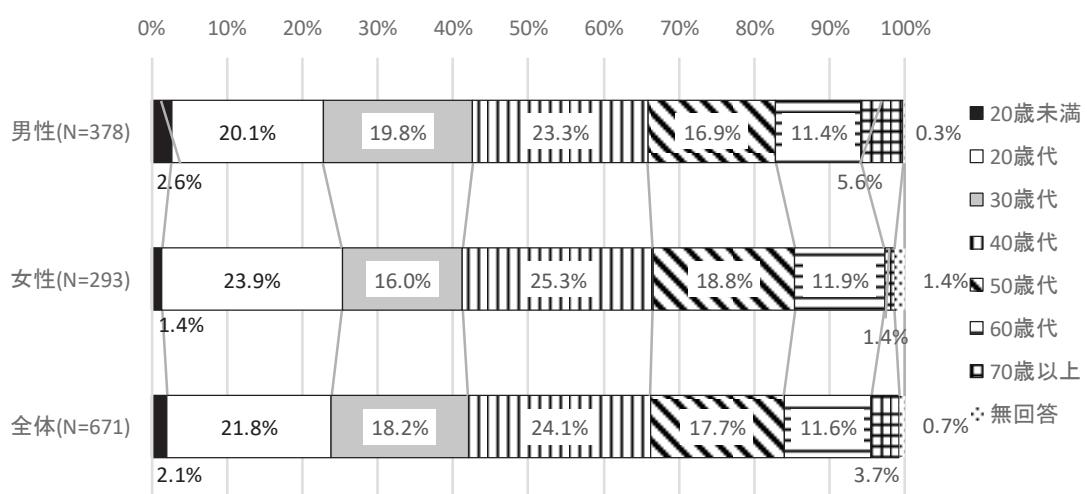


図表2-2-3 季節別・男女別・年齢別構成

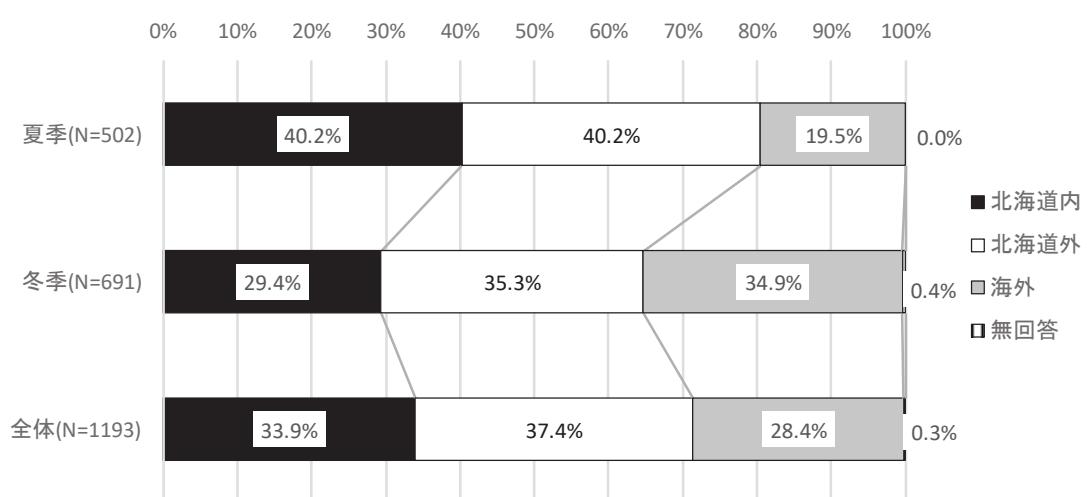
【夏季】



【冬季】



図表2-2-4 季節別・居住地の構成



図表2-2-5 季節別・道内観光客の居住地 圈域別内訳

地域	振興局	市町村	夏季	冬季	合計	
道北	上川	旭川市	49	20	69	
		上富良野町	3	13	16	
		中富良野町	1	6	7	
		美瑛町	6	0	6	
		鷹栖町	3	1	4	
		上川町	3	0	3	
		東神楽町	3	0	3	
		東川町	3	0	3	
		占冠村	1	2	3	
		士別市	1	1	2	
		南富良野町	1	0	1	
		中川町	1	0	1	
	留萌	留萌市	0	1	1	
		遠別町	0	1	1	
道東	オホーツク	稚内市	0	1	1	
		利尻町	0	1	1	
		北見市	4	2	6	
		遠軽町	1	2	3	
		網走市	2	0	2	
	根室	大空町	1	1	2	
		小清水町	0	1	1	
	釧路	根室市	1	2	3	
		別海町	1	0	1	
	十勝	釧路市	3	5	8	
道央		帯広市	12	9	21	
		芽室町	1	2	3	
		更別村	0	2	2	
		新得町	1	1	2	
		幕別町	1	1	2	
		音更町	1	0	1	
		清水町	1	0	1	
		士幌町	0	1	1	
		本別町	0	1	1	
空知	芦別市	8	6	14		
	滝川市	8	4	12		
	岩見沢市	2	3	5		
	赤平市	2	1	3		
	美唄市	1	2	3		
	上砂川町	1	0	1		
	深川市	0	1	1		
	砂川市	0	1	1		
	新十津川町	0	1	1		
石狩	石狩	札幌市	56	73	129	
		北広島市	4	2	6	
		千歳市	2	3	5	
		江別市	3	2	5	
		恵庭市	2	3	5	
		石狩市	1	0	1	
		当別町	0	1	1	
胆振	後志	小樽市	2	2	4	
		苫小牧市	0	4	4	
		室蘭市	2	1	3	
		登別市	0	3	3	
		厚真町	0	1	1	
		伊達市	0	1	1	
		むかわ町	1	0	1	
日高	日高	日高町	1	4	5	
		浦河町	0	1	1	
		新ひだか町	0	1	1	
道南	渡島	函館市	0	1	1	
無回答			1	4	5	
合計			202	203	405	

図表2-2-6 季節別・道外観光客の居住地 圈域別内訳

地域	都府県	夏季	冬季	合計
東北	青森県	1	2	3
	宮城県	1	1	2
	山形県	1	1	2
	秋田県	0	1	1
関東	東京都	48	86	134
	神奈川県	24	46	70
	埼玉県	15	19	34
	千葉県	14	15	29
	栃木県	2	2	4
	茨城県	2	0	2
中部	愛知県	18	10	28
	静岡県	8	2	10
	岐阜県	3	3	6
	石川県	2	0	2
	福井県	1	0	1
	富山県	1	0	1
	富山県	0	1	1
関西	大阪府	16	17	33
	兵庫県	7	8	15
	京都府	4	8	12
	奈良県	3	2	5
	和歌山県	3	2	5
	三重県	3	1	4
	滋賀県	2	0	2
中国	広島県	3	3	6
	山口県	5	0	5
	岡山県	2	0	2
	島根県	1	0	1
四国	徳島県	1	0	1
九州	大分県	0	6	6
	福岡県	3	2	5
	熊本県	1	0	1
沖縄	沖縄県	1	2	3
無回答	無回答	6	4	10
合計		202	244	446

図表2-2-7 季節別・海外観光客の居住国・地域内訳

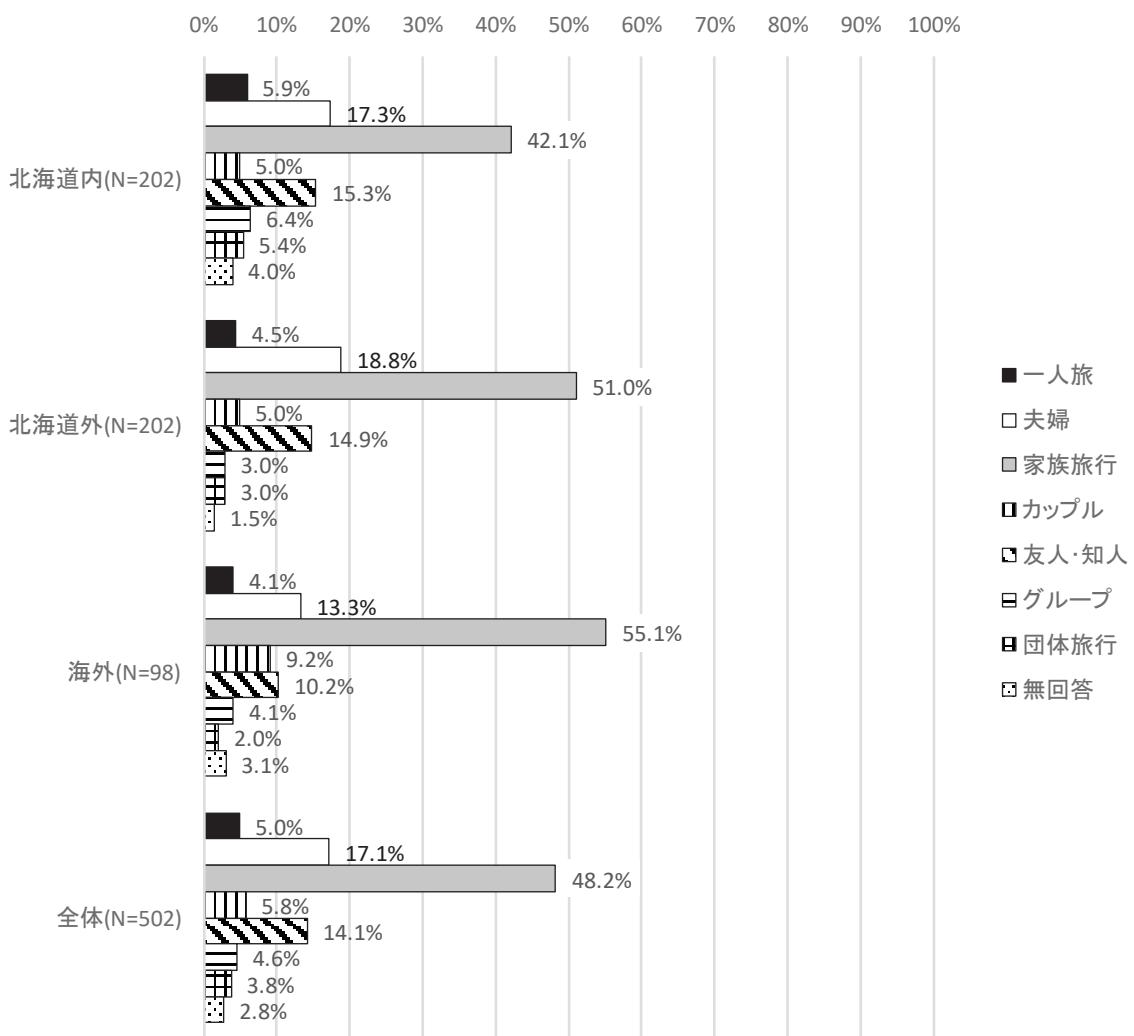
地域	国・地域	夏季	冬季	合計
東アジア	中国	19	48	67
	香港	16	19	35
	台湾	25	7	32
	シンガポール	11	7	18
	マレーシア	4	8	12
	韓国	6	3	9
	タイ	2	6	8
	マカオ	1	0	1
	フィリピン	0	1	1
西アジア	ミャンマー	0	1	1
	イスラエル	0	1	1
オセアニア	豪州	2	61	63
	ニュージーランド	0	6	6
北米	米国	4	17	21
	カナダ	0	11	11
中南米	メキシコ	0	1	1
西欧	英国	2	9	11
	フランス	3	3	6
	スイス		3	3
	オランダ	1	2	3
	アイルランド	0	3	3
	ドイツ	1	0	1
	スペイン	1	0	1
北欧	スウェーデン	0	4	4
	フィンランド	0	1	1
	アイスランド	0	1	1
東欧・ロシア	ロシア	0	9	9
	ポーランド	0	1	1
	リトアニア	0	1	1
無回答	無回答	0	7	7
	合計	98	241	339

②回答者の旅行形態

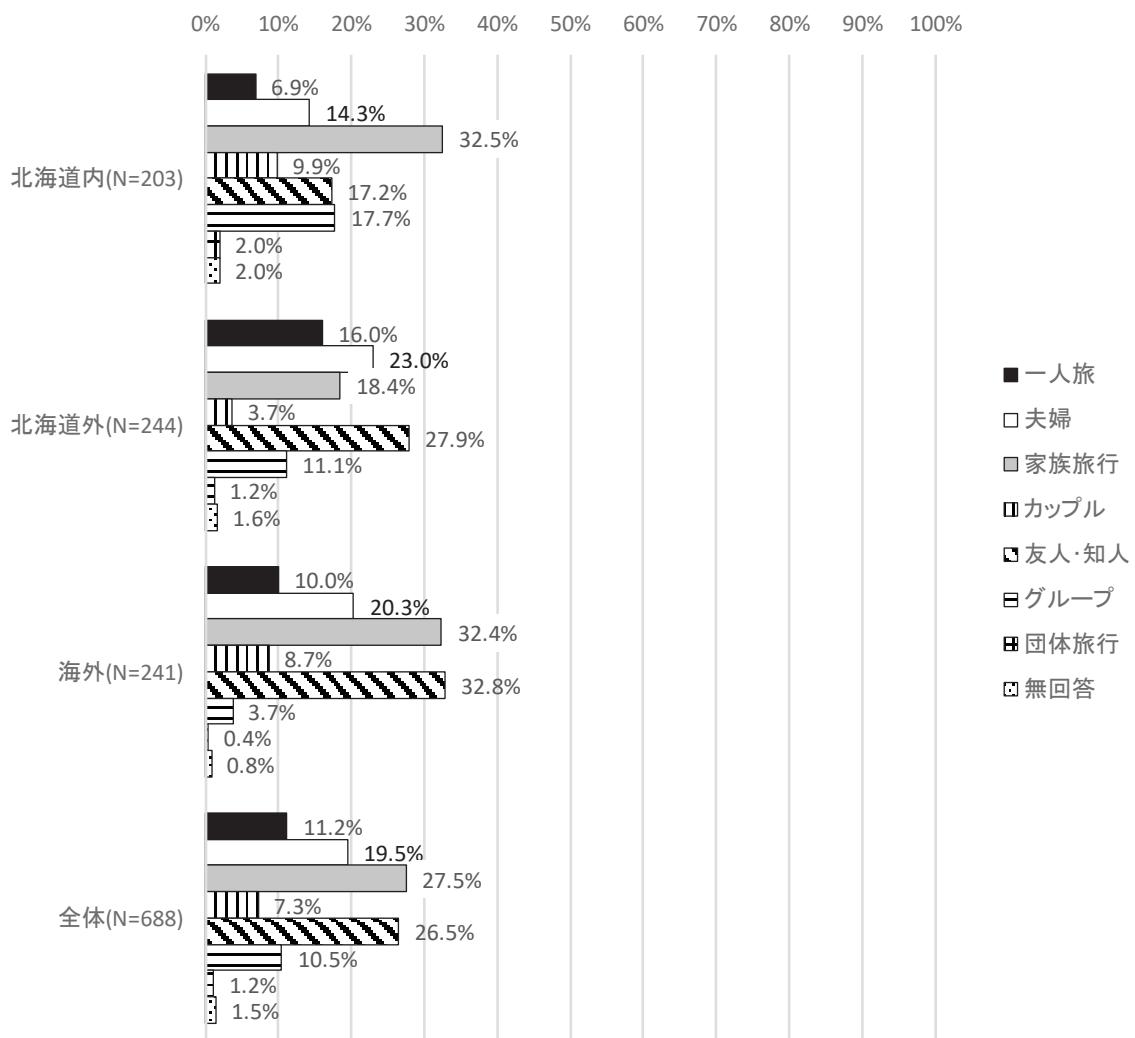
- 旅行形態は「家族旅行」が最も多く、「夫婦」が次いでいる。

図表2-2-8 季節別、道内・道外・海外観光客の旅行形態

【夏季】



【冬季】

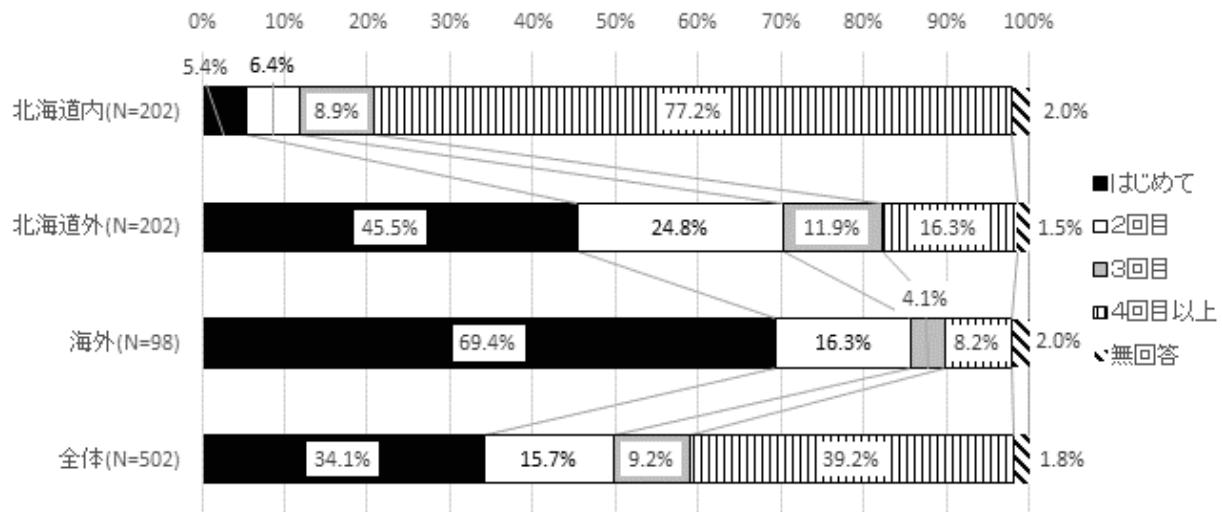


③来富観光回数

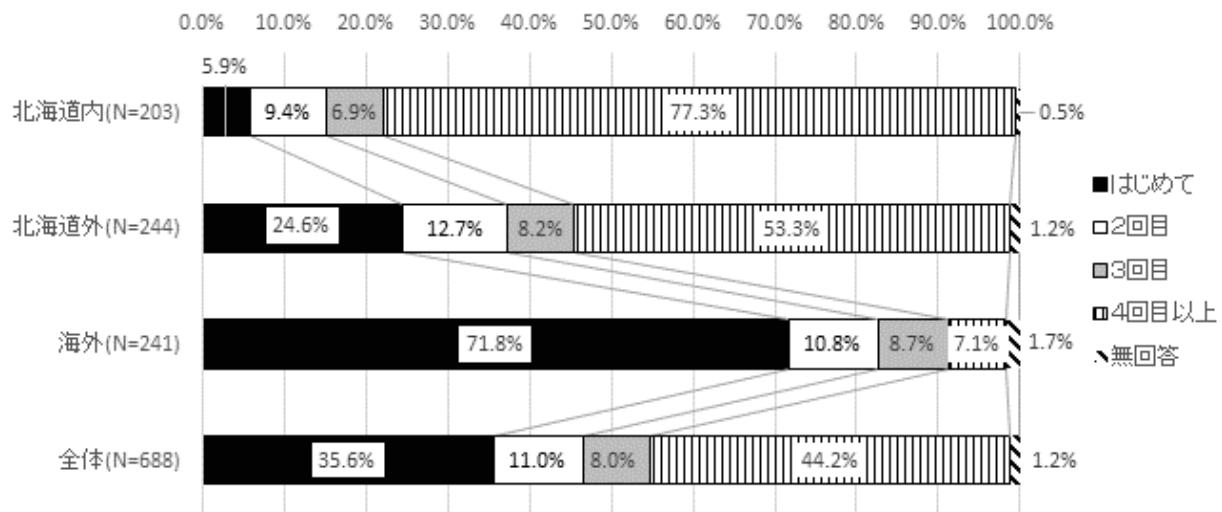
- ・富良野への来訪回数は、道内客は「4回目以上」のリピーター、道外・海外客は「初めて」とする回答が多くなっている。

図表2-2-9 季節別、道内・道外・海外別来富観光回数

【夏季】



【冬季】

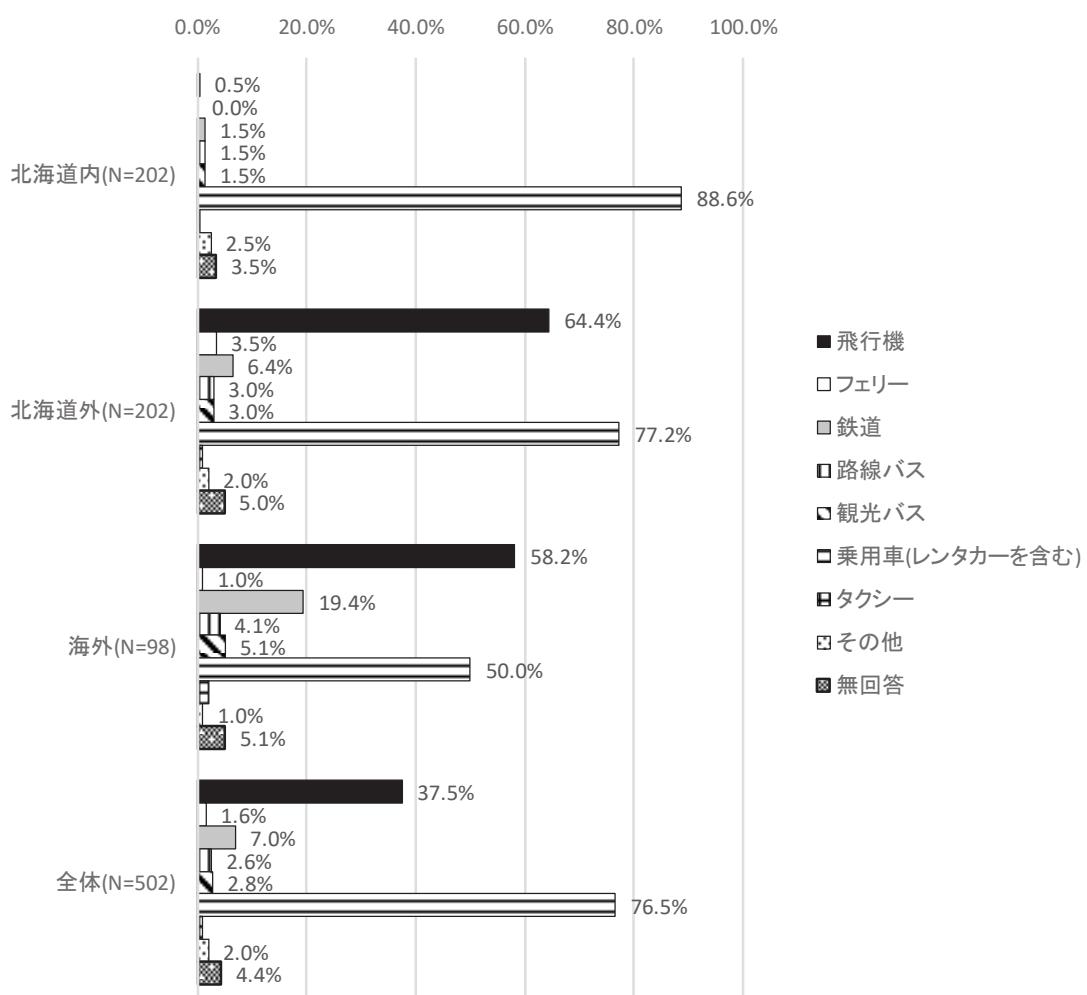


④来富利用交通機関

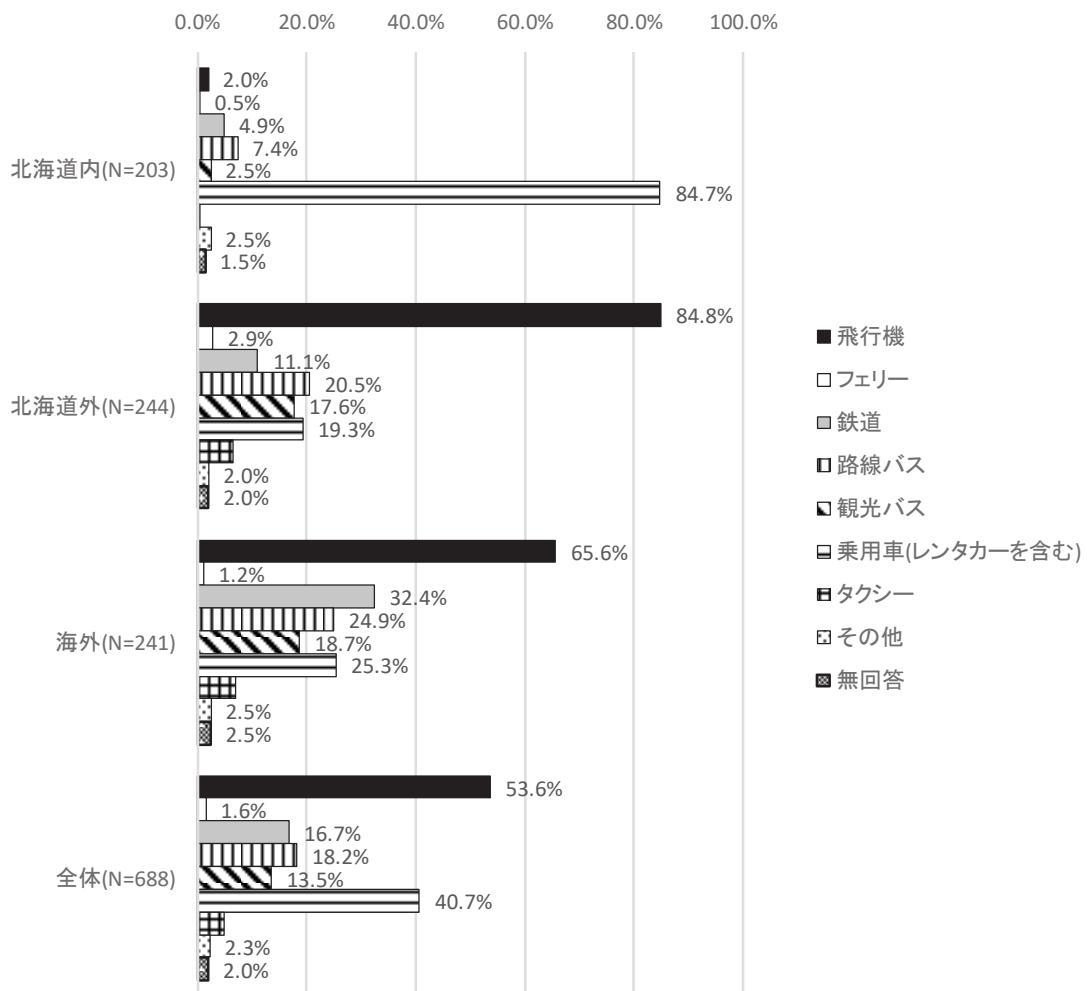
- 利用交通機関は、乗用車（レンタカーを含む）が中心となっている。道外・海外客が利用する航空路線としてはイン・アウトともに新千歳空港、イン・アウトともに旭川空港とする回答が多くなっている。

【夏季】

図表2-2-10 道内・道外・海外別の来富利用交通機関



【冬季】



図表2-2-11 季節別・航空機利用者の乗降道内空港

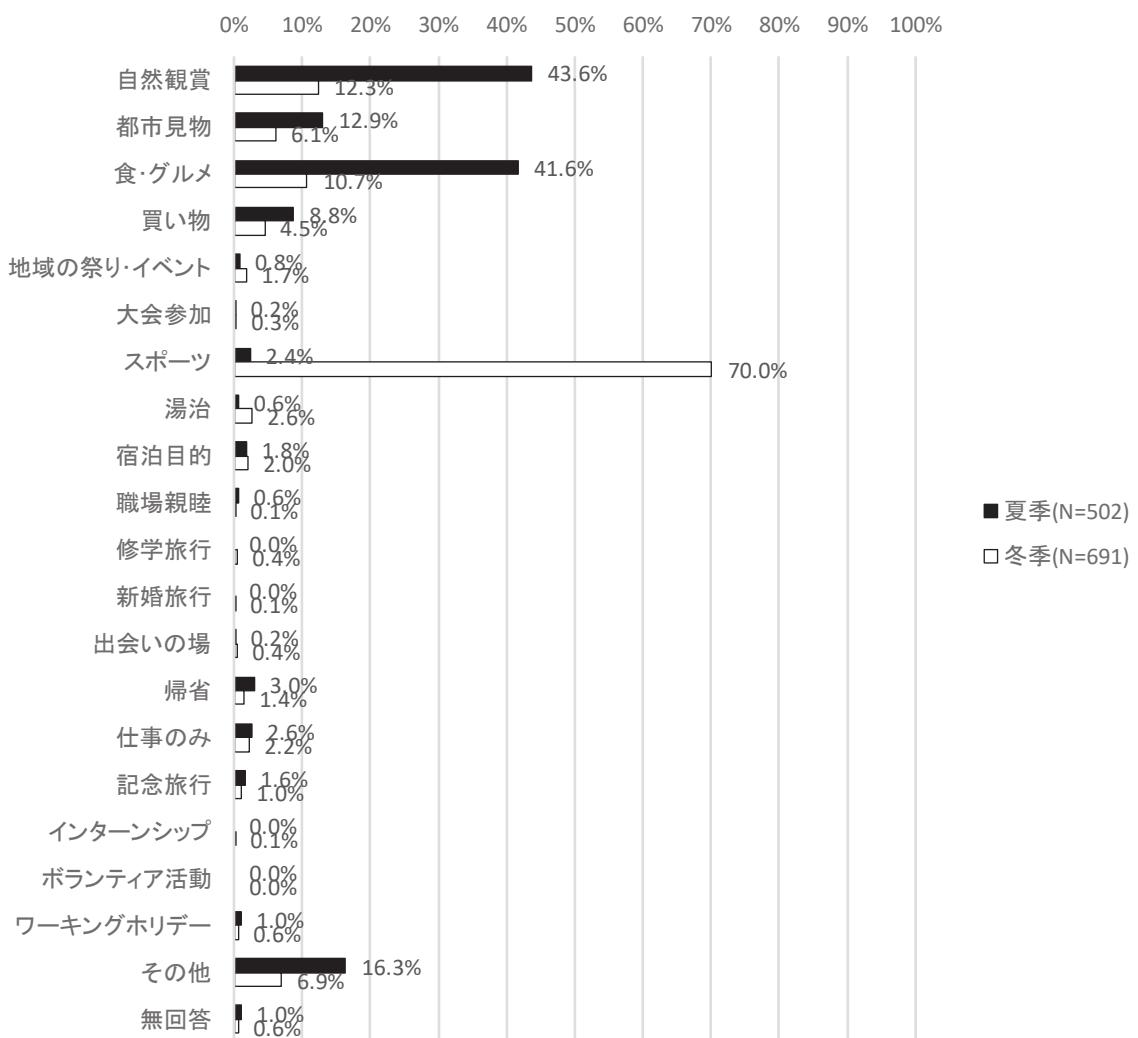
イン	アウト	夏季		冬季	
新千歳空港	新千歳空港	152	74.1%	161	56.7%
	旭川空港	4	2.0%	12	4.2%
	函館空港	2	1.0%	0	0.0%
	帯広空港	1	0.5%	0	0.0%
	女満別空港	0	0.0%	2	0.7%
旭川空港	旭川空港	16	7.8%	90	31.7%
	新千歳空港	14	6.8%	13	4.6%
	函館空港	1	0.5%	0	0.0%
	帯広空港	0	0.0%	1	0.4%
帯広空港	新千歳空港	4	2.0%	0	0.0%
	旭川空港	2	1.0%	0	0.0%
釧路空港	新千歳空港	4	2.0%	1	0.4%
函館空港	新千歳空港	2	1.0%	2	0.7%
	函館空港	1	0.5%	0	0.0%
	女満別空港	1	0.5%	0	0.0%
丘珠空港	丘珠空港	1	0.5%	0	0.0%
釧路空港	釧路空港	0	0.0%	1	0.4%
	旭川空港	0	0.0%	1	0.4%
		205		284	

(2) 旅行目的、情報源、訪問観光地

①旅行目的

- ・夏季は「自然鑑賞」や「食・グルメ」、冬季は「スポーツ」とする回答が多くなっている。

図表2-2-12 旅行目的



図表2-2-13 旅行目的（男女別、年齢別、居住地別詳細）

【夏季】

夏季	全体 (N=502)	男性 (N=206)	女性 (N=252)	20歳未 満 (N=15)	20歳代 (N=86)	30歳代 (N=105)	40歳代 (N=121)	50歳代 (N=83)	60歳代 (N=50)	70歳以 上 (N=16)	北海道 内 (N=202)	北海道 外 (N=202)	海外 (N=98)
自然観賞	43.6%	40.8%	43.3%	33.3%	41.9%	50.5%	43.0%	48.2%	30.0%	25.0%	14.9%	61.9%	65.3%
食・グルメ	41.6%	37.9%	42.1%	60.0%	47.7%	47.6%	38.8%	37.3%	30.0%	12.5%	42.6%	49.5%	23.5%
都市見物	12.9%	14.1%	11.5%	6.7%	17.4%	16.2%	10.7%	10.8%	6.0%	6.3%	6.9%	14.4%	22.4%
買い物	8.8%	9.2%	8.3%	6.7%	5.8%	8.6%	6.6%	8.4%	14.0%	31.3%	12.9%	7.4%	3.1%
帰省	3.0%	3.9%	2.8%	6.7%	0.0%	1.0%	3.3%	2.4%	10.0%	6.3%	5.4%	2.0%	0.0%
仕事のみ	2.6%	3.9%	1.6%	0.0%	3.5%	0.0%	3.3%	4.8%	4.0%	0.0%	4.5%	1.5%	1.0%
スポーツ	2.4%	2.9%	1.6%	0.0%	3.5%	2.9%	1.7%	2.4%	0.0%	0.0%	1.0%	4.0%	2.0%
宿泊目的	1.8%	1.5%	1.6%	0.0%	1.2%	2.9%	1.7%	1.2%	2.0%	0.0%	1.5%	2.5%	1.0%
記念旅行	1.6%	2.4%	0.8%	0.0%	2.3%	1.0%	0.0%	2.4%	4.0%	0.0%	1.0%	2.5%	1.0%
ワーキングホリデー	1.0%	0.0%	2.0%	0.0%	4.7%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	0.0%	0.5%	0.5%	3.1%
地域の祭り・イベント	0.8%	0.5%	1.2%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	2.4%	2.0%	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%
湯治	0.6%	0.5%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%	4.0%	0.0%	0.0%	1.5%	0.0%
職場親睦	0.6%	1.0%	0.4%	0.0%	1.2%	0.0%	0.8%	1.2%	0.0%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%
大会参加	0.2%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%
出会いの場	0.2%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%
修学旅行	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
新婚旅行	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
インターンシップ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
ボランティア活動	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	16.3%	16.5%	17.1%	13.3%	10.5%	10.5%	21.5%	18.1%	18.0%	43.8%	26.2%	13.4%	2.0%
無回答	1.0%	0.0%	1.2%	0.0%	2.3%	1.0%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	3.1%

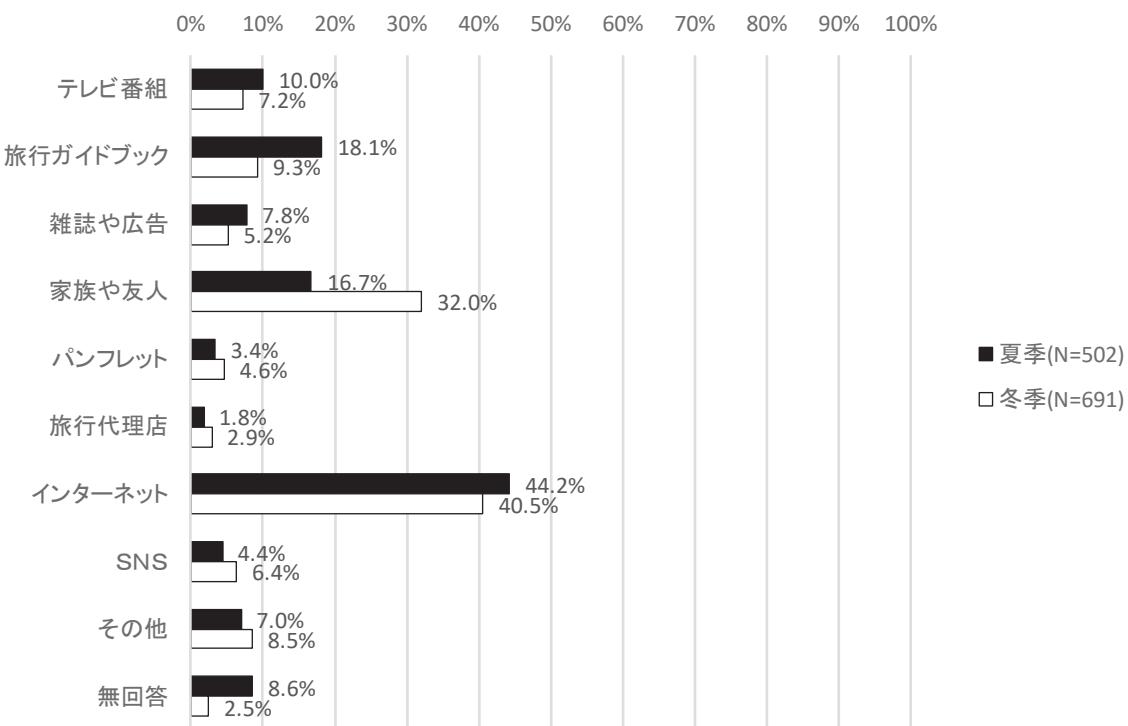
【冬季】

冬季	全体 (N=691)	男性 (N=378)	女性 (N=293)	20歳未 満 (N=15)	20歳代 (N=151)	30歳代 (N=125)	40歳代 (N=166)	50歳代 (N=122)	60歳代 (N=82)	70歳以 上 (N=25)	北海道 内 (N=203)	北海道 外 (N=244)	海外 (N=241)
スポーツ	70.0%	75.1%	62.8%	60.0%	51.0%	72.8%	77.1%	71.3%	84.1%	80.0%	58.6%	79.9%	69.7%
自然観賞	12.3%	11.1%	13.0%	0.0%	23.8%	12.8%	9.0%	9.8%	6.1%	4.0%	3.9%	7.4%	24.1%
食・グルメ	10.7%	11.4%	9.2%	13.3%	14.6%	10.4%	10.8%	10.7%	3.7%	12.0%	13.3%	9.4%	10.0%
都市見物	6.1%	4.8%	7.2%	20.0%	10.6%	7.2%	3.6%	3.3%	4.9%	0.0%	0.5%	3.3%	13.7%
買い物	4.5%	2.9%	6.8%	13.3%	7.9%	4.8%	1.8%	3.3%	2.4%	4.0%	6.9%	1.6%	5.4%
湯治	2.6%	2.4%	3.1%	0.0%	2.6%	4.0%	2.4%	3.3%	1.2%	0.0%	3.0%	0.8%	4.1%
仕事のみ	2.2%	2.1%	2.4%	0.0%	3.3%	4.0%	0.6%	3.3%	0.0%	0.0%	2.5%	3.7%	0.4%
宿泊目的	2.0%	1.9%	2.4%	0.0%	1.3%	3.2%	1.2%	2.5%	2.4%	4.0%	3.0%	1.6%	1.7%
地域の祭り・イベント	1.7%	1.6%	2.0%	0.0%	2.6%	1.6%	1.8%	0.8%	2.4%	0.0%	1.5%	1.2%	2.5%
帰省	1.4%	1.1%	2.0%	0.0%	2.0%	2.4%	1.2%	0.8%	1.2%	0.0%	4.4%	0.4%	0.0%
記念旅行	1.0%	1.9%	0.0%	0.0%	2.0%	0.8%	0.6%	0.8%	0.0%	0.0%	0.5%	1.6%	0.8%
ワーキングホリデー	0.6%	0.3%	1.0%	0.0%	2.0%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	1.2%
修学旅行	0.4%	0.8%	0.0%	13.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%
出会いの場	0.4%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	2.4%	0.0%	0.5%	0.0%
大会参加	0.3%	0.3%	0.3%	0.0%	0.7%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.4%
職場親睦	0.1%	0.0%	0.3%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%
新婚旅行	0.1%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%
インターンシップ	0.1%	0.0%	0.3%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%
ボランティア活動	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	6.9%	6.9%	7.5%	0.0%	6.6%	4.0%	7.8%	9.0%	8.5%	8.0%	12.3%	5.7%	3.7%
無回答	0.6%	0.5%	0.7%	0.0%	0.7%	0.0%	1.2%	0.8%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.8%

②情報源

- ・夏季、冬季ともに「インターネット」とする回答が多くなっている。

図表2-2-14 情報源



図表2-2-15 情報源（男女別、年齢別、居住地別詳細）

【夏季】

夏季	全体 (N=502)	男性 (N=206)	女性 (N=252)	20歳未満 (N=15)	20歳代 (N=86)	30歳代 (N=105)	40歳代 (N=121)	50歳代 (N=83)	60歳代 (N=50)	70歳以上 (N=16)	北海道内 (N=202)	北海道外 (N=202)	海外 (N=98)
インターネット	44.2%	46.1%	43.7%	40.0%	46.5%	53.3%	52.1%	37.3%	20.0%	31.3%	29.7%	54.0%	54.1%
旅行ガイドブック	18.1%	20.9%	17.1%	13.3%	25.6%	21.0%	16.5%	14.5%	22.0%	0.0%	5.0%	33.7%	13.3%
家族や友人	16.7%	16.0%	17.9%	33.3%	16.3%	14.3%	15.7%	15.7%	28.0%	12.5%	24.8%	10.9%	12.2%
テレビ番組	10.0%	7.3%	10.7%	0.0%	4.7%	10.5%	6.6%	18.1%	14.0%	6.3%	10.9%	9.4%	9.2%
雑誌や広告	7.8%	7.8%	7.9%	0.0%	3.5%	7.6%	5.8%	10.8%	16.0%	18.8%	8.9%	9.9%	1.0%
SNS	4.4%	5.3%	3.2%	0.0%	12.8%	5.7%	2.5%	1.2%	0.0%	0.0%	2.5%	3.5%	10.2%
パンフレット	3.4%	2.9%	3.2%	6.7%	1.2%	2.9%	2.5%	4.8%	4.0%	6.3%	1.5%	6.4%	1.0%
旅行代理店	1.8%	1.5%	1.2%	0.0%	1.2%	2.9%	0.0%	1.2%	0.0%	6.3%	0.0%	1.5%	6.1%
その他	7.0%	6.3%	7.1%	6.7%	5.8%	7.6%	8.3%	4.8%	8.0%	0.0%	9.9%	6.9%	1.0%
無回答	8.6%	6.3%	8.7%	6.7%	4.7%	4.8%	5.8%	15.7%	8.0%	25.0%	14.9%	3.0%	7.1%

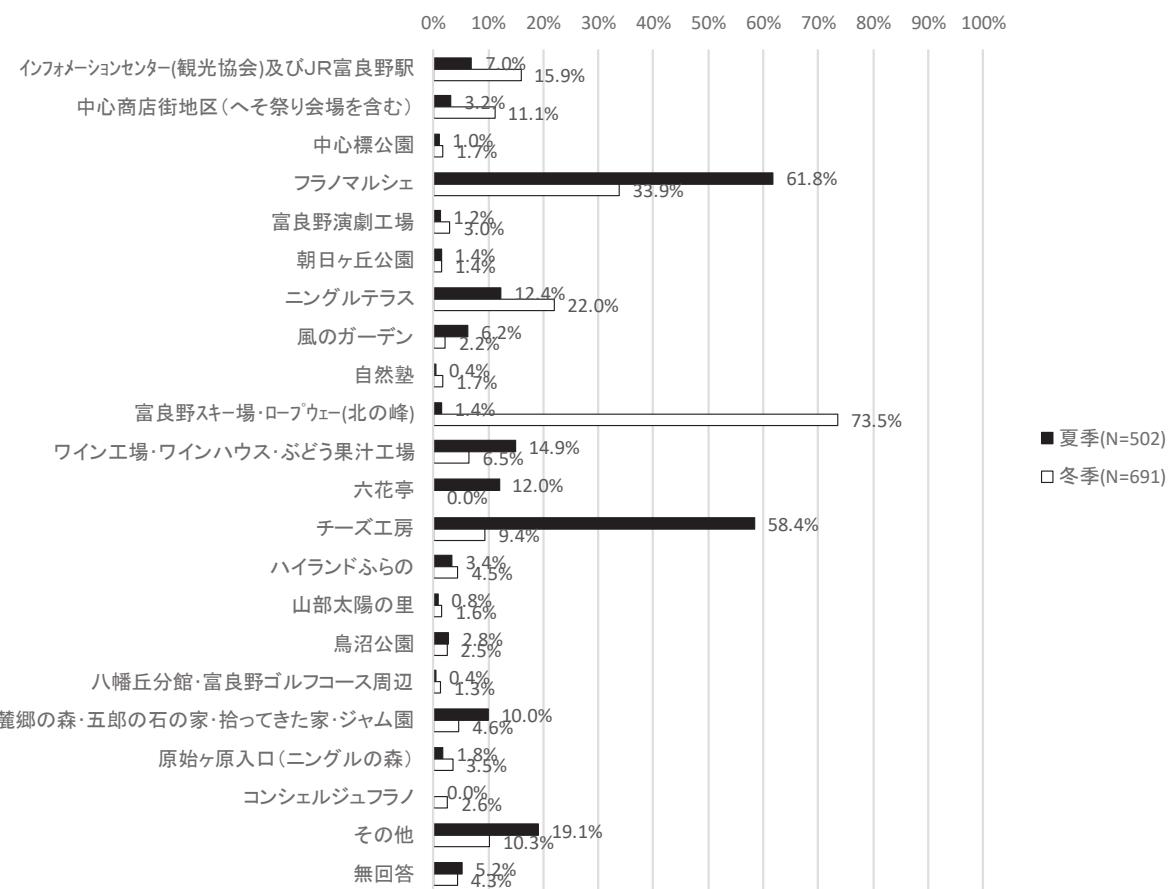
【冬季】

冬季	全体 (N=691)	男性 (N=206)	女性 (N=252)	20歳未満 (N=15)	20歳代 (N=151)	30歳代 (N=125)	40歳代 (N=166)	50歳代 (N=122)	60歳代 (N=82)	70歳以上 (N=25)	北海道内 (N=203)	北海道外 (N=244)	海外 (N=241)
インターネット	40.5%	46.1%	43.7%	20.0%	40.4%	38.4%	49.4%	41.8%	31.7%	32.0%	41.9%	40.6%	39.8%
家族や友人	32.0%	16.0%	17.9%	60.0%	37.7%	47.2%	27.7%	19.7%	24.4%	20.0%	29.1%	27.0%	39.0%
旅行ガイドブック	9.3%	20.9%	17.1%	6.7%	9.3%	6.4%	11.4%	6.6%	11.0%	20.0%	8.9%	12.7%	5.8%
テレビ番組	7.2%	7.3%	10.7%	6.7%	4.6%	4.0%	7.8%	11.5%	8.5%	12.0%	8.9%	8.2%	5.0%
SNS	6.4%	5.3%	3.2%	6.7%	8.6%	8.8%	6.0%	4.1%	3.7%	4.0%	3.4%	4.1%	11.2%
雑誌や広告	5.2%	7.8%	7.9%	0.0%	3.3%	1.6%	4.2%	10.7%	7.3%	12.0%	10.8%	4.9%	0.8%
パンフレット	4.6%	2.9%	3.2%	0.0%	5.3%	0.8%	4.8%	6.6%	8.5%	0.0%	3.9%	7.0%	2.9%
旅行代理店	2.9%	1.5%	1.2%	0.0%	2.0%	0.8%	1.8%	4.1%	8.5%	4.0%	0.0%	3.7%	4.6%
その他	8.5%	6.3%	7.1%	0.0%	8.6%	6.4%	6.6%	12.3%	9.8%	8.0%	7.9%	9.8%	7.9%
無回答	2.5%	6.3%	8.7%	6.7%	2.0%	1.6%	2.4%	3.3%	2.4%	0.0%	3.4%	1.6%	2.5%

③訪問観光地

・夏季は「フラノマルシェ」、「チーズ工房」、「ワイン工場・ワインハウス・ぶどう果汁工場」、冬季は「富良野スキー場」、「フラノマルシェ」、「ニングルテラス」の順となっている。ただし、夏季の「フラノマルシェ」と「チーズ工房」、冬季の「富良野スキー場」と「フラノマルシェ」は対面調査地点であるため件数が多くなることを留意する必要がある。

図表2-2-16 訪問観光地



図表2-2-17 訪問観光地（男女別、年齢別、居住地別詳細）

【夏季】

夏季 (N=502)	夏季 (N=206)	男性 (N=206)	女性 (N=252)	20歳未満 (N=15)	20歳代 (N=86)	30歳代 (N=105)	40歳代 (N=121)	50歳代 (N=83)	60歳代 (N=50)	70歳以上 (N=16)	北海道内 (N=202)	北海道外 (N=202)	海外 (N=98)
インフォメーションセンター(観光協会)及びJR富良野駅	7.0%	6.3%	7.5%	13.3%	12.8%	3.8%	5.0%	9.6%	4.0%	12.5%	3.0%	5.0%	19.4%
中心商店街地区(へそ祭り会場を含む)	3.2%	5.3%	1.6%	0.0%	4.7%	2.9%	0.8%	7.2%	4.0%	0.0%	5.0%	1.5%	3.1%
中心標準公園	1.0%	1.9%	0.4%	0.0%	1.2%	2.9%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	1.0%	2.0%
フランマルシェ	61.8%	70.4%	58.7%	73.3%	66.3%	58.1%	63.6%	65.1%	66.0%	68.8%	81.2%	48.0%	50.0%
富良野演劇工場	1.2%	0.5%	2.0%	0.0%	1.2%	1.0%	0.0%	2.4%	4.0%	0.0%	2.0%	0.5%	1.0%
朝日ヶ丘公園	1.4%	0.5%	2.4%	0.0%	1.2%	0.0%	2.5%	2.4%	0.0%	6.3%	0.5%	0.0%	6.1%
ニンゲルテラス	12.4%	13.6%	12.3%	6.7%	9.3%	21.0%	13.2%	10.8%	8.0%	6.3%	13.9%	8.4%	17.3%
風のガーデン	6.2%	6.3%	6.3%	6.7%	3.5%	3.8%	5.8%	12.0%	12.0%	0.0%	7.4%	4.5%	7.1%
自然塾	0.4%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	1.0%
富良野スキー場・ロープウェー(北の峰)	1.4%	1.0%	2.0%	6.7%	3.5%	0.0%	0.8%	0.0%	4.0%	0.0%	1.5%	0.5%	3.1%
ワイン工場・ワインハウス・ぶどう果汁工場	14.9%	18.4%	12.7%	26.7%	17.4%	13.3%	13.2%	14.5%	16.0%	18.8%	11.9%	16.3%	18.4%
六花亭	12.0%	13.6%	11.1%	6.7%	11.6%	7.6%	13.2%	14.5%	16.0%	18.8%	10.4%	14.4%	10.2%
チーズ工房	58.4%	53.4%	61.5%	40.0%	65.1%	67.6%	53.7%	56.6%	52.0%	50.0%	47.5%	67.3%	62.2%
ハイランドふらの	3.4%	2.9%	4.0%	0.0%	5.8%	4.8%	0.0%	7.2%	2.0%	0.0%	2.5%	4.5%	3.1%
山部太陽の里	0.8%	1.5%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	1.2%	4.0%	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%
鳥沼公園	2.8%	3.4%	2.8%	0.0%	1.2%	1.0%	3.3%	3.6%	8.0%	6.3%	3.5%	2.5%	2.0%
八幡丘分館・富良野ゴルフコース周辺	0.4%	1.0%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	0.0%	0.5%	0.5%	0.0%
麓郷の森・五郎の石の家・拾ってきた家・ジャム園	10.0%	8.3%	11.9%	0.0%	4.7%	8.6%	14.0%	16.9%	6.0%	12.5%	13.4%	8.9%	5.1%
原始ヶ原入口(ニンゲルの森)	1.8%	2.4%	1.6%	0.0%	0.0%	1.9%	2.5%	2.4%	4.0%	0.0%	1.5%	0.5%	5.1%
コンシェルジュフラノ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	19.1%	15.5%	18.3%	20.0%	18.6%	21.9%	16.5%	21.7%	12.0%	6.3%	18.8%	24.3%	9.2%
無回答	5.2%	3.9%	4.0%	6.7%	2.3%	3.8%	5.8%	3.6%	4.0%	0.0%	2.5%	4.5%	12.2%

【冬季】

冬季 (N=691)	冬季 (N=378)	男性 (N=378)	女性 (N=293)	20歳未満 (N=15)	20歳代 (N=151)	30歳代 (N=125)	40歳代 (N=166)	50歳代 (N=122)	60歳代 (N=82)	70歳以上 (N=25)	北海道内 (N=203)	北海道外 (N=244)	海外 (N=241)
インフォメーションセンター(観光協会)及びJR富良野駅	15.9%	16.7%	15.7%	13.3%	28.5%	16.0%	11.4%	11.5%	11.0%	8.0%	6.9%	11.5%	27.4%
中心商店街地区(へそ祭り会場を含む)	11.1%	11.4%	10.9%	6.7%	13.9%	8.8%	13.3%	10.7%	6.1%	8.0%	8.4%	8.2%	16.2%
中心標準公園	1.7%	1.6%	1.7%	6.7%	2.6%	2.4%	1.8%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	4.6%
フランマルシェ	33.9%	27.5%	43.7%	46.7%	35.8%	30.4%	36.7%	36.9%	25.6%	28.0%	58.1%	23.4%	24.1%
富良野演劇工場	3.0%	2.9%	3.1%	20.0%	4.6%	0.0%	1.2%	3.3%	3.7%	4.0%	3.4%	2.9%	2.9%
朝日ヶ丘公園	1.4%	1.6%	1.4%	6.7%	0.7%	0.8%	1.8%	2.5%	1.2%	0.0%	2.0%	0.4%	2.1%
ニンゲルテラス	22.0%	16.9%	29.7%	40.0%	26.5%	16.8%	20.5%	20.5%	24.4%	20.0%	18.7%	27.5%	19.1%
風のガーデン	2.2%	1.6%	2.7%	0.0%	2.0%	3.2%	1.2%	1.6%	2.4%	4.0%	3.0%	3.3%	0.4%
自然塾	1.7%	1.9%	1.7%	6.7%	3.3%	0.0%	1.2%	1.6%	0.0%	4.0%	1.0%	0.8%	3.3%
富良野スキー場・ロープウェー(北の峰)	73.5%	77.8%	67.9%	80.0%	66.2%	76.8%	77.7%	70.5%	78.0%	68.0%	63.1%	74.2%	82.2%
ワイン工場・ワインハウス・ぶどう果汁工場	6.5%	6.3%	7.2%	33.3%	7.9%	7.2%	4.2%	5.7%	2.4%	8.0%	10.8%	2.9%	6.6%
六花亭	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
チーズ工房	9.4%	8.5%	10.9%	40.0%	14.6%	8.8%	7.2%	7.4%	4.9%	0.0%	14.3%	4.1%	10.8%
ハイランドふらの	4.5%	5.0%	4.1%	13.3%	3.3%	2.4%	4.2%	4.9%	7.3%	4.0%	4.9%	4.1%	4.6%
山部太陽の里	1.6%	1.9%	1.4%	13.3%	1.3%	0.8%	1.8%	0.8%	1.2%	0.0%	2.5%	0.4%	2.1%
鳥沼公園	2.5%	2.6%	2.4%	13.3%	3.3%	2.4%	1.8%	0.8%	2.4%	0.0%	3.4%	0.8%	3.3%
八幡丘分館・富良野ゴルフコース周辺	1.3%	1.6%	1.0%	6.7%	2.0%	0.8%	1.2%	1.6%	0.0%	0.0%	0.5%	0.4%	2.9%
麓郷の森・五郎の石の家・拾ってきた家・ジャム園	4.6%	4.2%	5.1%	13.3%	6.0%	2.4%	4.8%	3.3%	6.1%	4.0%	5.4%	4.5%	4.1%
原始ヶ原入口(ニンゲルの森)	3.5%	3.2%	4.1%	13.3%	6.6%	1.6%	1.8%	1.6%	6.1%	0.0%	3.0%	1.2%	5.8%
コンシェルジュフラノ	2.6%	3.4%	1.7%	6.7%	5.3%	1.6%	2.4%	1.6%	1.2%	0.0%	0.5%	0.0%	7.1%
その他	10.3%	10.6%	8.9%	20.0%	13.2%	8.8%	10.8%	6.6%	7.3%	20.0%	11.8%	9.8%	9.5%
無回答	4.3%	4.2%	3.8%	0.0%	3.3%	6.4%	3.0%	4.1%	4.9%	8.0%	0.5%	5.3%	6.6%

(3) 観光消費額

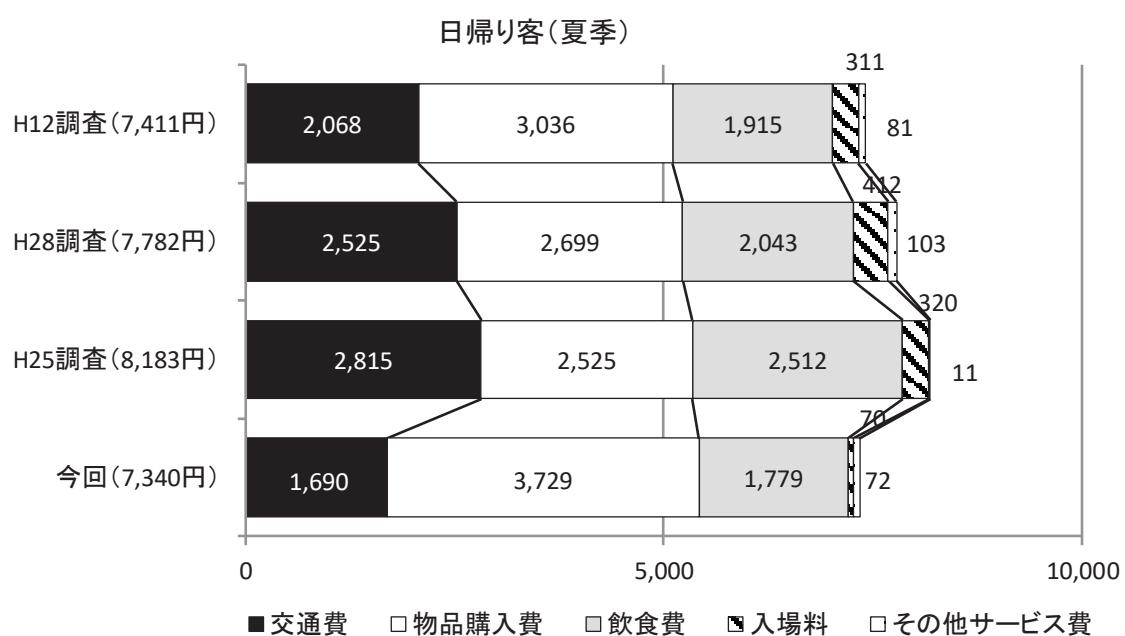
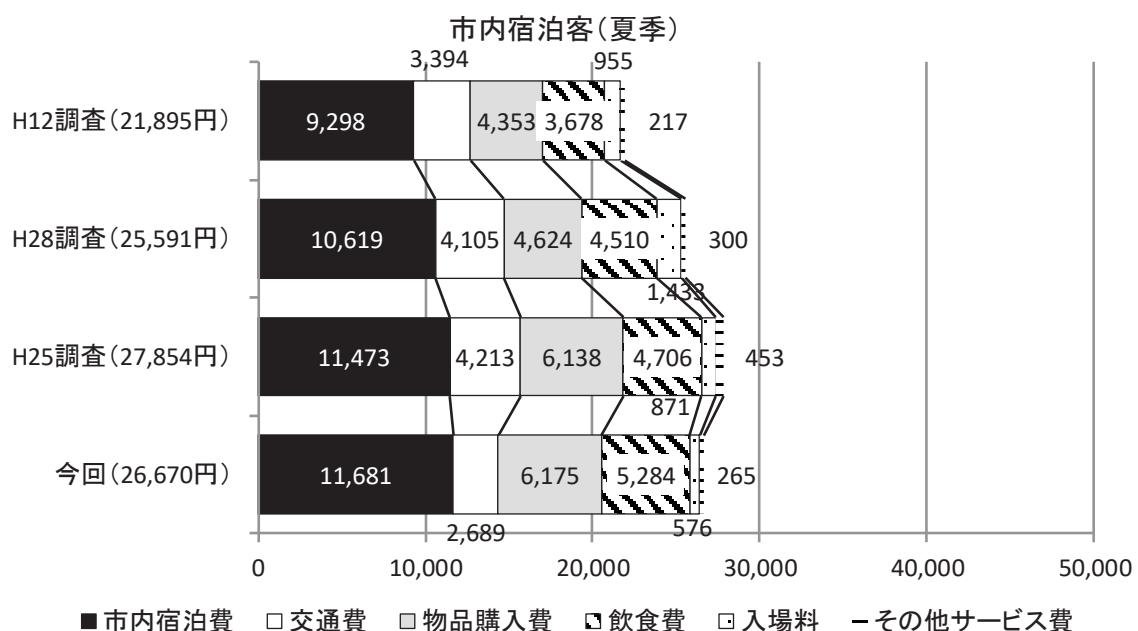
①一人当たり平均観光消費金額

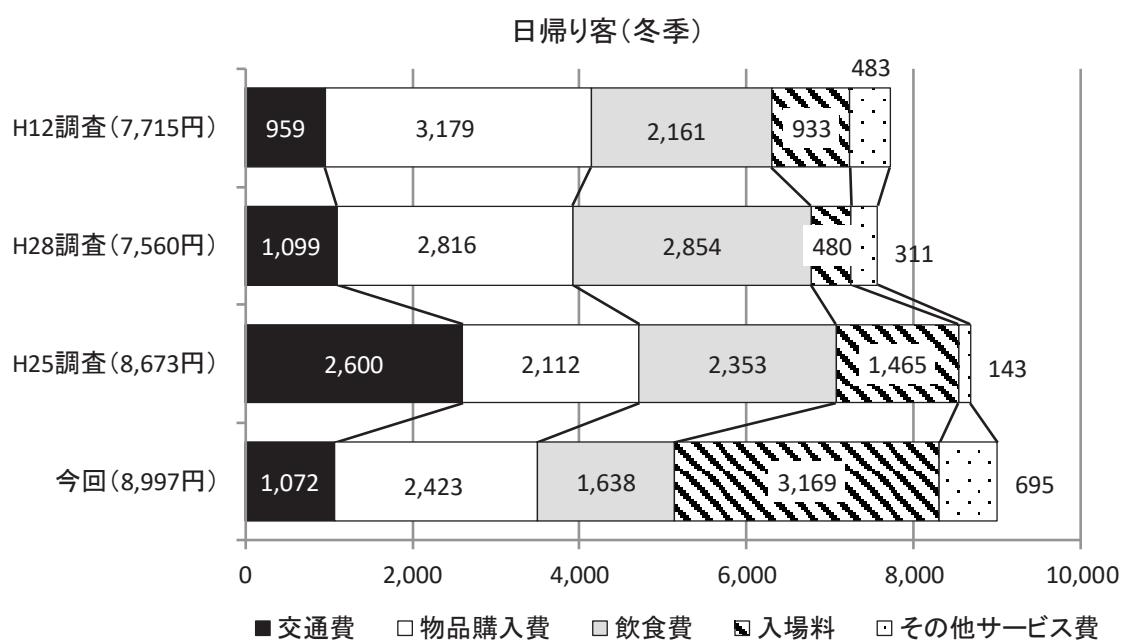
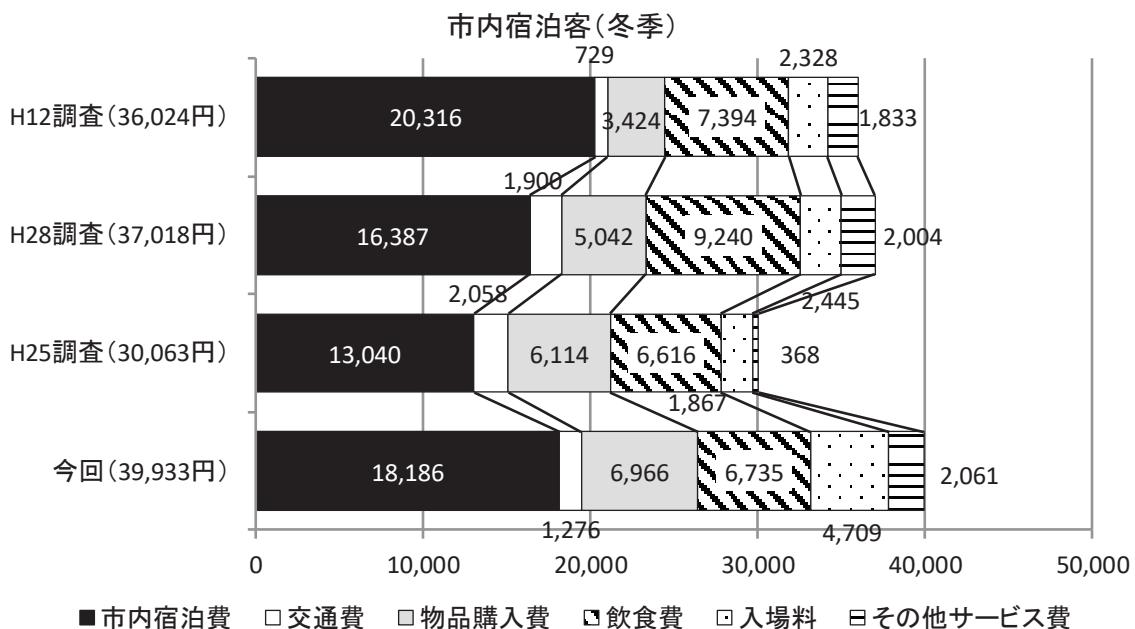
- ・季節別・宿泊日帰り別の一人あたり平均観光消費金額は下記に示すとおりである。
- ・夏季の市内宿泊客は概ね前回調査並となっている。夏季の日帰り客は、物品購入費は前回を上回ったが、交通費や飲食費が減少しており、合計では前回調査をやや下回っている。
- ・冬季の市内宿泊客は、前回調査を大きく上回り、市内宿泊費や入場料（入湯料、スキー・リフト代等）が増えている。市内宿泊費が増えているのは、平均宿泊日数、1泊あたりの宿泊費がともに前回調査を上回っていることによる。（図表2-2-20）冬季日帰り客は、概ね前回調査並となっている。

図表2-2-18 季節別・宿泊日帰り別の一人あたり平均観光消費金額とその内訳

区分		夏季			冬季		
費目		消費額合計(円)	対象観光客数(人)	平均消費額(円)	消費額合計(円)	対象観光客数(人)	平均消費額(円)
市内で宿泊した	合計	3,547,413	133	26,670	17,012,488	426	39,933
	市内宿泊費	1,553,650	133	11,681	7,747,322	426	18,186
	交通費	357,700	133	2,689	543,640	426	1,276
	物品購入費	821,333	133	6,175	2,967,860	426	6,966
	飲食費	702,800	133	5,284	2,869,266	426	6,735
	入場料	76,630	133	576	2,006,280	426	4,709
	その他サービス費	35,300	133	265	878,120	426	2,061
市内で宿泊しない	合計	2,709,890	369	7,340	2,357,850	262	8,997
	市内宿泊費	0	369	-	0	262	-
	交通費	623,810	369	1,690	280,870	262	1,072
	物品購入費	1,376,340	369	3,729	635,000	262	2,423
	飲食費	656,760	369	1,779	429,400	262	1,638
	入場料	26,080	369	70	830,380	262	3,169
	その他サービス費	26,900	369	72	182,200	262	695

図表2-2-19 季節別・宿泊日帰り別の一人あたり平均観光消費金額とその内訳（経年変化）





図表2-2-20 季節別・宿泊日帰り別の平均宿泊日数、1泊あたりの宿泊費（経年変化）

		今回調査	H25調査	H18調査	H12調査
夏季	平均宿泊日数	1.6	2.1	1.5	1.3
	1泊あたり宿泊費	7,094	5,463	7,079	7,152
冬季	平均宿泊日数	3.0	2.5	3.7	3.2
	1泊あたり宿泊費	6,020	5,216	4,429	6,349

図表2-2-21 季節別・道内外別の一人当たり平均観光消費金額とその内訳

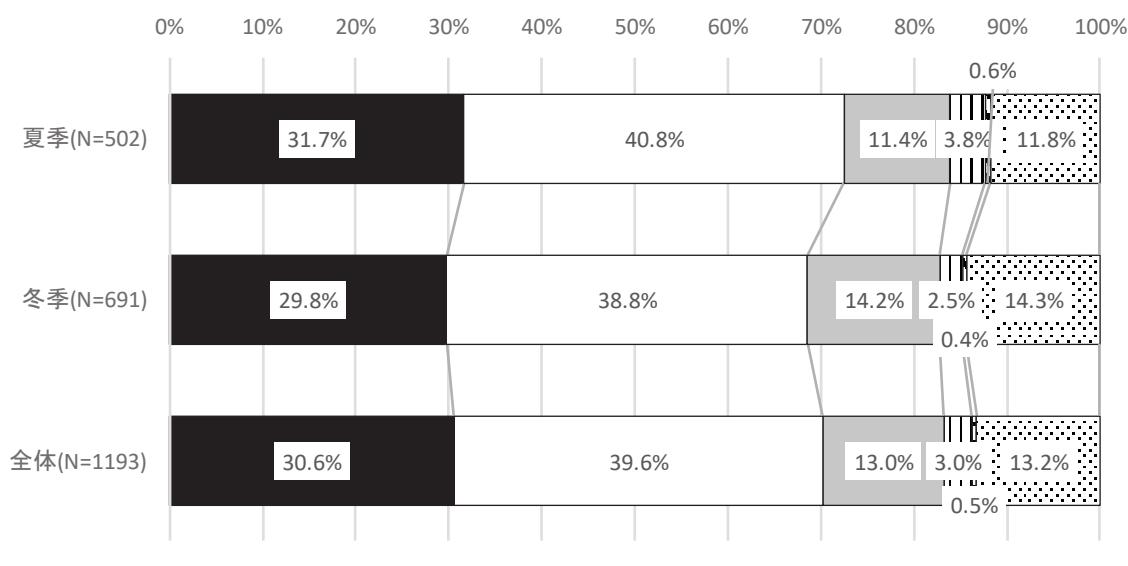
費　目		消費額合計(円)	対象観光客数(人)	平均消費額(円)	消費額合計(円)	対象観光客数(人)	平均消費額(円)
道 内 客	合計	1,411,567	203	6,951	2,213,350	203	10,900
	市内宿泊費	32,667	203	160	578,657	203	2,850
	交通費	349,670	203	1,722	141,370	203	696
	物品購入費	704,820	203	3,472	556,980	203	2,743
	飲食費	316,610	203	1,559	375,883	203	1,851
	入場料	7,800	203	38	481,660	203	2,372
	その他サービス費	0	203	0	78,800	203	388
道 外 客	合計	2,213,350	299	7,399	17,156,989	485	35,372
	市内宿泊費	578,657	299	1,935	7,168,666	485	14,780
	交通費	141,370	299	472	683,140	485	1,408
	物品購入費	556,980	299	1,862	3,045,880	485	6,280
	飲食費	375,883	299	1,257	2,922,783	485	6,026
	入場料	481,660	299	1,610	2,355,000	485	4,855
	その他サービス費	78,800	299	263	98,1520	485	2,023

(4) 富良野への愛着、居住意向、再訪意向

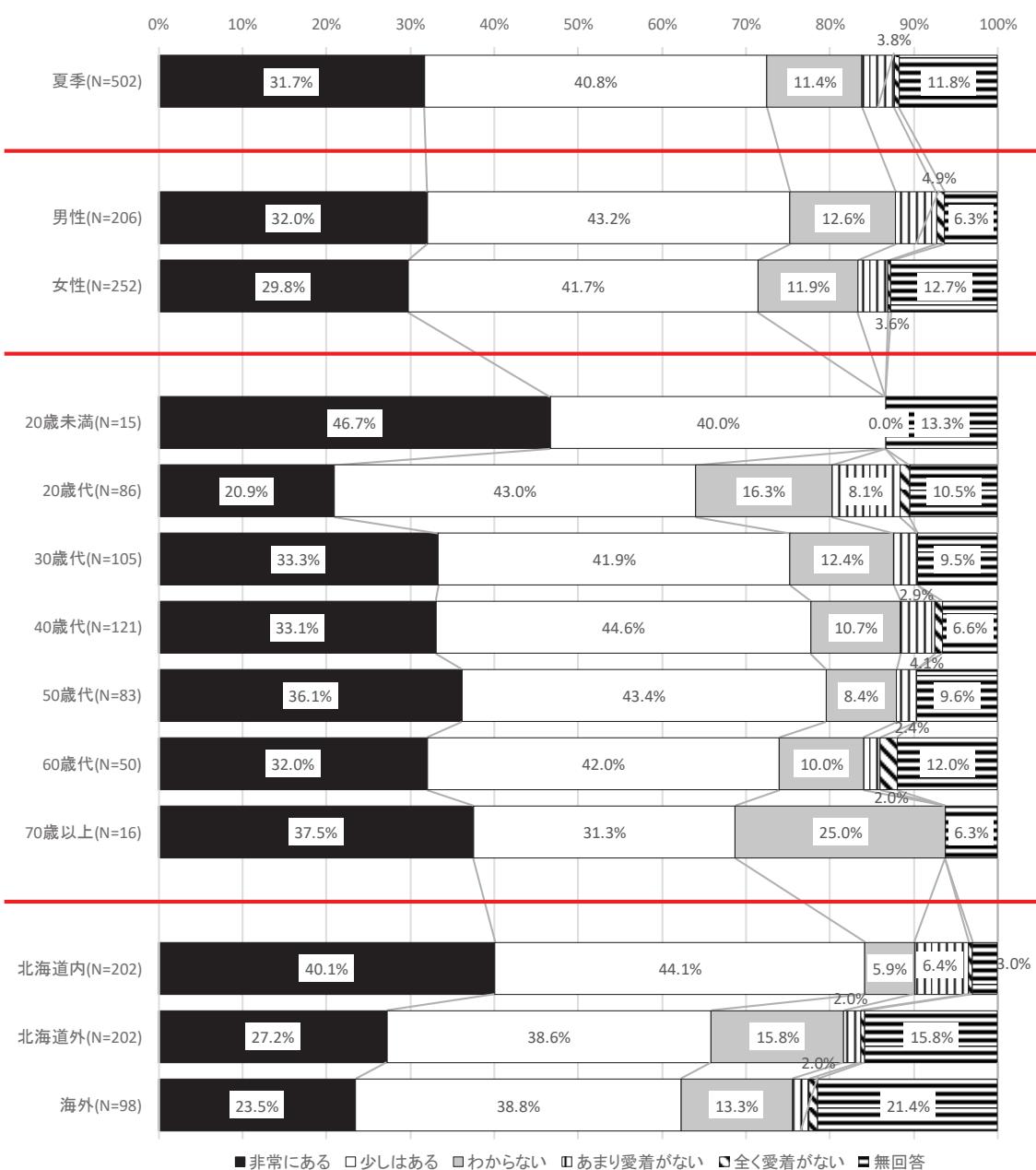
①富良野への愛着

- 「非常にある」と「少しある」の合計は7割程度となっている。

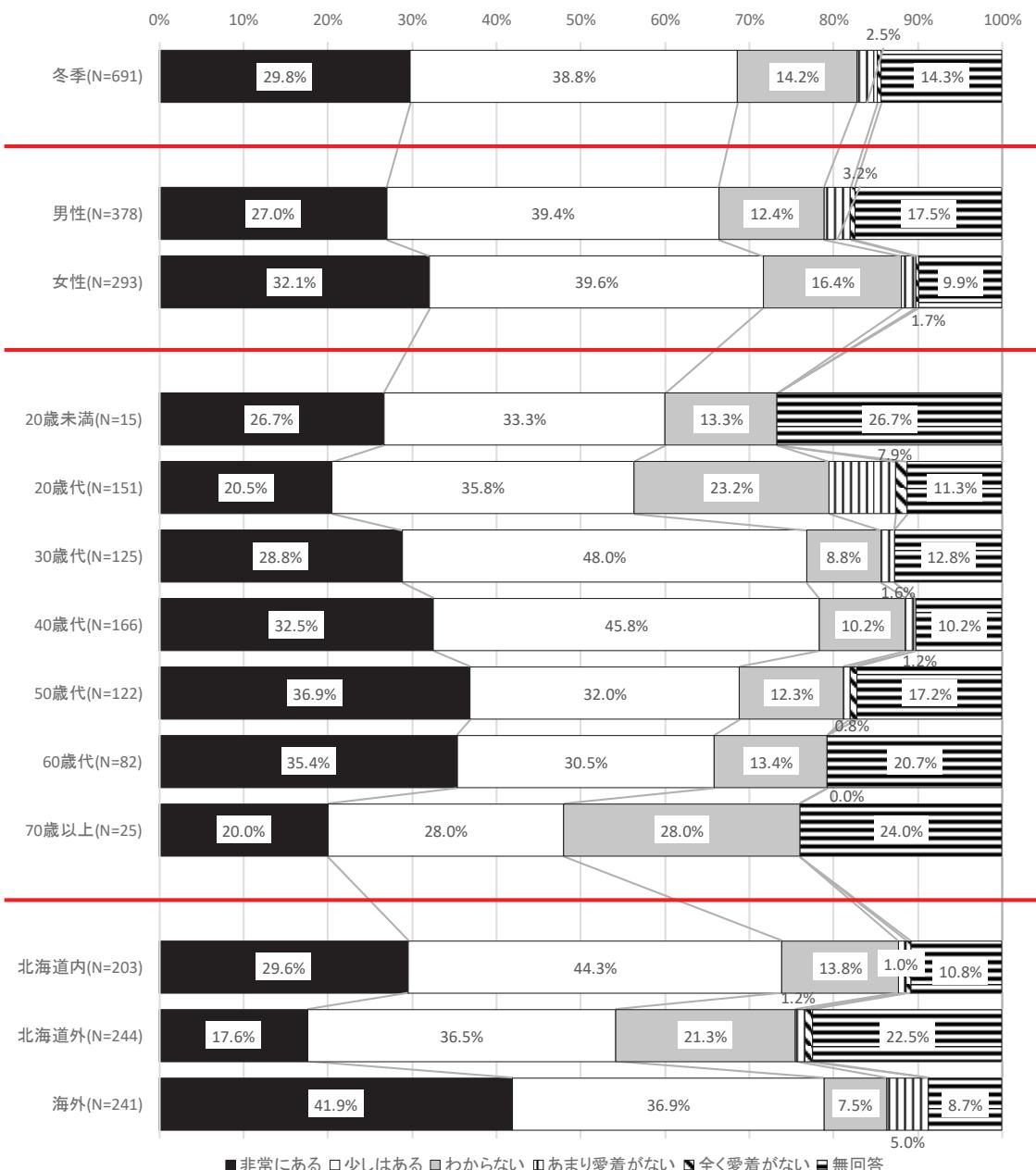
図表2-2-22 富良野市への愛着



図表2-2-23 富良野市への愛着 季節別詳細



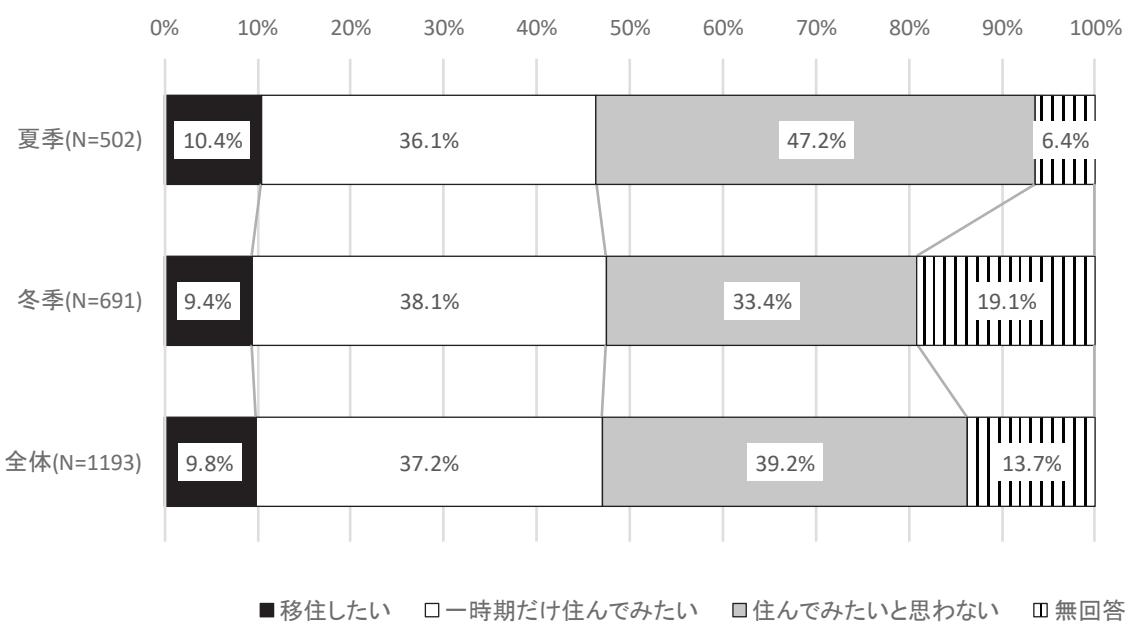
【冬季】



②居住意向

- 「移住したい」とする回答は全体の1割程度。
- 「一時期だけ住んでみたい」とする回答は全体の4割弱。

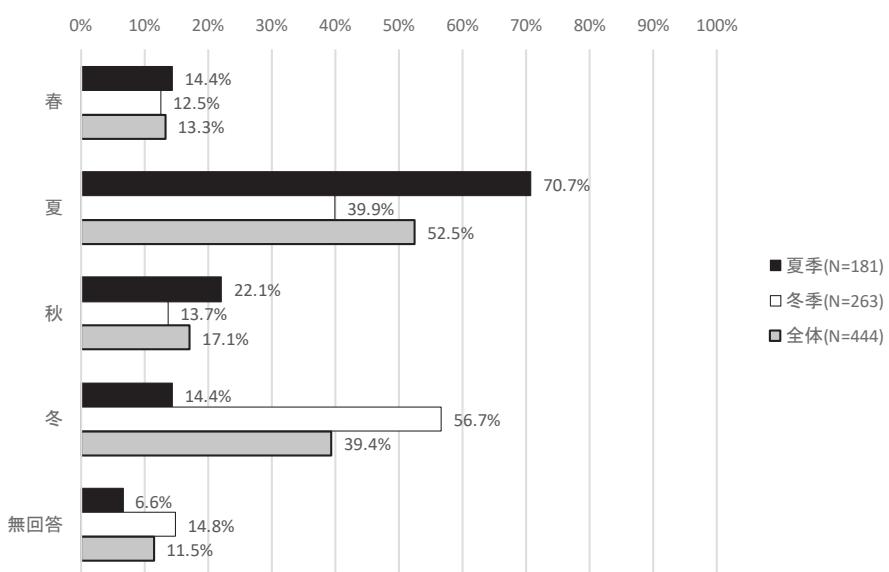
図表2-2-24 富良野市への居住意向



③住んでみたい時期

- 「一時期だけ住んでみたい」と回答者に、住んでみたい季節を尋ねたところ、夏季は「夏」、冬季は「冬」とする回答が多くなっており、来訪した季節を気に入っている様子がうかがえる。

図表2-2-25 富良野市への居住意向 住んでみたい時期



図表2-2-26 富良野市への居住意向 住んでみたい時期詳細

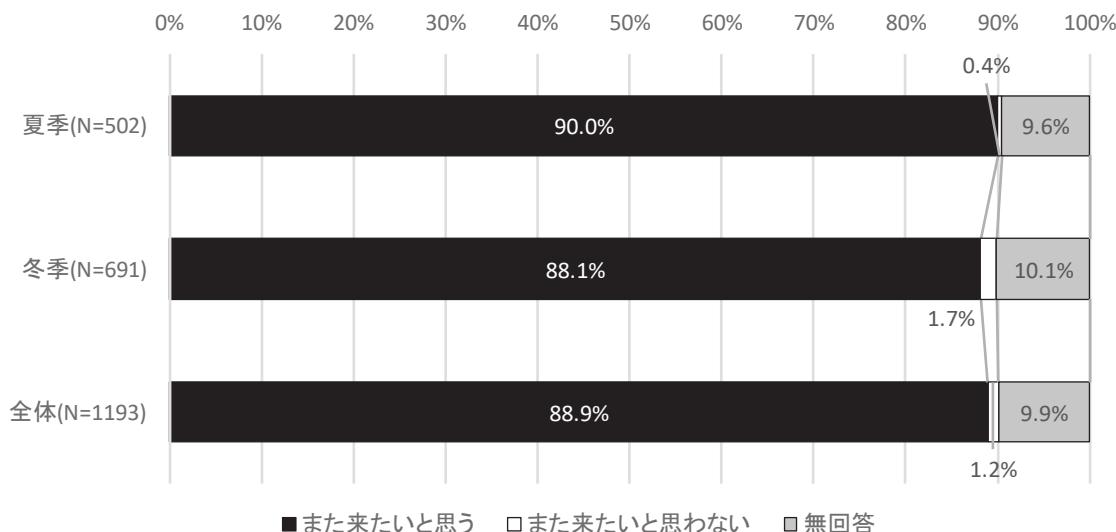
夏季	夏季(N=181)	男性(N=75)	女性(N=94)	20歳未満(N=9)	20歳代(N=34)	30歳代(N=41)	40歳代(N=49)	50歳代(N=25)	60歳代(N=11)	70歳以上(N=2)	北海道内(N=47)	北海道外(N=89)	海外(N=45)
春	14.4%	18.7%	12.8%	33.3%	14.7%	9.8%	14.3%	20.0%	9.1%	50.0%	10.6%	15.7%	15.6%
夏	70.7%	66.7%	74.5%	55.6%	70.6%	61.0%	73.5%	76.0%	90.9%	100.0%	46.8%	88.8%	60.0%
秋	22.1%	21.3%	22.3%	33.3%	14.7%	24.4%	14.3%	40.0%	9.1%	50.0%	34.0%	16.9%	20.0%
冬	14.4%	22.7%	9.6%	22.2%	17.6%	14.6%	10.2%	12.0%	27.3%	50.0%	23.4%	5.6%	22.2%
無回答	6.6%	4.0%	6.4%	11.1%	5.9%	7.3%	8.2%	0.0%	0.0%	0.0%	10.6%	5.6%	4.4%

冬季	冬季(N=263)	男性(N=145)	女性(N=118)	20歳未満(N=4)	20歳代(N=62)	30歳代(N=52)	40歳代(N=74)	50歳代(N=35)	60歳代(N=29)	70歳以上(N=5)	北海道内(N=77)	北海道外(N=101)	海外(N=84)
春	12.5%	15.9%	8.7%	0.0%	19.4%	11.5%	12.2%	8.6%	6.9%	20.0%	13.0%	16.8%	7.1%
夏	39.9%	32.4%	50.4%	0.0%	37.1%	36.5%	40.5%	37.1%	62.1%	40.0%	54.5%	47.5%	17.9%
秋	13.7%	14.5%	13.0%	25.0%	17.7%	11.5%	12.2%	11.4%	10.3%	40.0%	13.0%	16.8%	10.7%
冬	56.7%	63.4%	48.7%	50.0%	54.8%	61.5%	56.8%	54.3%	55.2%	60.0%	42.9%	62.4%	61.9%
無回答	14.8%	13.1%	15.7%	25.0%	17.7%	7.7%	13.5%	22.9%	13.8%	20.0%	14.3%	17.8%	11.9%

④再訪意向

- 「また来たいと思う」とする回答が約9割となっている。

図表2-2-27 富良野市への再訪意向

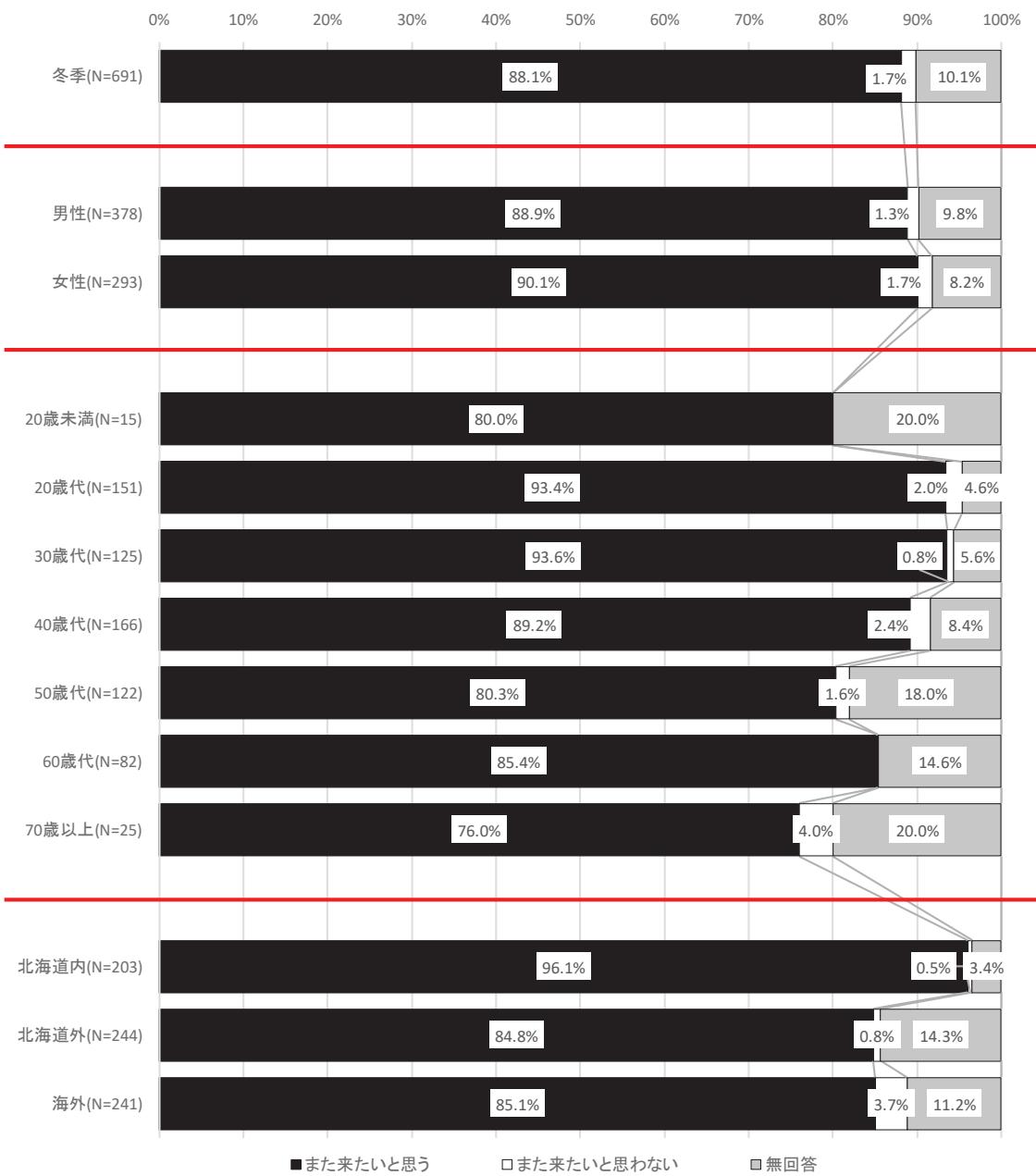


図表2-2-28 富良野市への再訪意向 季節別詳細

【夏季】



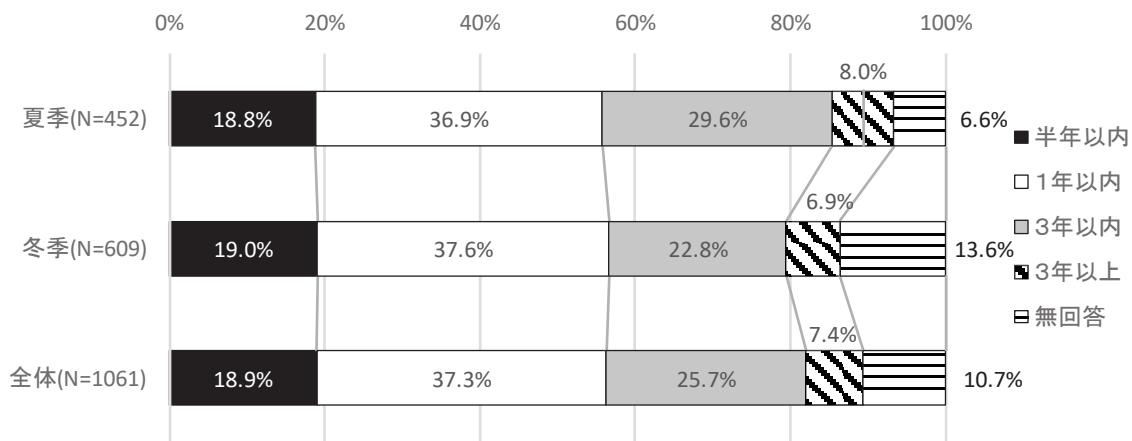
【冬季】



⑤再訪希望時期

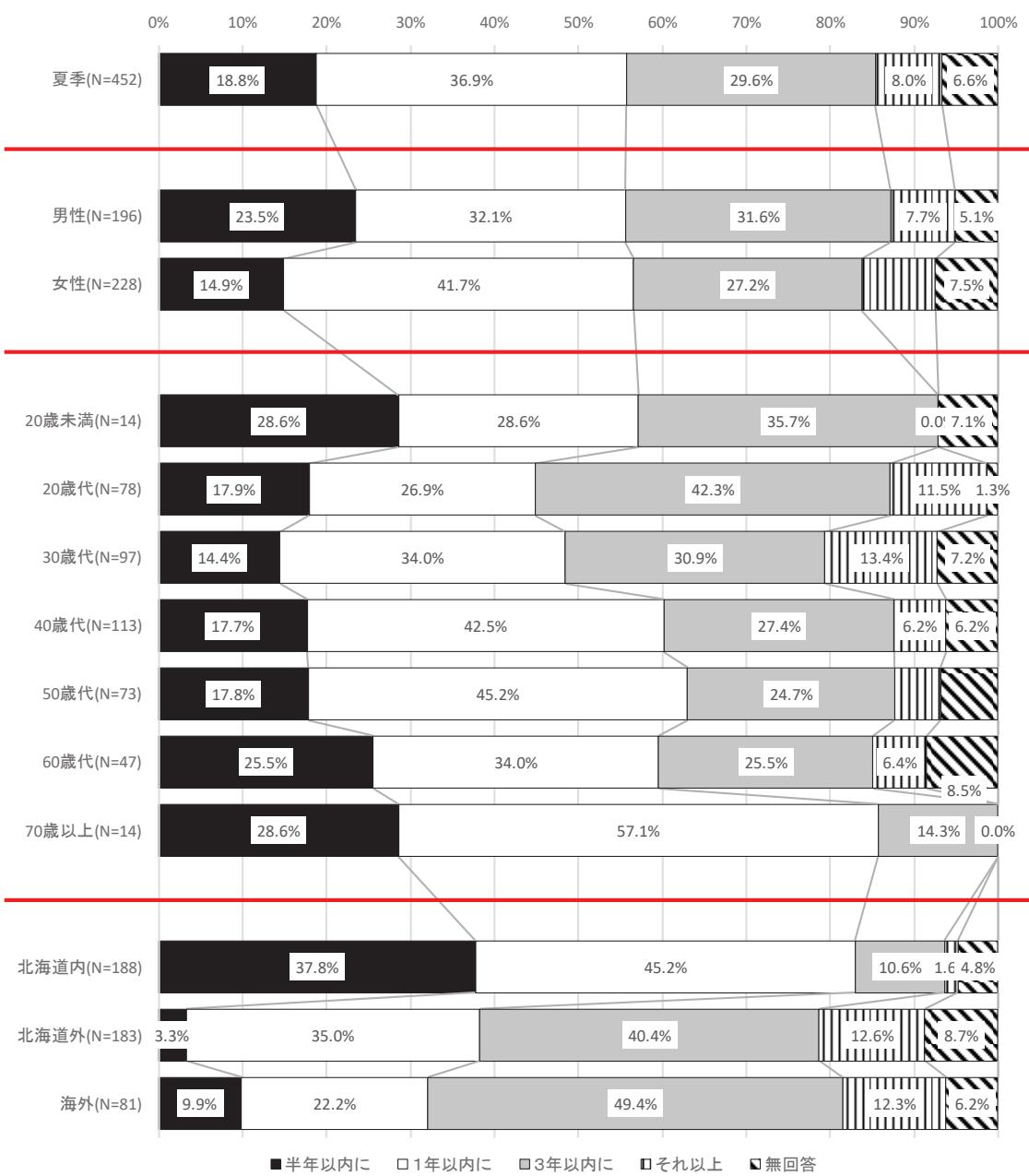
- ・再訪希望時期は「1年以内」とする回答が最も多く、以下「3年以内」、「半年以内」が次いでいる。

図表2-2-29 富良野市への再訪希望時期

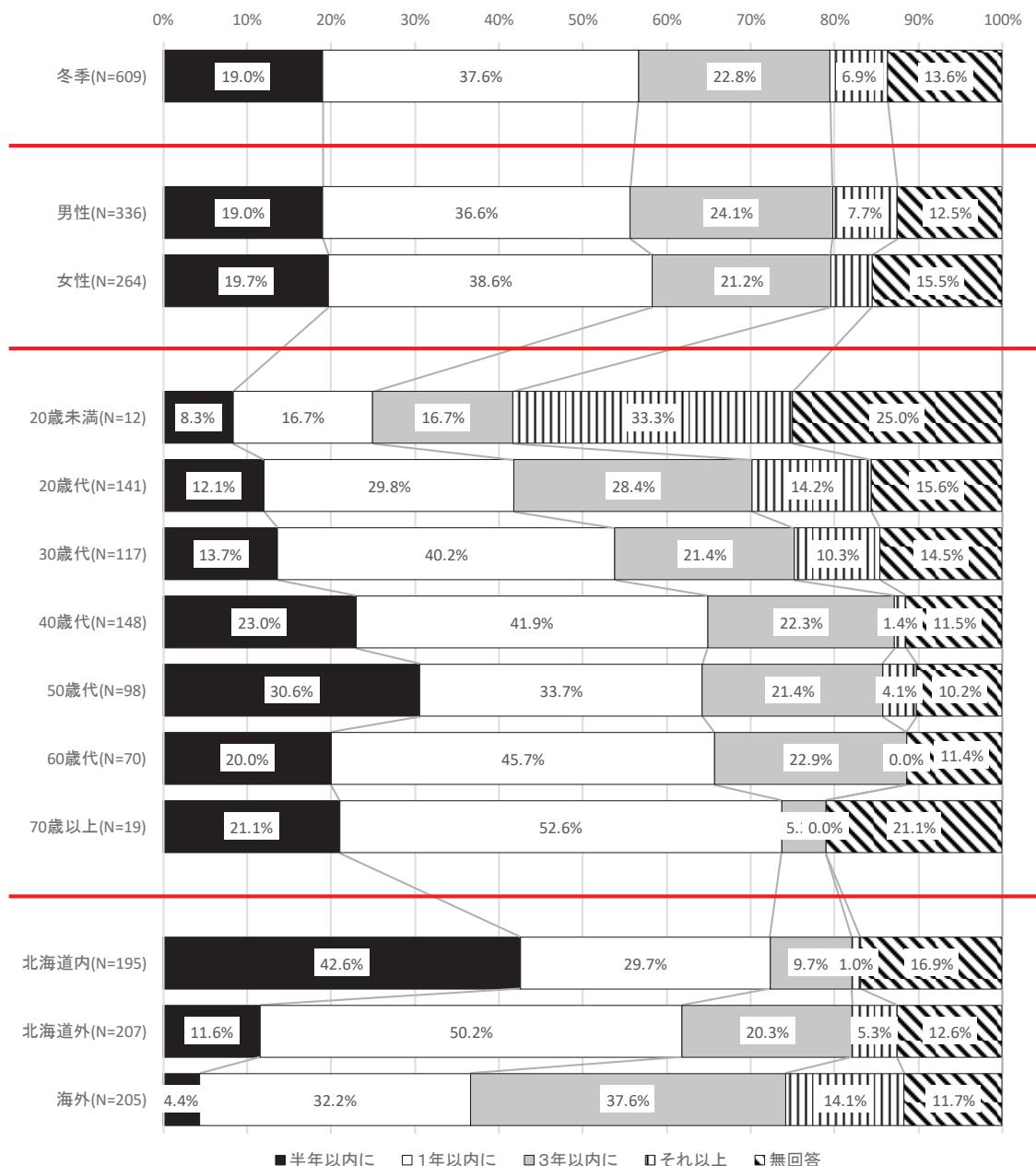


図表2-2-30 富良野市への再訪希望時期 季節別詳細

【夏季】



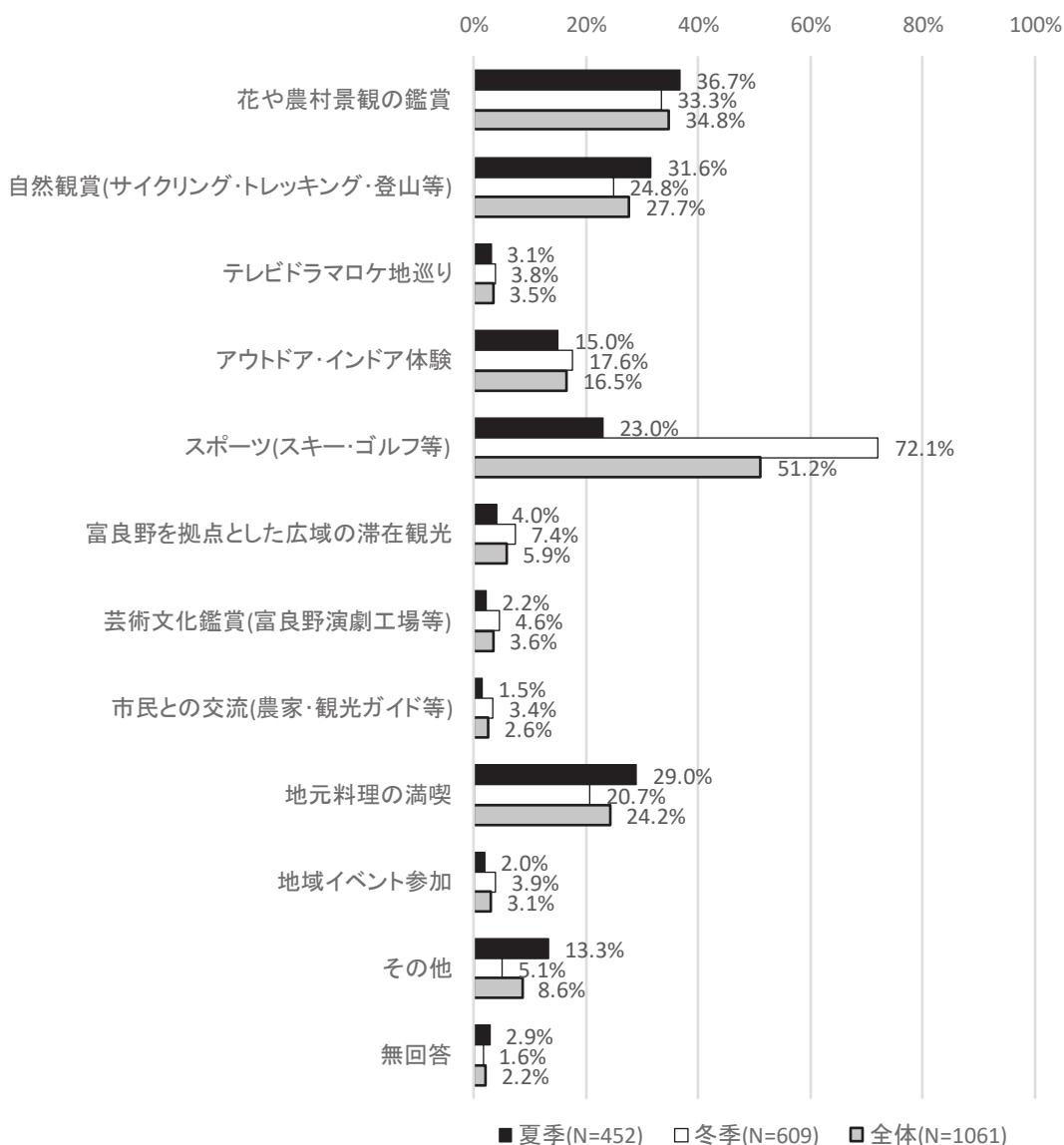
【冬季】



⑥次回来訪時にしたいこと

- ・夏季は、「花や農村景観の鑑賞」、「自然鑑賞（サイクリング・トレッキング・登山等）」、「地元料理の満喫」といった回答が多くなっている。
- ・冬季は、「スポーツ（スキー、ゴルフ等）」、「花や農村景観の鑑賞」、「自然鑑賞（サイクリング・トレッキング・登山等）」といった回答が多くなっている。

図表2-2-31 次回来訪時にしたいこと



図表2-2-32 次回来訪時にしたいこと 季節別詳細

【夏季】

	夏季 (N=452)	男性 (N=196)	女性 (N=228)	20歳未満 (N=14)	20歳代 (N=78)	30歳代 (N=97)	40歳代 (N=113)	50歳代 (N=73)	60歳代 (N=47)	70歳以上 (N=14)	北海道内 (N=188)	北海道外 (N=183)	海外 (N=81)
花や農村景観の鑑賞	36.7%	32.7%	40.8%	28.6%	47.4%	29.9%	41.6%	41.1%	21.3%	28.6%	25.0%	42.1%	51.9%
自然観賞(サイクリング・トレッキング・登山等)	31.6%	32.1%	32.9%	35.7%	32.1%	35.1%	32.7%	24.7%	34.0%	21.4%	25.0%	29.0%	53.1%
テレビドラマロケ地巡り	3.1%	4.1%	1.3%	0.0%	2.6%	2.1%	2.7%	8.2%	0.0%	0.0%	5.3%	1.6%	1.2%
アウトドア・インドア体験	15.0%	14.8%	15.4%	14.3%	21.8%	20.6%	15.0%	8.2%	8.5%	0.0%	12.2%	19.7%	11.1%
スポーツ(スキー・ゴルフ等)	23.0%	27.0%	18.4%	21.4%	33.3%	23.7%	24.8%	20.5%	12.8%	0.0%	14.4%	19.7%	50.6%
富良野を拠点とした広域の滞在観光	4.0%	3.6%	4.4%	0.0%	5.1%	1.0%	5.3%	2.7%	6.4%	7.1%	1.6%	4.9%	7.4%
芸術文化鑑賞(富良野演劇工場等)	2.2%	2.6%	1.8%	0.0%	1.3%	1.0%	1.8%	5.5%	4.3%	0.0%	2.1%	1.6%	3.7%
市民との交流(農家・観光ガイド等)	1.5%	1.5%	1.8%	0.0%	1.3%	1.0%	1.8%	2.7%	0.0%	0.0%	1.1%	1.1%	3.7%
地元料理の満喫	29.0%	32.1%	27.6%	14.3%	30.8%	28.9%	30.1%	34.2%	23.4%	14.3%	41.0%	18.0%	25.9%
地域イベント参加	2.0%	2.0%	2.2%	7.1%	1.3%	1.0%	0.9%	2.7%	6.4%	0.0%	2.7%	1.6%	1.2%
その他	13.3%	11.2%	14.5%	14.3%	6.4%	11.3%	15.0%	8.2%	21.3%	42.9%	19.7%	11.5%	2.5%
無回答	2.9%	3.1%	2.2%	0.0%	1.3%	1.0%	2.7%	2.7%	4.3%	21.4%	1.6%	4.9%	1.2%

【冬季】

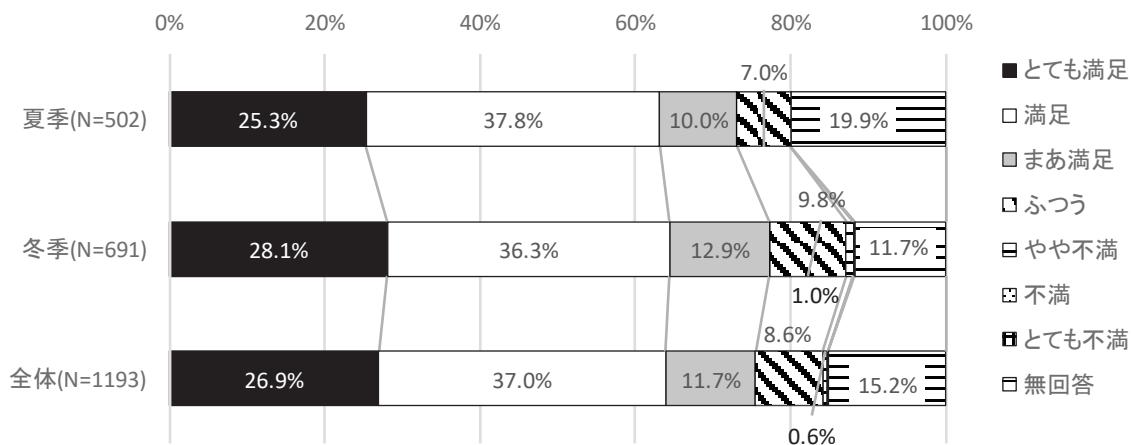
	冬季 (N=609)	男性 (N=336)	女性 (N=264)	20歳未満 (N=12)	20歳代 (N=141)	30歳代 (N=117)	40歳代 (N=148)	50歳代 (N=98)	60歳代 (N=70)	70歳以上 (N=19)	北海道内 (N=195)	北海道外 (N=207)	海外 (N=205)
花や農村景観の鑑賞	33.3%	26.5%	32.7%	33.3%	39.7%	29.1%	34.5%	29.6%	34.3%	21.1%	34.9%	24.2%	41.1%
自然観賞(サイクリング・トレッキング・登山等)	24.8%	24.1%	19.9%	16.7%	29.8%	26.5%	20.9%	24.5%	24.3%	21.1%	17.4%	26.1%	30.4%
テレビドラマロケ地巡り	3.8%	4.8%	1.8%	8.3%	5.7%	0.9%	5.4%	3.1%	1.4%	5.3%	2.6%	3.9%	4.8%
アウトドア・インドア体験	17.6%	16.4%	15.5%	25.0%	21.3%	23.9%	18.2%	10.2%	8.6%	5.3%	20.0%	11.1%	21.7%
スポーツ(スキー・ゴルフ等)	72.1%	76.5%	51.8%	83.3%	62.4%	75.2%	75.7%	69.4%	78.6%	78.9%	59.5%	74.9%	80.2%
富良野を拠点とした広域の滞在観光	7.4%	8.0%	5.4%	16.7%	7.1%	6.0%	6.1%	10.2%	7.1%	5.3%	8.2%	4.8%	9.2%
芸術文化鑑賞(富良野演劇工場等)	4.6%	4.5%	3.9%	8.3%	7.1%	2.6%	3.4%	5.1%	5.7%	0.0%	3.1%	1.9%	8.7%
市民との交流(農家・観光ガイド等)	3.4%	3.6%	2.7%	8.3%	6.4%	3.4%	3.4%	2.0%	0.0%	0.0%	1.0%	1.0%	8.2%
地元料理の満喫	20.7%	19.0%	18.2%	25.0%	22.0%	18.8%	21.6%	19.4%	18.6%	21.1%	23.6%	14.5%	24.2%
地域イベント参加	3.9%	3.9%	3.3%	8.3%	7.1%	1.7%	2.7%	5.1%	2.9%	0.0%	2.1%	1.0%	8.7%
その他	5.1%	4.8%	4.2%	0.0%	7.1%	1.7%	4.7%	5.1%	7.1%	10.5%	6.7%	4.3%	4.3%
無回答	1.6%	1.8%	0.9%	0.0%	0.7%	3.4%	0.7%	2.0%	2.9%	0.0%	2.1%	1.4%	1.4%

(5) 満足度、不満、親しい友人等への紹介意向

①満足度

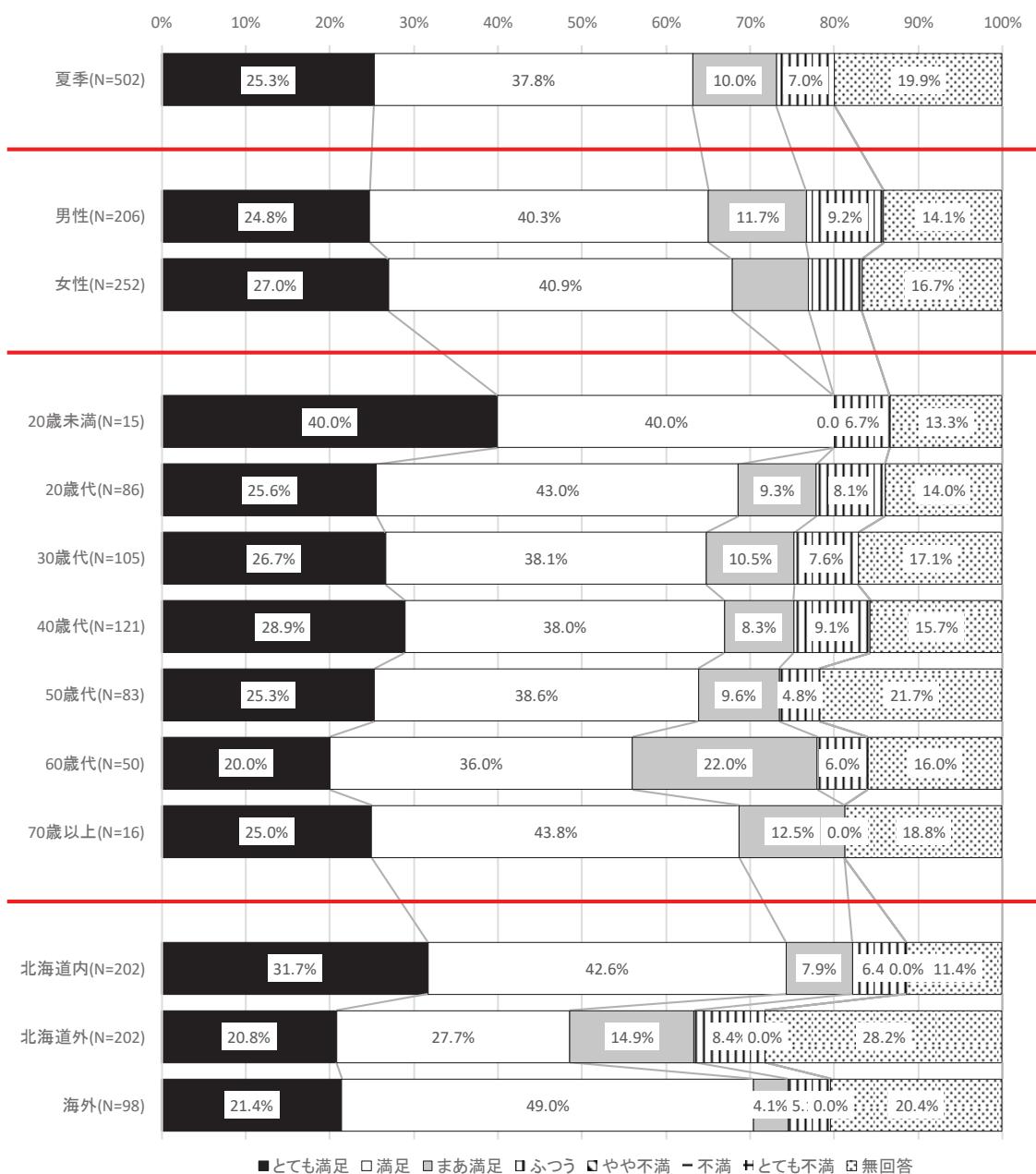
- 「とても満足」、「満足」、「まあ満足」の合計は、7割以上となっている。
- 満足した内容としては、「食」、「スキー場の雪質」、「スキー場の施設」、「人が親切」、「自然環境・景色の良さ」といった回答が多かった。(図表2-2-35)

図表2-2-33 満足度

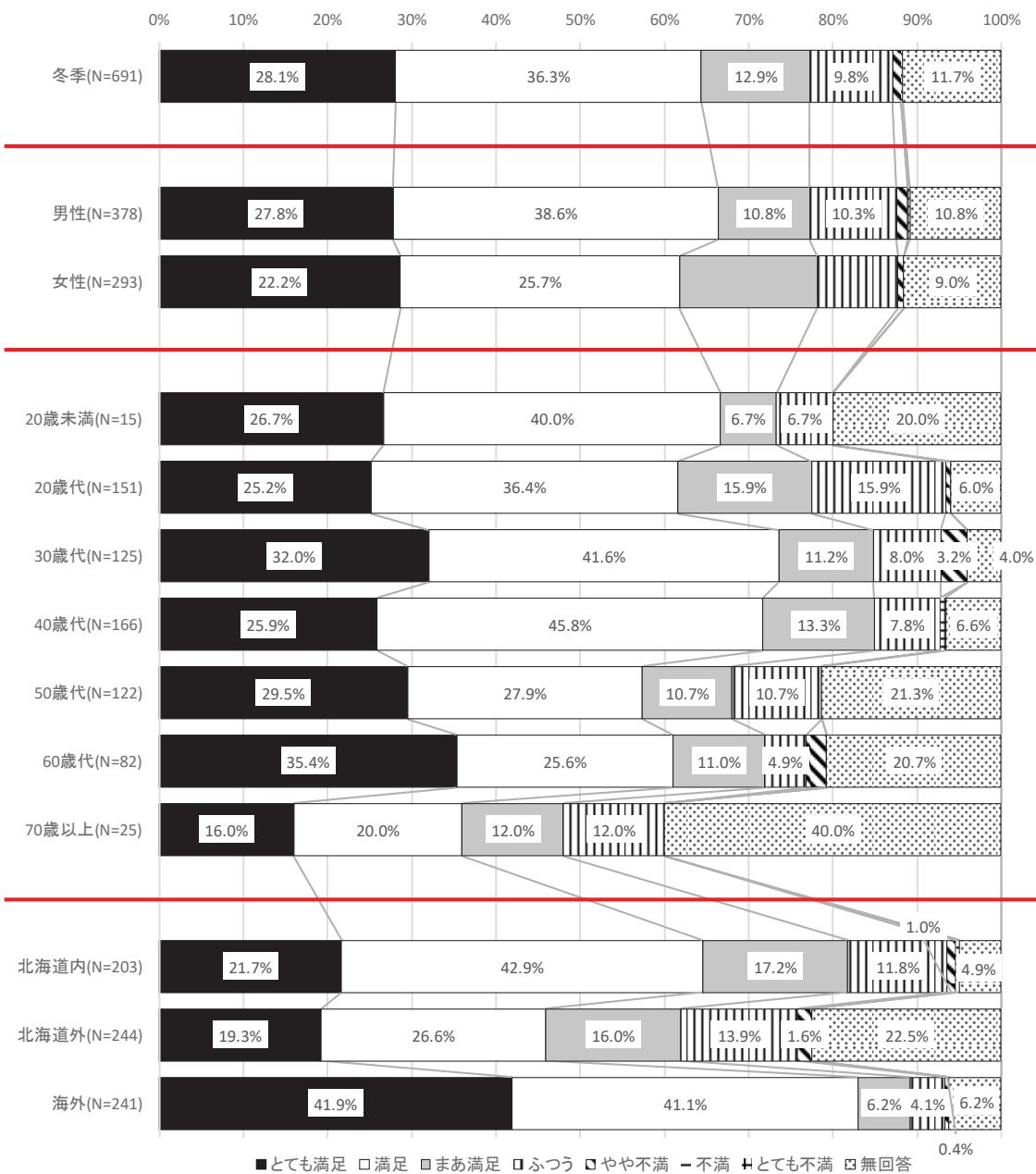


図表2-2-34 満足度 季節別詳細

【夏季】



【冬季】



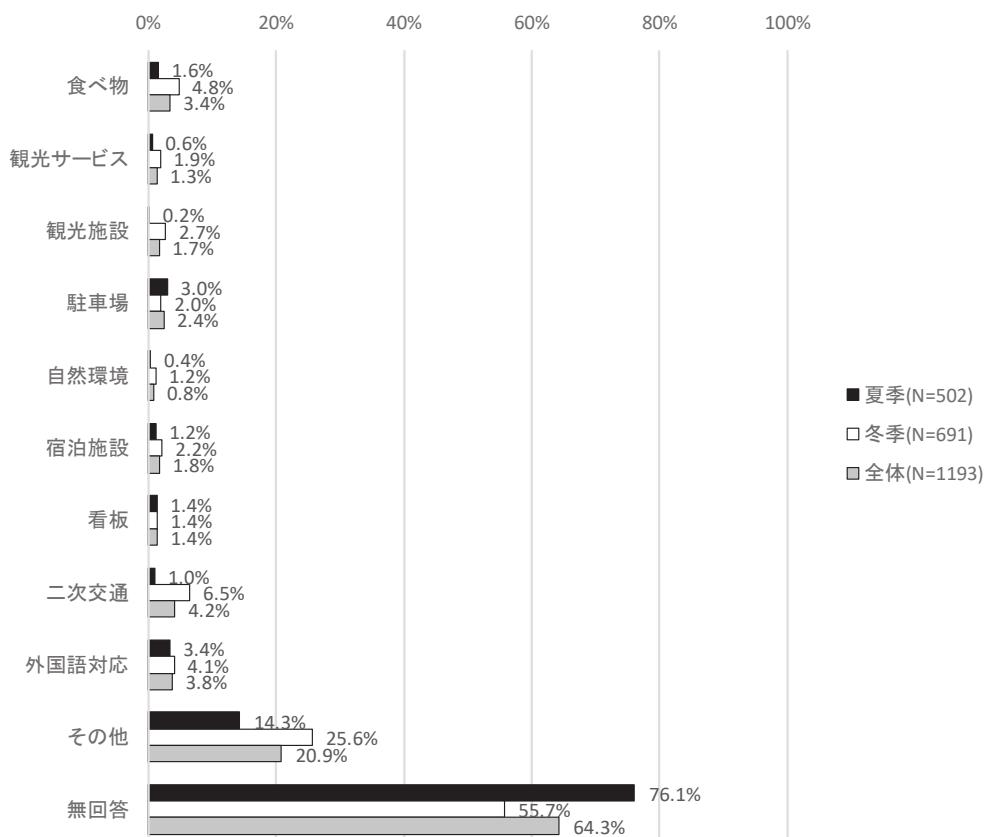
図表2-2-35 満足した内容

	道内客	道外客	海外客	合計
食	27	25	56	108
スキー場の雪質	19	27	25	71
スキー場の施設	19	27	25	71
人が親切	5	13	47	65
自然環境・景色の良さ	21	23	20	64
スキー	11	16	28	55
雪景色	4	7	21	32
宿泊施設	1	6	22	29
人が多すぎず静か	1	5	10	16
良質なサービス	2	3	11	16
雰囲気が良い、リラックスできる	2	8	2	12
市内の交通アクセスの良さ	3	2	7	12
物価が安い	4	3	3	10
接客態度の良さ	2	2	5	9
気候	2	0	5	7
観光する場所がたくさんある	5	1	0	6
フラノマルシェ	5	0	1	6
清潔	0	0	5	5
ニングルテラス	1	2	1	4
北の国からロケ地	2	2	0	4
買物の利便性が高い	2	2	0	4
街並みがきれい	0	0	3	3
特産品が充実している	3	0	0	3
新鮮な空気	1	0	0	1
アイス	1	0	0	1

②不満

- ・不満な点はあまり多く挙げられなかつたが、「アクセスが悪い」「道路がでこぼこしてて運転しづらい」、「駐車場が狭い（フラノマルシェ）」、「外国人観光客のマナーが悪い」、「駅前にあった北の国からの資料館がなくなったのが残念」、「Wi-Fiの通信速度が遅い」、「案内表示がわかりづらい。車で走っていると通り過ぎてしまう」、「バス路線が少ない」といった回答があつた。

図表2-2-36 不満



図表2-2-37 不満 季節別詳細

【夏季】

夏季 (N=502)	夏季 (N=206)	男性 (N=206)	女性 (N=252)	20歳未満 (N=15)	20歳代 (N=86)	30歳代 (N=105)	40歳代 (N=121)	50歳代 (N=83)	60歳代 (N=50)	70歳以上 (N=16)	北海道内 (N=202)	北海道外 (N=202)	海外 (N=98)
食べ物	1.6%	1.9%	1.2%	0.0%	2.3%	2.9%	0.8%	2.4%	0.0%	0.0%	0.5%	2.0%	3.1%
観光サービス	0.6%	1.5%	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	0.8%	1.2%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	1.0%
観光施設	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%
駐車場	3.0%	3.4%	3.2%	6.7%	0.0%	3.8%	5.0%	3.6%	2.0%	0.0%	5.0%	1.0%	3.1%
自然環境	0.4%	0.0%	0.8%	0.0%	1.2%	0.0%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%
宿泊施設	1.2%	1.9%	0.8%	0.0%	1.2%	1.0%	1.7%	0.0%	4.0%	0.0%	1.0%	0.5%	3.1%
看板	1.4%	2.4%	0.4%	0.0%	1.2%	1.0%	1.7%	1.2%	2.0%	0.0%	1.0%	1.0%	3.1%
二次交通	1.0%	0.5%	1.6%	0.0%	4.7%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.5%	2.0%
外国语対応	3.4%	2.4%	3.6%	6.7%	4.7%	2.9%	0.8%	7.2%	2.0%	0.0%	1.0%	1.0%	13.3%
その他	14.3%	14.1%	14.7%	13.3%	9.3%	12.4%	14.0%	20.5%	18.0%	6.3%	11.4%	14.4%	20.4%
無回答	76.1%	75.2%	76.2%	86.7%	75.6%	77.1%	75.2%	71.1%	76.0%	93.8%	79.2%	79.7%	62.2%

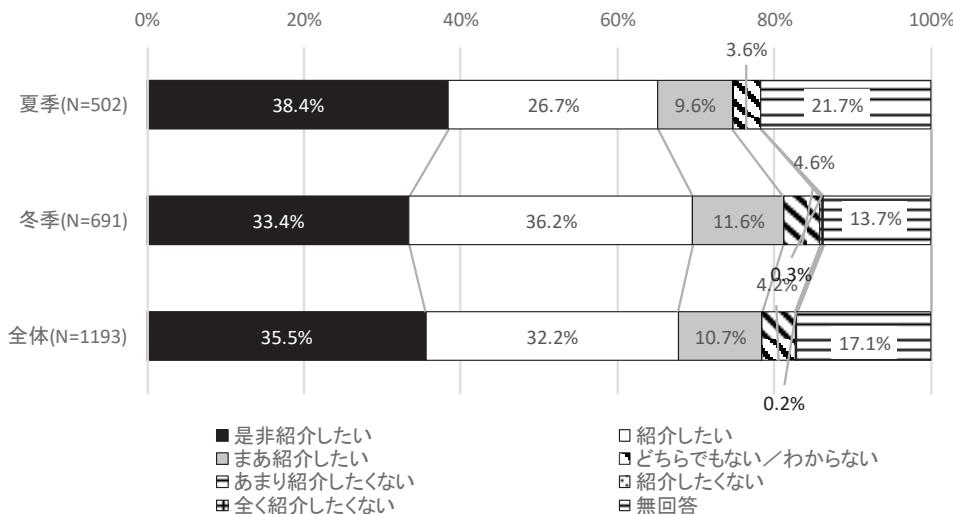
【冬季】

冬季 (N=691)	冬季 (N=378)	男性 (N=378)	女性 (N=293)	20歳未満 (N=15)	20歳代 (N=151)	30歳代 (N=125)	40歳代 (N=166)	50歳代 (N=122)	60歳代 (N=82)	70歳以上 (N=25)	北海道内 (N=203)	北海道外 (N=244)	海外 (N=241)
食べ物	4.8%	6.1%	3.4%	6.7%	4.0%	7.2%	4.2%	4.1%	2.4%	8.0%	4.4%	6.6%	3.3%
観光サービス	1.9%	1.3%	2.7%	6.7%	1.3%	0.8%	1.8%	2.5%	2.4%	4.0%	2.5%	1.6%	1.7%
観光施設	2.7%	2.6%	2.7%	6.7%	2.0%	1.6%	4.8%	1.6%	2.4%	4.0%	2.5%	2.9%	2.9%
駐車場	2.0%	2.4%	1.7%	0.0%	2.6%	2.4%	2.4%	1.6%	1.2%	0.0%	6.4%	0.0%	0.4%
自然環境	1.2%	1.1%	1.4%	0.0%	1.3%	0.8%	1.8%	0.0%	2.4%	0.0%	1.5%	0.8%	1.2%
宿泊施設	2.2%	2.4%	2.0%	0.0%	0.7%	2.4%	4.8%	0.0%	1.2%	4.0%	2.5%	2.5%	1.7%
看板	1.4%	1.9%	1.0%	6.7%	2.0%	2.4%	1.2%	0.0%	1.2%	0.0%	2.0%	0.8%	1.7%
二次交通	6.5%	6.1%	7.2%	6.7%	13.9%	5.6%	4.2%	2.5%	4.9%	8.0%	5.9%	6.6%	7.1%
外国语対応	4.1%	3.7%	4.8%	20.0%	6.0%	4.0%	3.0%	4.1%	1.2%	0.0%	2.5%	1.2%	8.3%
その他	25.6%	27.5%	23.9%	6.7%	19.2%	26.4%	28.3%	33.6%	19.5%	36.0%	24.6%	29.5%	22.8%
無回答	55.7%	52.9%	58.0%	40.0%	54.3%	52.0%	55.4%	55.7%	69.5%	52.0%	52.7%	56.1%	57.3%

③紹介意向

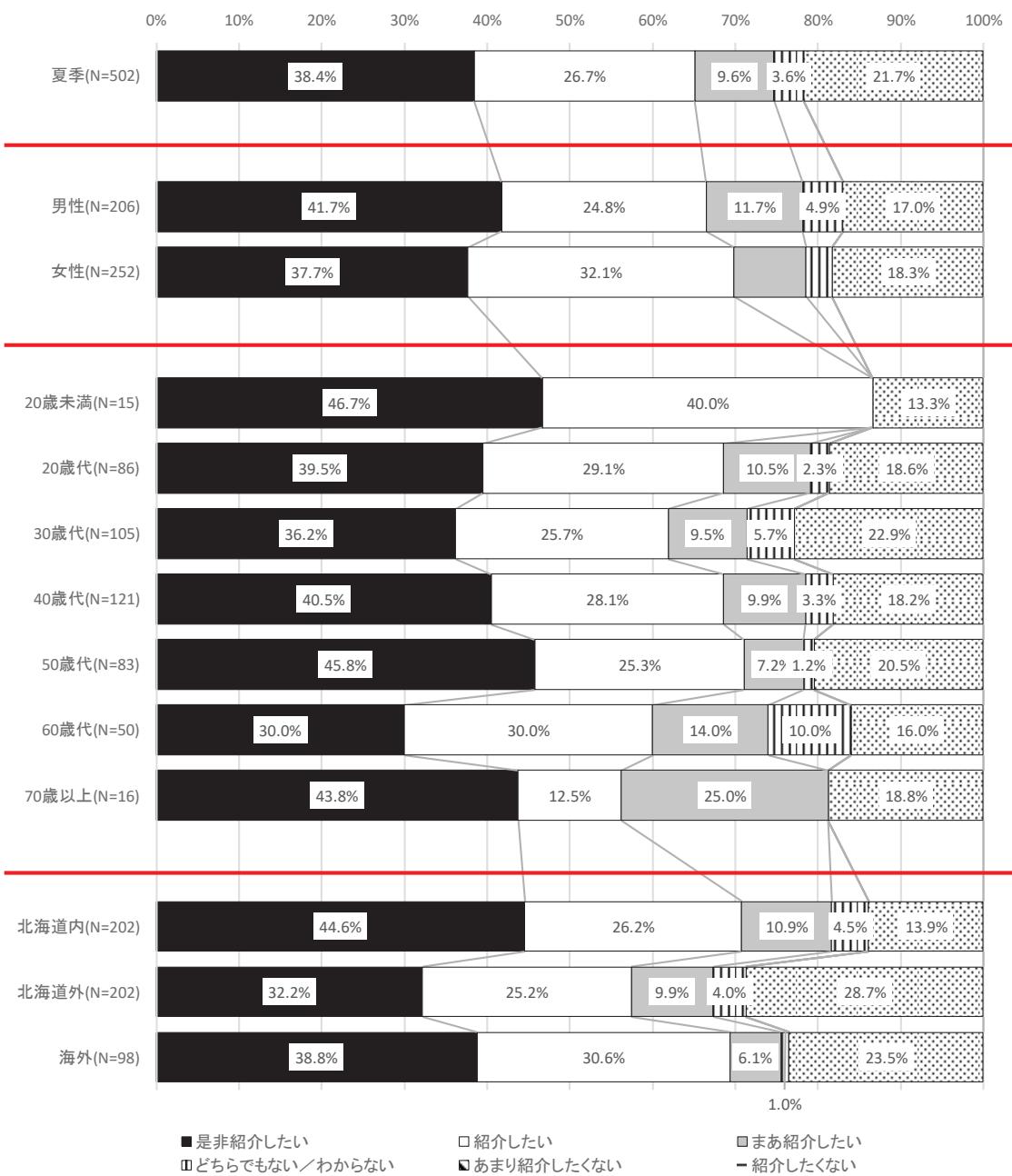
- 「是非紹介したい」、「紹介したい」、「まあ紹介したい」の合計が約8割となっている。

図表2-2-38 紹介意向

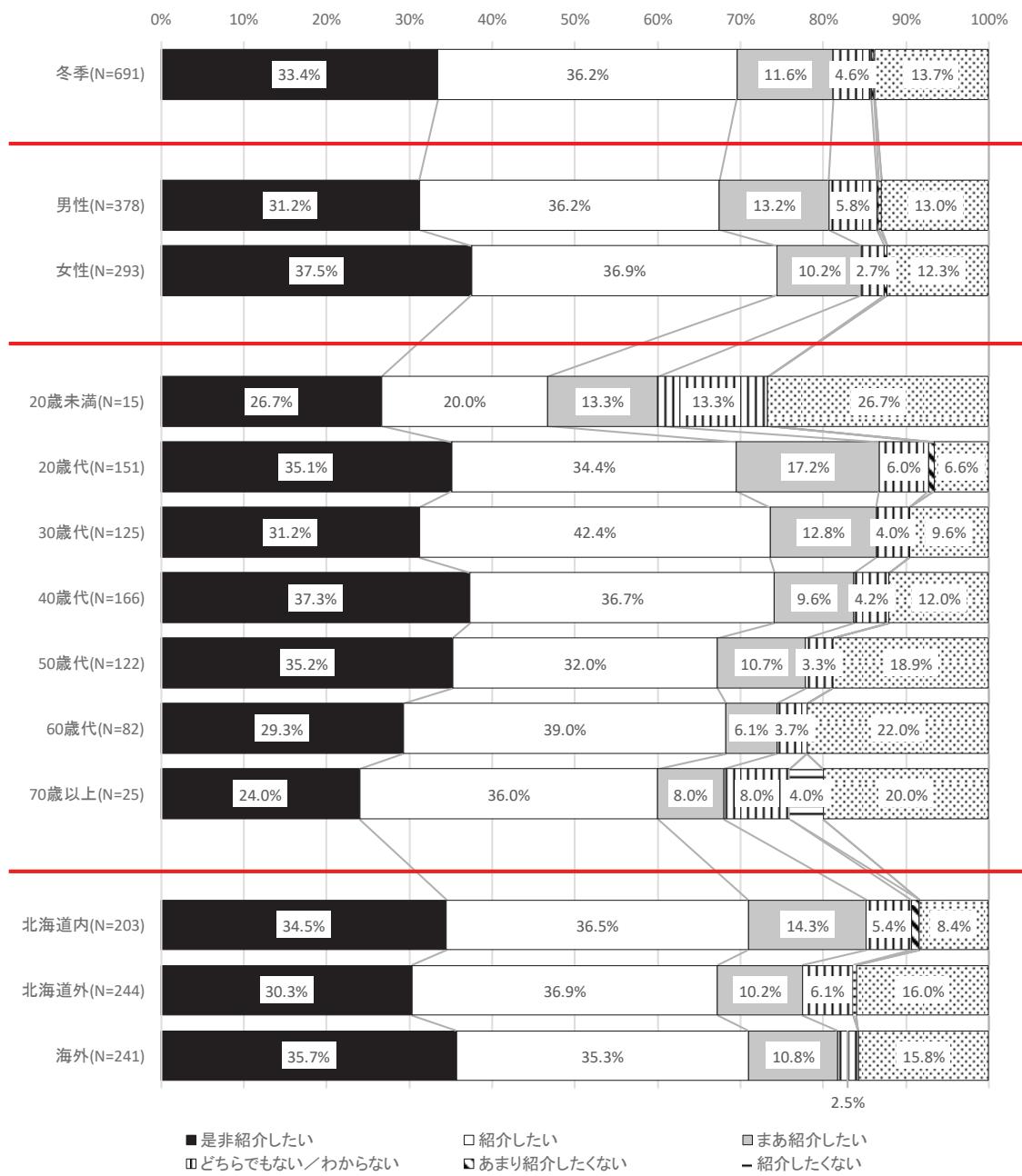


図表2-2-39 紹介意向 季節別詳細

【夏季】



【冬季】



(6) 年間観光総消費額の推計

- 富良野市観光客入込数に、観光客一人あたりの平均消費金額を乗じて、市内年間観光総消費額を推計した。結果は下表のとおり約274億円となり、前回調査（約240億円）を約30億円上回った。5か年平均の観光客入込数（1,824,900人）は前回調査（1,825,780人）とほぼ同じだが、図表2-2-20で示したとおり平均宿泊日数と1泊あたりの宿泊費がともに増加しており、この影響で宿泊費が増えたことが主たる要因として挙げられる。

図表2-2-40 観光消費実態に基づく年間観光消費額の推計経過及び結果

番号	項目	夏季 (4月～10月)	冬季 (11月～3月)	年間
①	平成25年度観光客入込数(人)	1,263,500	505,500	1,769,000
②	平成26年度観光客入込数(人)	1,220,500	500,600	1,721,100
③	平成27年度観光客入込数(人)	1,349,400	530,900	1,880,300
④	平成28年度観光客入込数(人)	1,316,900	542,900	1,859,800
⑤	平成29年度観光客入込数(人)	1,313,400	580,900	1,894,300
⑥	5カ年観光客入込数平均値(人)	1,292,740	532,160	1,824,900
⑦	5カ年宿泊客割合平均値(%)	24.7%	33.6%	27.1%
⑧	推計された宿泊客数(人) (⑧=⑥×⑦)	319,307	178,806	494,548
⑨	推計された日帰り客数(人) (⑨=⑥−⑧)	973,433	353,354	1,330,352
⑩	宿泊客一人当たり平均消費額(円/人)	26,670	39,933	36,780
⑪	日帰り客一人当たり平均消費額(円/人)	7,340	8,997	8,031
⑫	宿泊客年間総消費額(千円) (⑫=⑧×⑩)	8,515,912	7,140,250	18,189,472
⑬	日帰り客年間総消費額(千円) (⑬=⑨×⑪)	7,145,000	3,179,128	10,684,324
⑭	年間総消費額(千円) (⑫+⑬)	15,660,912	10,319,379	28,873,796
⑮	夏季と冬季の合計総消費額(千円)	25,980,290		27,427,043

※⑮の行和と列和の平均（網掛け部分）27,427,043千円を年間観光消費額として用いる。

図表2-2-41 年間観光総消費額の推計結果の過去調査（H25、H18、H12）との比較

	年間観光総消費額
H30調査	27,427,043
H25調査	24,025,591
H18調査	28,058,609
H12調査	27,239,449

図表2-2-42 観光消費実態に基づく年間観光消費額の推計経過及び結果

平成25年

番号	項目	夏季 (4月～10月)	冬季 (11月～3月)	年間
①	平成20年度観光客入込み数(人)	1,227,800	653,700	1,881,500
②	平成21年度観光客入込み数(人)	1,414,200	546,600	1,960,800
③	平成22年度観光客入込み数(人)	1,405,500	376,800	1,782,300
④	平成23年度観光客入込み数(人)	1,352,800	371,900	1,724,700
⑤	平成24年度観光客入込み数(人)	1,436,200	343,400	1,779,600
⑥	5カ年観光客入込み数平均値(人)	1,367,300	458,480	1,825,780
⑦	5カ年宿泊客割合平均値(%)	23.0%	25.0%	24.0%
⑧	推計された宿泊客数(人) (⑥×⑦)	314,479	114,620	438,187
⑨	推計された日帰り客数(人) (⑥−⑧)	1,052,821	343,860	1,387,593
⑩	宿泊客一人当たり平均消費額(円/人)	27,854	30,063	28,950
⑪	日帰り客一人当たり平均消費額(円/人)	8,183	8,673	8,333
⑫	宿泊客年間総消費額(千円) (⑩×⑧)	8,759,498	3,445,821	12,685,519
⑬	日帰り客年間総消費額(千円) (⑪×⑨)	8,615,234	2,982,298	11,562,811
⑭	年間総消費額(千円) (⑫+⑬)	17,374,732	6,428,119	24,248,330
⑮	夏季と冬季の合計総消費額(千円)	23,802,851		24,025,591

図表2-2-43 観光消費実態に基づく年間観光消費額の推計経過及び結果

平成18年

番号	項目	夏季 (4月～10月)	冬季 (11月～3月)	年間
①	平成13年度観光客入込み数(人)	1,261,679	856,832	2,118,511
②	平成14年度観光客入込み数(人)	1,613,805	876,279	2,490,084
③	平成15年度観光客入込み数(人)	1,732,523	722,595	2,455,118
④	平成16年度観光客入込み数(人)	1,344,007	687,151	2,031,158
⑤	平成17年度観光客入込み数(人)	1,404,744	666,254	2,070,998
⑥	5力年観光客入込み数平均値(人)	1,471,352	761,822	2,233,174
⑦	5力年宿泊客割合平均値(%)	22.01%	22.01%	22.01%
⑧	推計された宿泊客数(人) (⑧=⑥×⑦)	323,845	167,677	491,522
⑨	推計された日帰り客数(人) (⑨=⑥−⑧)	1,147,507	594,145	1,741,652
⑩	宿泊客一人当たり平均消費額(円/人)	25,591	37,091	29,897
⑪	日帰り客一人当たり平均消費額(円/人)	7,782	7,559	7,748
⑫	宿泊客年間総消費額(千円) (⑫=⑧×⑩)	8,287,517	6,219,308	14,695,033
⑬	日帰り客年間総消費額(千円) (⑬=⑨×⑪)	8,929,899	4,491,142	13,494,319
⑭	年間総消費額(千円) (⑫+⑬)	17,217,416	10,710,450	28,189,352
⑮	夏季と冬季の合計総消費額(千円)	27,927,866		28,058,609

図表2-2-44 観光消費実態に基づく年間観光消費額の推計経過及び結果

平成12年

番号	項目	夏季 (4月～10月)	冬季 (11月～3月)	年間
①	平成7年度観光客入込み数(人)	1,021,174	1,011,283	2,032,457
②	平成8年度観光客入込み数(人)	1,058,229	1,090,919	2,149,148
③	平成9年度観光客入込み数(人)	1,068,878	1,013,846	2,082,724
④	平成10年度観光客入込み数(人)	1,335,278	1,041,708	2,376,986
⑤	平成11年度観光客入込み数(人)	1,365,281	928,736	2,294,017
⑥	5力年観光客入込み数平均値(人)	1,169,768	1,017,298	2,187,066
⑦	5力年宿泊客割合平均値(%)	24.13%	24.13%	24.13%
⑧	推計された宿泊客数(人) (⑧=⑥×⑦)	282,265	245,474	527,739
⑨	推計された日帰り客数(人) (⑨=⑥−⑧)	887,503	771,824	1,659,327
⑩	宿泊客一人当たり平均消費額(円/人)	21,895	36,024	27,523
⑪	日帰り客一人当たり平均消費額(円/人)	7,652	7,232	7,568
⑫	宿泊客年間総消費額(千円) (⑫=⑧×⑩)	6,180,193	8,842,955	14,524,960
⑬	日帰り客年間総消費額(千円) (⑬=⑨×⑪)	6,791,173	5,581,831	12,557,787
⑭	年間総消費額(千円) (⑫+⑬)	12,971,365	14,424,787	27,082,747
⑮	夏季と冬季の合計総消費額(千円)	27,396,152		27,239,449

3 観光経済事業所調査

3.1 調査概要

(1) 調査方法

- 富良野市内の事業所に対してアンケート調査票を発送し、返信用封筒にて郵送による回収を行った。

(2) 調査対象事業所

- 富良野商工会議所の会員のうち富良野市内に事業所を有する会員を抽出（585件）したほか、富良野市内の宿泊業（31件）を対象とした（計616件）。

(3) 調査項目

- 調査項目は以下のとおりである（アンケート票は資料編参照）。

図表3-1-1 アンケート調査項目

区分	内容
回答事業所の属性	所在地／業種／従業員数／年間総売上高／観光と売上との関連性
売上に占める経費率	原材料費／人件費／営業経費／その他
経費の支払い先別構成比	富良野市内／富良野圏域／その他道内／北海道外
富良野観光について	観光経済効果を大きくするための取り組み／観光振興に係る意見

(4) 回収結果と業種別構成

- アンケート発送票数616件に対して回収票数は135件であり、回収率は21.9%となっている。
- 回答事業者の業種別構成は次ページ表のとおりで、「観光関連業種」と「その他の業種」がそれぞれ半数であった。

図表3-1-2 回答事業者の業種別構成

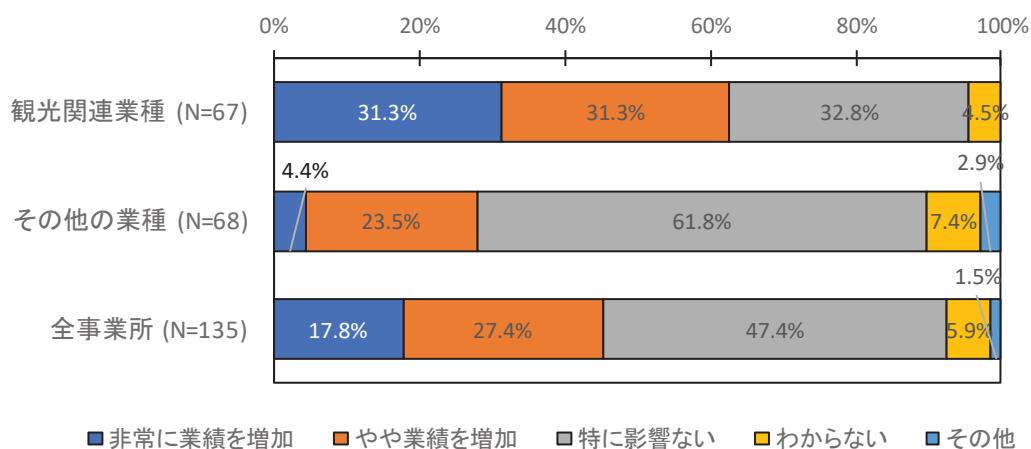
業種	事業所数	比率
観光関連業種	67	49.6%
運輸・通信業	8	5.9%
小売業	26	19.3%
飲食店	16	11.9%
物品賃貸業	3	2.2%
旅館・ホテル・民宿等	12	8.9%
娯楽業等	2	1.5%
駐車場業	0	0.0%
その他の業種	68	50.4%
合 計	135	100.0%

3.2 調査結果

(1) 観光による業績への影響

- 富良野市内での観光客数の増加と自事業所の業績との関係については、「非常に業績を増加させる」が17.8%、「やや業績を増加させる」が27.4%を占めている（全事業所）。当然のことながら観光関連業種においてはそれらの比率が高くなっている。

図表3-2-1 観光客入込数増加と自事業所業績の関係

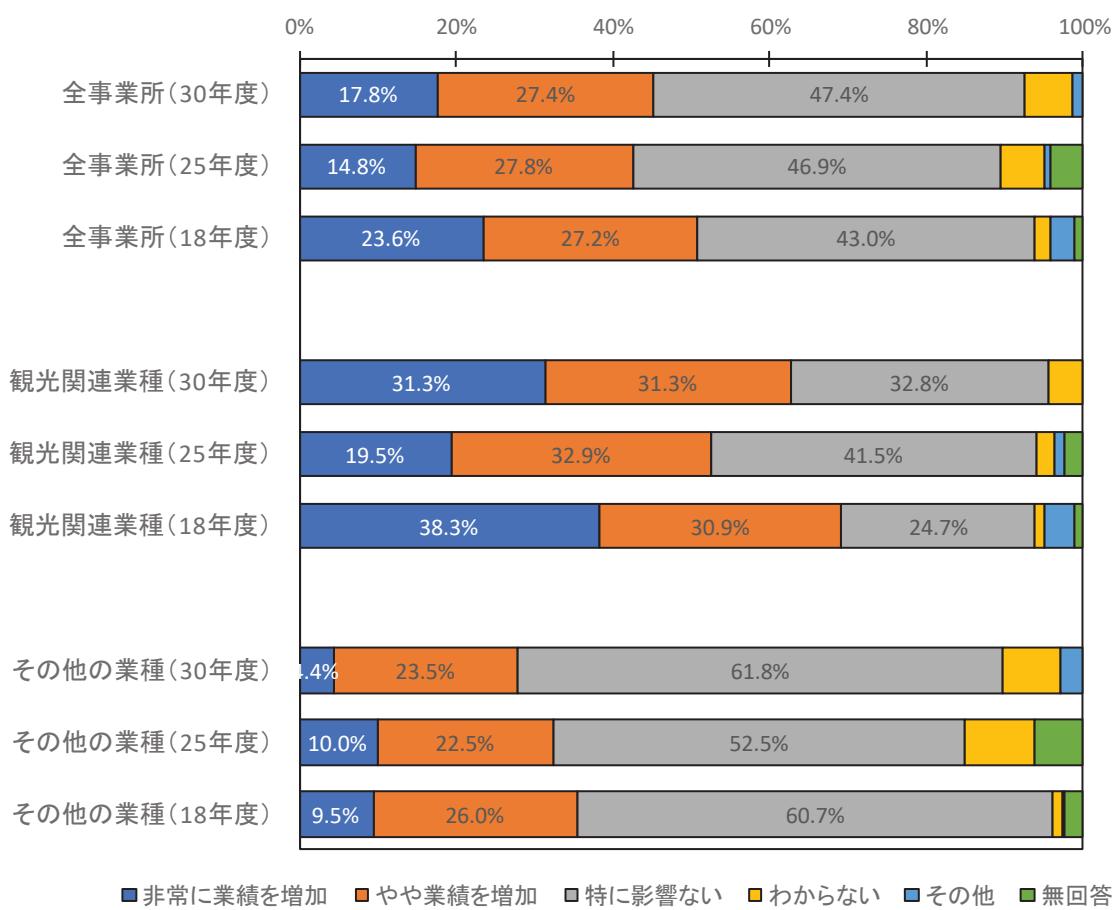


業種	非常に業績を増加	やや業績を増加	特に影響ない	わからない	その他	計
観光関連業種	21	21	22	3	0	67
運輸・通信業	2	4	1	1		8
小売業	6	6	13	1		26
飲食店	6	7	3			16
物品販賣業	1		2			3
旅館・ホテル・民宿等	5	4	3			12
娯楽業等	1			1		2
その他の業種	3	16	42	5	2	68
合 計	24	37	64	8	2	135

【比率】

業種	非常に業績を増加	やや業績を増加	特に影響ない	わからない	その他	計
観光関連業種	31.3%	31.3%	32.8%	4.5%	0.0%	100.0%
運輸・通信業	25.0%	50.0%	12.5%	12.5%	0.0%	100.0%
小売業	23.1%	23.1%	50.0%	3.8%	0.0%	100.0%
飲食店	37.5%	43.8%	18.8%	0.0%	0.0%	100.0%
物品販賣業	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	100.0%
旅館・ホテル・民宿等	41.7%	33.3%	25.0%	0.0%	0.0%	100.0%
娯楽業等	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	100.0%
その他の業種	4.4%	23.5%	61.8%	7.4%	2.9%	100.0%
合 計	17.8%	27.4%	47.4%	5.9%	1.5%	100.0%

図表3-2-2 観光客入込数増加と自事業所業績の関係（過年度調査結果との比較）



	非常に業績を増加	やや業績を増加	特に影響ない	わからない	その他	無回答
全事業所(30年度)	17.8%	27.4%	47.4%	5.9%	1.5%	0.0%
全事業所(25年度)	14.8%	27.8%	46.9%	5.6%	0.6%	4.3%
全事業所(18年度)	23.6%	27.2%	43.0%	2.0%	3.0%	1.2%
観光関連業種(30年度)	31.3%	31.3%	32.8%	4.5%	0.0%	0.0%
観光関連業種(25年度)	19.5%	32.9%	41.5%	2.4%	1.2%	2.4%
観光関連業種(18年度)	38.3%	30.9%	24.7%	1.2%	3.7%	1.2%
その他の業種(30年度)	4.4%	23.5%	61.8%	7.4%	2.9%	0.0%
その他の業種(25年度)	10.0%	22.5%	52.5%	8.8%	0.0%	6.3%
その他の業種(18年度)	9.5%	26.0%	60.7%	1.2%	0.2%	2.4%

(2) 観光関連雇用者の特性

- ・常用従業員数（1事業所当たりの平均）をみると、全事業所では10.7人と前回調査（9.2人）とほぼ同規模となっている。業種別にみると、観光関連業種では9.4人と前回調査（5.2人）を上回り、その他の業種では12.0人と前回調査（13.3人）とほぼ同規模となっている。
- ・また、臨時雇用者数（1事業所当たりの平均）をみると、全事業所では6.7人、観光関連業種では5.5人、その他の業種では8.1人となっている。前回調査では、全事業所が7.5人、観光関連業種が4.6人、その他の業種が11.7人であり、傾向に大きな変化はみられない。
- ・常用従業員数と臨時雇用者数の合計でみると、観光関連業種は前回調査から増加し（9.9人→14.9人）、その他の業種は減少している（25.0人→20.1人）。全事業所ではほぼ同規模となっている（16.7人→17.4人）。

図表3-2-3 1事業所当たりの常用従業員数・臨時雇用者数

業種	常用従業員数 (人/1事業所)	臨時雇用者数 (人/1事業所)	計
観光関連業種	9.4	5.5	14.9
運輸・通信業	31.3	8.8	40.1
小売業	5.8	4.8	10.6
飲食店	2.6	5.8	8.4
物品貢貸業	6.3	0.5	6.8
旅館・ホテル・民宿等	8.2	5.2	13.3
娯楽業等	18.5	10.0	—
その他の業種	12.0	8.1	20.1
全事業所	10.7	6.7	17.4

注：平均＝常用従業員数（or 臨時雇用者数）の総計／回答事業所数

(3) 年間売上高及び経費の比率

① 年間総売上高と観光関連売上高の推計

- ・年間総売上高に関する回答結果から「観光客からの売上高」（1事業所当たりの平均）を推計すると、観光関連業種は42.6百万円、その他の業種は8.5百万円、全事業所では34.3百万円となる。
- ・これを前回調査の結果と比較すると、観光関連業種は増加（32.1百万円→42.6百万円）、その他の業種は減少（17.5百万円→8.5百万円）、全事業所はほぼ同規模（35.9百万円→34.3百万円）となっている。
- ・また、同様に「観光関連業者からの売上高」（1事業所当たりの平均）を推計すると、観光関連業種は24.8百万円、その他の業種は20.5百万円、全事業所では25.6百万円となる。
- ・これを前回調査の結果と比較すると、観光関連業種は大きく増加（13.6百万円→24.8百万円）、その他の業種は減少（27.5百万円→20.5百万円）、全事業所は増加（21.0百万円→25.6百万円）となっている。

図表3-2-4 1事業所当たりの年間総売上高及び観光客関連・観光関連業者売上高

業種	年間総売上高 (平均、百万円)	観光客からの 売上割合(平均)	観光関連業者から の売上割合(平均)
観光関連業種	144.0	29.6%	17.2%
運輸・通信業	448.8	6.3%	9.6%
小売業	121.4	16.2%	11.8%
飲食店	42.4	30.6%	20.6%
物品賃貸業	143.3	11.7%	2.0%
旅館・ホテル・民宿等	118.6	74.3%	30.8%
娯楽業等	150.0	20.0%	30.0%
その他の業種	271.3	3.1%	7.5%
全事業所	206.7	16.6%	12.4%

業種	観光客からの 売上高(百万円)	観光関連業者から の売上高(百万円)
観光関連業種	42.6	24.8
運輸・通信業	28.3	43.2
小売業	19.7	14.3
飲食店	13.0	8.7
物品賃貸業	16.7	2.9
旅館・ホテル・民宿等	88.2	36.5
娯楽業等	30.0	45.0
その他の業種	8.5	20.5
全事業所	34.3	25.6

注：平均=年間総売上高（or 売上割合）の総計／回答事業所数

図表3-2-5 年間総売上高・観光客売上高・観光関連業者売上高（平均、経年変化）

【年間総売上高(平均)】

業種	平成18年	平成25年	平成30年
観光関連業種	257.9	131.3	144.0
運輸・通信業	414.3	427.7	448.8
小売業	253.3	106.5	121.4
飲食店	131.4	24.0	42.4
物品販貸業	115.5	—	143.3
旅館・ホテル・民宿等	379.5	73.5	118.6
娯楽業等	65.0	43.0	150.0
その他の観光関連	82.5	72.0	—
その他他の業種	254.3	349.5	271.3
全事業所	256.1	227.4	206.7

【観光客からの売上高(平均)】

業種	平成18年	平成25年	平成30年
観光関連業種	73.0	32.1	42.6
運輸・通信業	19.0	14.3	28.3
小売業	22.0	8.5	19.7
飲食店	43.0	8.2	13.0
物品販貸業	32.0	—	16.7
旅館・ホテル・民宿等	271.0	55.7	88.2
娯楽業等	0.7	—	30.0
その他の観光関連	78.0	64.8	—
その他他の業種	11.0	17.5	8.5
全事業所	46.0	35.9	34.3

【観光関連業者からの売上高(平均)】

業種	平成18年	平成25年	平成30年
観光関連業種	28.0	13.6	24.8
運輸・通信業	41.0	35.4	43.2
小売業	14.0	8.1	14.3
飲食店	5.0	3.2	8.7
物品販貸業	3.0	—	2.9
旅館・ホテル・民宿等	86.0	19.8	36.5
娯楽業等	—	—	45.0
その他の観光関連	45.0	7.2	—
その他他の業種	13.0	27.5	20.5
全事業所	21.0	21.0	25.6

② 売上高に占める経費割合と付加価値率

- ・年間総売上高に占める経費割合に関する回答結果から「付加価値率」（人件費比率+その他比率）を推計すると、全事業所で0.460、観光関連業種で0.414、その他の業種で0.508となり、前回調査と比べて大きな差はないが、いずれも増加している。
- ・観光関連業種の経費割合についてみると、「①原材料費」「②人件費」「③営業経費」「④その他」のいずれも、前回調査と同じ水準となっている。
- ・1事業所当たりの付加価値額をみると、観光関連業種は59.6百万円であるのに対し、その他の業種は137.8百万円となっている。これは他の業種に相対的に規模の大きい企業が含まれていることによると考えられる。
- ・観光関連業種の1事業所あたり付加価値額をみると、運輸・通信業の額が突出して大きく、旅館・ホテル・民宿等は52.2百万円となっている。個人経営が多い飲食業は16.5百万円と他の観光関連業種と比べると低い額となっている。

図表3-2-6 売上高構成比と付加価値率（平均）

業種	①原材料費 (平均)	②人件費 (平均)	③営業経費 (平均)	④その他 (平均)
観光関連業種	38.9	24.4	19.5	16.9
運輸・通信業	25.4	47.0	8.8	17.6
小売業	53.2	14.6	15.9	16.3
飲食店	37.4	27.1	23.7	11.8
物品賃貸業	46.7	18.3	13.3	21.7
旅館・ホテル・民宿等	24.2	18.3	31.8	25.7
娯楽業等	10.0	70.0	15.0	5.0
他の業種	30.4	33.7	18.8	17.1
全事業所	34.7	29.0	19.2	17.0

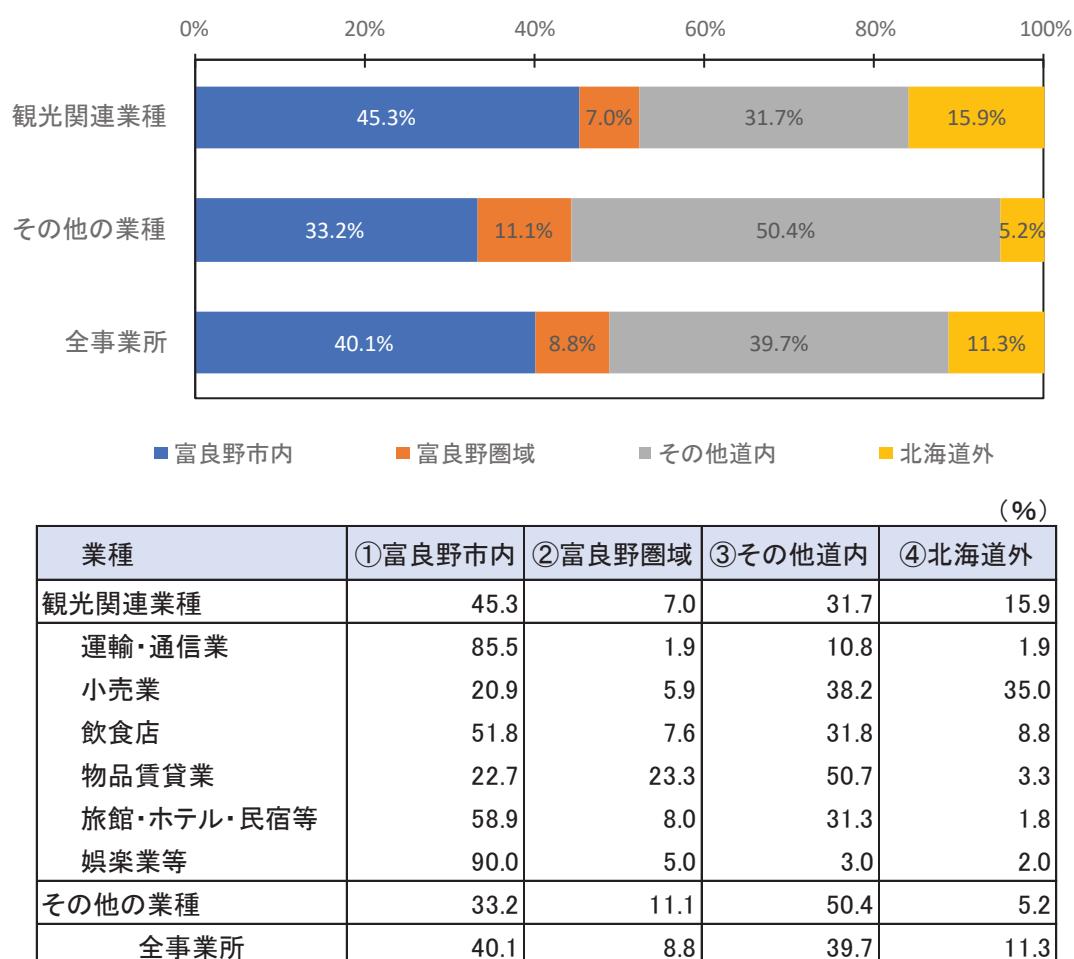
業種	付加価値率 (②+④)	年間総売上高 (平均、百万円)	付加価値額 (平均、百万円)
観光関連業種	0.414	144.0	59.6
運輸・通信業	0.646	448.8	289.7
小売業	0.309	121.4	37.5
飲食店	0.389	42.4	16.5
物品賃貸業	0.400	143.3	57.3
旅館・ホテル・民宿等	0.440	118.6	52.2
娯楽業等	0.750	150.0	112.5
他の業種	0.508	271.3	137.8
全事業所	0.460	206.7	95.1

(4) 各種経費の支払先（地域）

① 原材料費の支払地域

- 全事業所における原材料費の支払先（地域）をみると、前回調査と比較して「富良野市内」の比率が増加し（33.6%→40.1%）、「富良野圏域」「北海道外」が若干減少している。
- 観光関連業種においても、「富良野圏域」「北海道外」の比率が減少し、「富良野市内」での比率が高まっている（39.2%→45.3%）。

図表3-2-7 「原材料費」の支払先の地域別割合（平均）



注：平均=原材料費の支払地域別割合の総計／回答事業所数

図表3-2-8 「原材料費」の支払先の地域別割合（平均、経年変化）

【富良野市内の割合(平均)】

業種	平成18年	平成25年	平成30年
観光関連業種	46.2	39.2	45.3
運輸・通信業	70.0	54.1	85.5
小売業	30.4	27.9	20.9
飲食店	54.3	43.5	51.8
物品賃貸業	37.5	—	22.7
旅館・ホテル・民宿等	52.1	65.6	58.9
娯楽業等	0.0	—	90.0
その他の観光関連	70.0	50.0	—
その他他の業種	26.2	25.6	33.2
全事業所	36.4	33.6	40.1

【富良野圏域の割合(平均)】

業種	平成18年	平成25年	平成30年
観光関連業種	10.8	11.2	7.0
運輸・通信業	6.9	20.3	1.9
小売業	7.3	4.4	5.9
飲食店	16.5	16.0	7.6
物品賃貸業	5.0	—	23.3
旅館・ホテル・民宿等	14.5	12.8	8.0
娯楽業等	0.0	—	5.0
その他の観光関連	5.0	20.0	—
その他他の業種	6.3	12.5	11.1
全事業所	8.6	11.7	8.8

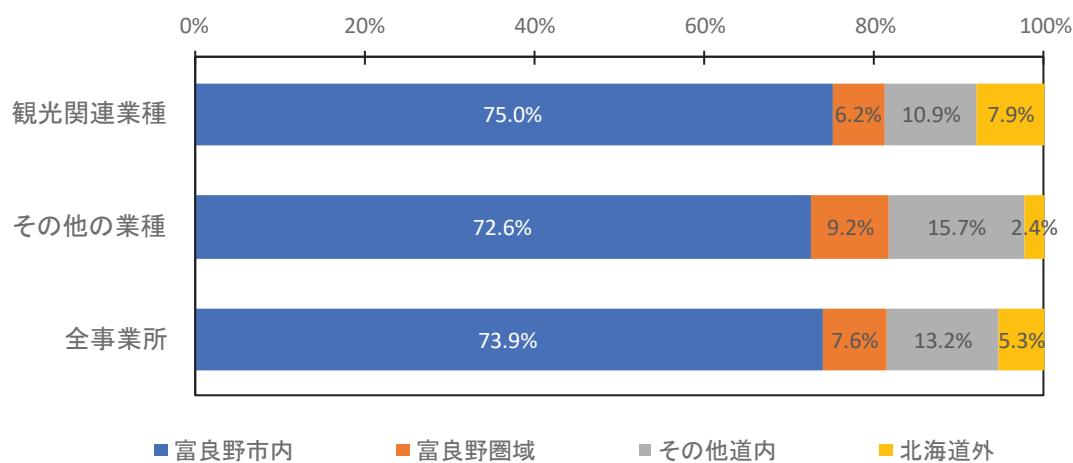
【その他道内の割合(平均)】

業種	平成18年	平成25年	平成30年
観光関連業種	30.1	31.0	31.7
運輸・通信業	14.9	11.0	10.8
小売業	43.6	41.1	38.2
飲食店	26.6	29.8	31.8
物品賃貸業	13.5	—	50.7
旅館・ホテル・民宿等	26.4	19.2	31.3
娯楽業等	0.0	—	3.0
その他の観光関連	5.0	30.0	—
その他他の業種	54.0	52.7	50.4
全事業所	41.9	40.2	39.7

② 営業経費の支払地域

- ・全事業所における営業経費の支払先（地域）をみると、原材料費と同様、前回調査と比較して「富良野市内」の比率が増加し（67.4%→73.9%）、「富良野圏域」「その他道内」が減少している。
- ・観光関連業種においても同様に、「富良野市内」の比率が増加し（66.4%→75.0%）、「富良野圏域」「その他道内」が減少している。

図表3-2-9 「営業経費」の支払先の地域別割合（平均）



業種	①富良野市内	②富良野圏域	③その他道内	④北海道外	(%)
観光関連業種	75.0	6.2	10.9	7.9	
運輸・通信業	91.4	2.9	4.7	1.0	
小売業	73.8	5.1	10.6	10.6	
飲食店	73.7	5.3	13.4	7.7	
物品賃貸業	51.7	23.3	18.3	6.7	
旅館・ホテル・民宿等	74.0	8.0	10.5	7.5	
娯楽業等	90.0	0.0	5.0	5.0	
その他の業種	72.6	9.2	15.7	2.4	
全事業所	73.9	7.6	13.2	5.3	

注：平均=営業経費の支払地域別割合の総計／回答事業所数

図表3-2-10 「営業経費」の支払先の地域別割合（平均、経年変化）

【富良野市内の割合(平均)】

業種	平成18年	平成25年	平成30年
観光関連業種	74.9	66.4	75.0
運輸・通信業	85.0	66.7	91.4
小売業	68.5	63.6	73.8
飲食店	85.9	64.2	73.7
物品賃貸業	40.3	—	51.7
旅館・ホテル・民宿等	68.5	81.0	74.0
娯楽業等	100.0	—	90.0
その他の観光関連	90.0	—	—
その他他の業種	72.0	68.5	72.6
全事業所	73.4	67.4	73.9

【富良野圏域の割合(平均)】

業種	平成18年	平成25年	平成30年
観光関連業種	8.1	12.2	6.2
運輸・通信業	8.3	13.8	2.9
小売業	13.3	11.9	5.1
飲食店	0.7	13.8	5.3
物品賃貸業	5.5	—	23.3
旅館・ホテル・民宿等	8.8	4.6	8.0
娯楽業等	0.0	—	0.0
その他の観光関連	5.0	—	—
その他他の業種	11.3	8.7	9.2
全事業所	9.7	10.6	7.6

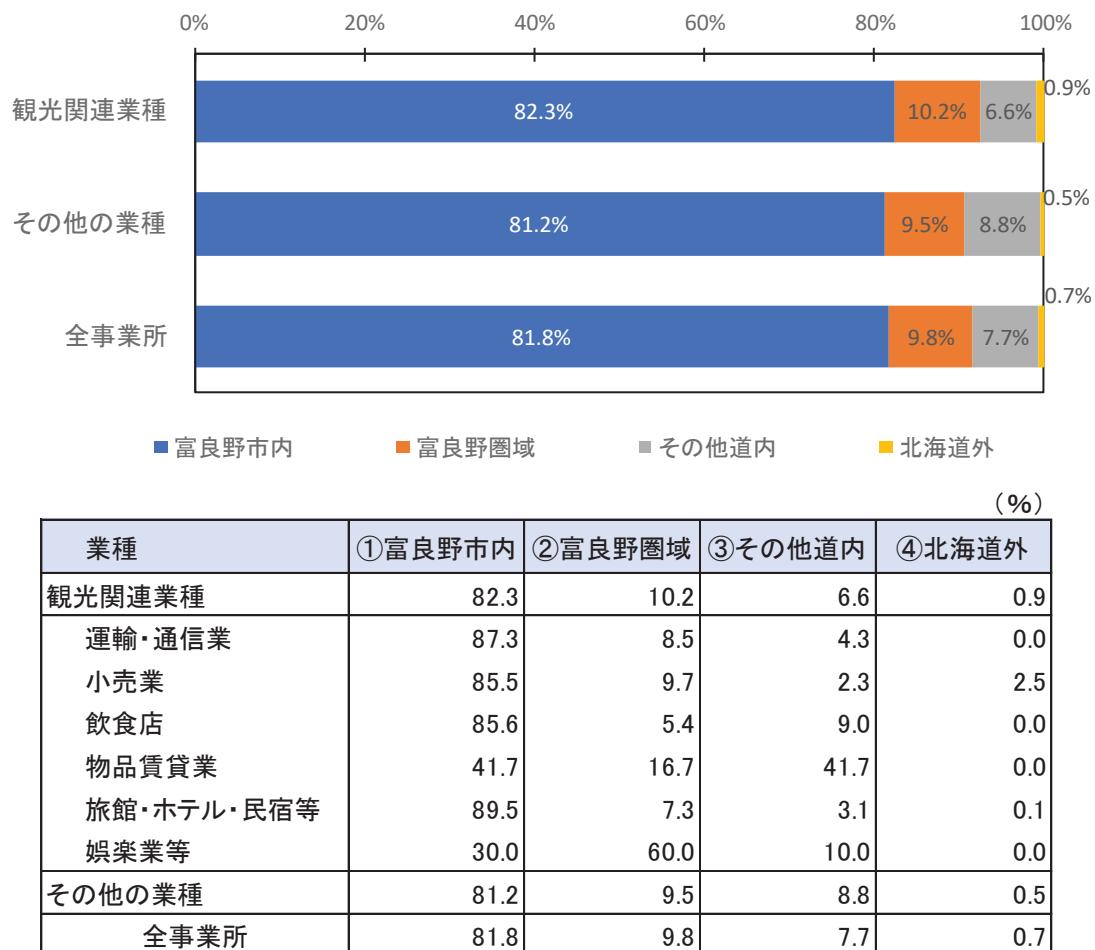
【その他道内の割合(平均)】

業種	平成18年	平成25年	平成30年
観光関連業種	13.4	16.5	10.9
運輸・通信業	6.8	15.9	4.7
小売業	14.7	22.1	10.6
飲食店	11.8	11.7	13.4
物品賃貸業	52.8	—	18.3
旅館・ホテル・民宿等	13.1	12.1	10.5
娯楽業等	0.0	—	5.0
その他の観光関連	5.0	—	—
その他他の業種	13.4	20.0	15.7
全事業所	13.4	18.0	13.2

③ 人件費の支払地域

- ・全事業所における人件費の支払地域をみると、「富良野市内」の比率は前回調査とほぼ同等の水準にあり（81.0%→81.8%）、「富良野圏域」の比率が減少している。
- ・観光関連業種においては、「富良野市内」が82.3%、「富良野圏域」が10.2%、「その他道内」が6.6%であり、前回調査とほぼ同じ構成となっている。

図表3-2-11 「人件費」の支払先の地域別割合（平均）



注：平均=人件費の支払地域別割合の総計／回答事業所数

図表3-2-12 「人件費」の支払先の地域別割合（平均、経年変化）

【富良野市内の割合(平均)】

業種	平成18年	平成25年	(%) 平成30年
観光関連業種	83.3	84.4	82.3
運輸・通信業	78.7	82.9	87.3
小売業	82.0	87.2	85.5
飲食店	91.8	81.0	85.6
物品販貸業	100.0	—	41.7
旅館・ホテル・民宿等	79.5	92.9	89.5
娯楽業等	0.0	—	30.0
その他の観光関連	95.0	—	—
その他の業種	80.0	77.9	81.2
全事業所	81.7	81.0	81.8

【富良野圏域の割合(平均)】

業種	平成18年	平成25年	平成30年
観光関連業種	7.8	10.2	10.2
運輸・通信業	11.0	10.6	8.5
小売業	11.5	5.1	9.7
飲食店	6.6	18.3	5.4
物品販貸業	0.0	—	16.7
旅館・ホテル・民宿等	3.4	7.1	7.3
娯楽業等	0.0	—	60.0
その他の観光関連	0.0	—	—
その他の業種	13.7	16.3	9.5
全事業所	10.7	13.4	9.8

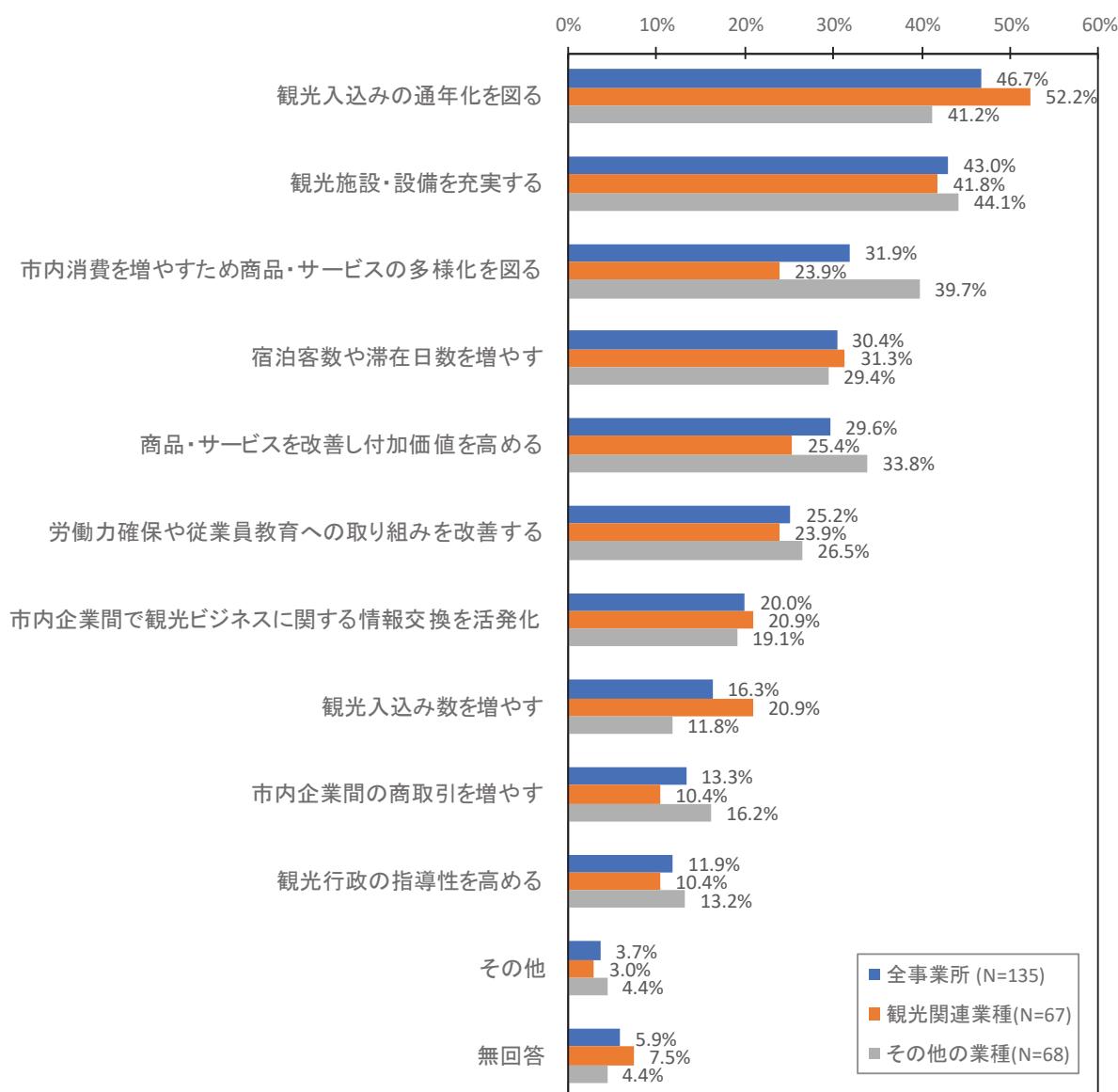
【その他道内の割合(平均)】

業種	平成18年	平成25年	平成30年
観光関連業種	2.8	5.0	6.6
運輸・通信業	10.3	5.9	4.3
小売業	2.7	7.7	2.3
飲食店	0.5	0.0	9.0
物品販貸業	0.0	—	41.7
旅館・ホテル・民宿等	2.0	0.0	3.1
娯楽業等	0.0	—	10.0
その他の観光関連	0.0	—	—
その他の業種	3.8	4.6	8.8
全事業所	3.3	4.8	7.7

(5) 市内観光経済効果拡大方策

- 市内の観光経済効果を拡大させる方策について尋ねたところ、「観光入込みの通年化を図る」(46.7%)、「観光施設・設備を充実する」(43.0%)、「市内消費を増やすため商品・サービスの多様化を図る」(31.9%)の順に多くなっている(全事業所)。
- 観光関連業種では上位2項目に次いで「宿泊客数や滞在日数を増やす」が多くなっているが、その他の業種においては「市内消費を増やすため商品・サービスの多様化を図る」「商品・サービスを改善し付加価値を高める」とする割合が多く、観光関連事業者に対する商品・サービスの拡充への期待がみてとれる。

図表3-2-13 富良野市内の観光経済効果をより大きくするために有効な取り組み



注：3つまでの複数回答

	全事業所	觀光関連業種	運輸・通信業	小売業	飲食店	物品販賣業	旅館・ホテル等	娯樂業等	その他の業種
1 市内企業間で観光ビジネスに関する情報交換を活発化	27	14		3	2	3	2	4	13
2 市内企業間の商取引を増やす	18	7			6		1		11
3 観光入込み数を増やす	22	14		3	4	3		3	1
4 観光入込みの通年化を図る	63	35		5	14	10		5	1
5 宿泊客数や滞在日数を増やす	41	21		3	3	8		5	2
6 観光施設・設備を充実する	58	28		2	11	6	3	4	2
7 商品・サービスを改善し付加価値を高める	40	17		3	6	4	1	3	23
8 市内消費を増やすため商品・サービスの多様化を図る	43	16		2	8	1	2	3	27
9 労働力確保や従業員教育への取り組みを改善する	34	16		2	6	5		3	18
10 観光行政の指導性を高める	16	7		1	4			2	9
11 その他	5	2						2	3
無回答	8	5			3	2			3
事業所数	135	67		8	26	16	3	12	2
									68

【割合(%)】

1 市内企業間で観光ビジネスに関する情報交換を活発化	20.0	20.9	37.5	7.7	18.8	66.7	33.3	0.0	19.1
2 市内企業間の商取引を増やす	13.3	10.4	0.0	23.1	0.0	33.3	0.0	0.0	16.2
3 観光入込み数を増やす	16.3	20.9	37.5	15.4	18.8	0.0	25.0	50.0	11.8
4 観光入込みの通年化を図る	46.7	52.2	62.5	53.8	62.5	0.0	41.7	50.0	41.2
5 宿泊客数や滞在日数を増やす	30.4	31.3	37.5	11.5	50.0	0.0	41.7	100.0	29.4
6 観光施設・設備を充実する	43.0	41.8	25.0	42.3	37.5	100.0	33.3	100.0	44.1
7 商品・サービスを改善し付加価値を高める	29.6	25.4	37.5	23.1	25.0	33.3	25.0	0.0	33.8
8 市内消費を増やすため商品・サービスの多様化を図る	31.9	23.9	25.0	30.8	6.3	66.7	25.0	0.0	39.7
9 労働力確保や従業員教育への取り組みを改善する	25.2	23.9	25.0	23.1	31.3	0.0	25.0	0.0	26.5
10 観光行政の指導性を高める	11.9	10.4	12.5	15.4	0.0	0.0	16.7	0.0	13.2
11 その他	3.7	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	4.4
無回答	5.9	7.5	0.0	11.5	12.5	0.0	0.0	0.0	4.4
事業所数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

注：3つまでの複数回答

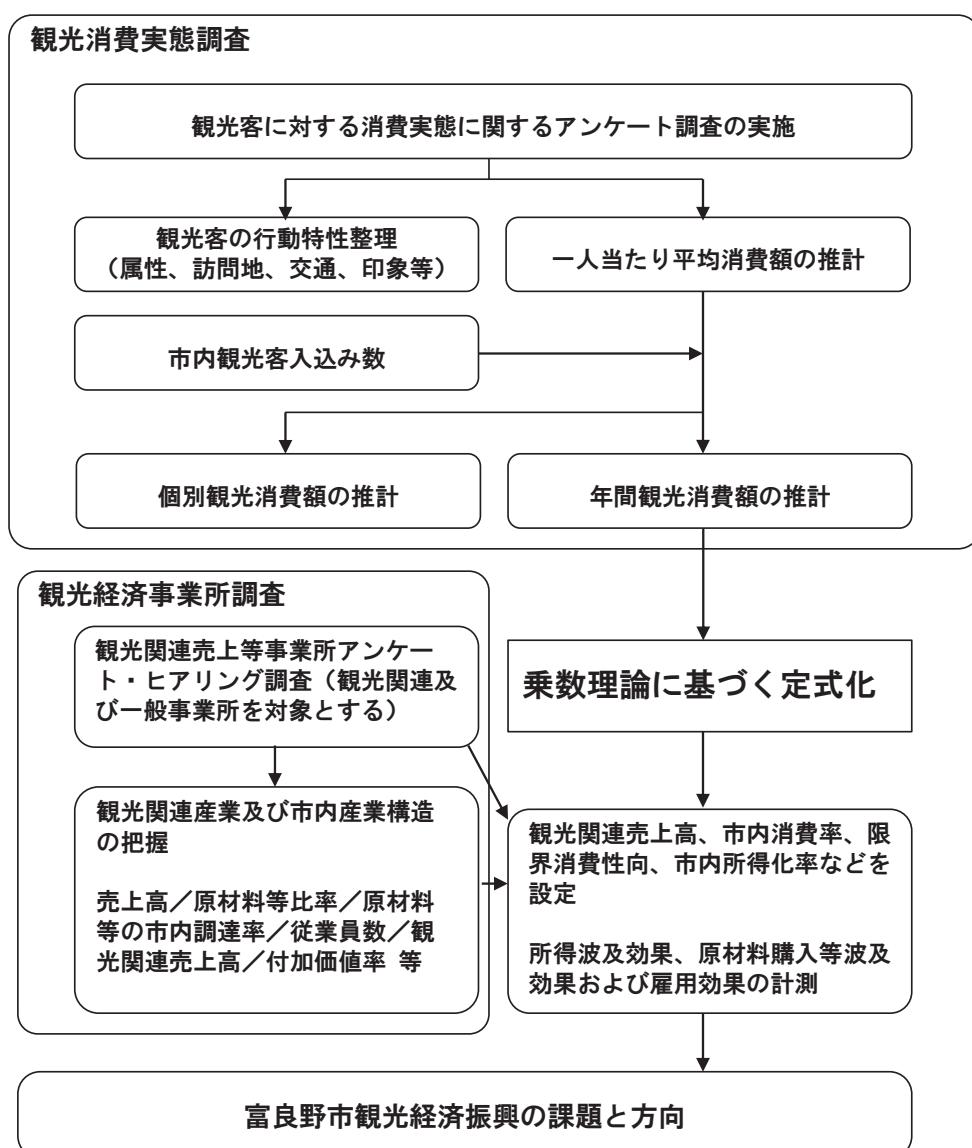
4 観光経済波及効果の推計

4.1 推計の流れと前提

(1) 推計の流れ・方法

- ・経済効果の計測は、①富良野市に訪れた観光客を対象とした「観光消費実態調査」の結果をもとにした年間観光消費額の推計、②富良野市内の事業者を対象とした「観光経済事業所調査」の結果をもとにした観光関連産業及び市内産業構造の把握を踏まえて、乗数理論に基づき実施した。

図表4-1-1 観光経済効果の推計の概略



(2) 消費に関する係数の設定

① 市内消費率の設定

【富良野市民のみを対象とする市内消費率の設定】

- ・「市内消費率」とは、生じた消費額のうち富良野市内で消費される割合を示す。
- ・最初に、道広域商圏調査、家計調査年報の数値をそれぞれ使用し、品目ごとの市内消費率（市外居住者の富良野市内での消費分を含まず）を算出すると図表4-1-2の通りとなる。
- ・品目ごとの市内消費率から、市全体の消費率（市外居住者の富良野市内での消費分を含まず）を求めるとき、図表4-1-3で示す通り、0.706となる（前回調査は0.688）。

図表4-1-2 各品目の市内消費率（市外居住者の富良野市内での消費分を含まず）

		市内消費率	ウエイト	加重平均値	前回調査 加重平均値
①食料	生鮮食料品	0.854	0.500	0.841	0.841
	一般食料品	0.828	0.500		
②住居	家賃地代	0.950	0.640	0.932	0.931
	設備修繕・維持	0.900	0.360		
③光熱、水道	電気、ガス、灯油、上下水道	0.990	1.000	0.990	0.990
④家具・家事	家庭用耐久財	0.710	0.390	0.672	0.671
	室内装備装飾品	0.523	0.070		
	寝具類・家事雑費・家用消耗品・家事サービス	0.664	0.540		
⑤被服及び履物	和服	0.421	0.013	0.504	0.507
	洋服	0.318	0.336		
	シャツ・セーター類・下着類・生地糸類・他の被服	0.577	0.429		
	履物	0.486	0.144		
	被服関連サービス	0.950	0.078		
⑥保健医療	医薬品・健康保険用摂取品	0.298	0.340	0.553	0.569
	保健医療用品・器具	0.304	0.200		
	保健医療サービス	0.850	0.460		
⑦交通・通信	交通	0.900	0.110	0.797	0.792
	自動車等関係費	0.710	0.540		
	通信費	0.900	0.350		
⑧教育	授業料等	0.710	0.710	0.752	0.737
	教科書・学習参考教材	0.900	0.030		
	補習教育	0.850	0.260		
⑨教養娯楽	教育娯楽用耐久財	0.710	0.070	0.593	0.587
	教養娯楽用品	0.869	0.250		
	書籍・他の印刷物	0.718	0.170		
	教養娯楽サービス	0.400	0.510		
⑩その他消費支出	諸経費	0.298	0.180	0.298	0.297
	こづかい	0.626	0.270		
	交通費	0.626	0.120		
	仕送金	0.000	0.510		

（出所）道広域商圏調査（平成21年）、総務省統計局「家計調査年報（平成29年）」

（注）市内消費率は道広域商圏調査の数値、ウエイトは家計調査年報の数値をそれぞれ使用し、加重平均値を算出した。

図表4-1-4 富良野市内で就業する周辺自治体居住者数と対富良野市消費依存実質人口の推計

項目	①市内従業市外居住就業者数(=世帯数) (単位:人)	②同左世帯人員 注: 世帯数×(1世帯あたり 人員2.20人、全道・平成 27年) (単位:人)	③富良野市買い物場所 利用割合(=対富良野 市消費依存度)	④対富良野市消費依存 実質人口(②×③) (単位:人)
常駐市町村				
上富良野町	513	1,128	0.115	129
中富良野町	438	963	0.362	348
芦別市	137	301	0.000	0
旭川市	232	510	0.000	0
南富良野町	34	74	0.461	34
赤平市	32	70	0.000	0
美瑛町	36	79	0.002	0
札幌市	45	99	0.000	0
占冠村	10	22	0.426	9
滝川市	21	46	0.000	0
東神楽町	16	35	0.000	0
その他の市町村	84	184	0.000	0
他県	46	101	0.000	0
合計	1,644	3,612	-	520

(資料) 総務省統計局「平成27年 国勢調査報告」 平成27年国勢調査従業地・通学地集計 従業地・通学地による人口・就業状態等集計

北海道経済部商工局「平成21年度北海道広域商圈動向調査」

② 消費性向の設定

- 「消費性向」とは、生じた所得のうち消費にあてられる割合を示す。
- 前回調査と同様、総務省「家計調査年報（家計収支編）」における北海道の平均消費性向の値 (0.751) を用いる（前回調査は0.757）

(3) 観光関連産業に関する係数の設定

① 観光関連産業売上高の設定

- 観光総消費額 27,427百万円 (前回調査24,026百万円)を観光関連産業売上高として設定する。 (図表2-2-40)

② 観光関連産業の付加価値率・付加価値額の設定

- 付加価値率はアンケート調査結果（図表3-2-6）より0.414 (前回調査0.384)。
- 付加価値額は、観光関連産業の売上高×付加価値率で算出され、
 $27,427\text{百万円} \times 0.414 = 11,355\text{百万円}$ となる (前回調査9,226百万円)。

③ 観光関連産業の市内所得化率の設定

- ・「市内所得化率」とは、付加価値額（所得）を構成する人件費・租税公課・減価償却費・営業利益のうち市内に生じる割合を示す。
- ・富良野市内に生じる観光関連産業の付加価値額は、図表4-1-5で示す通り、8,298百万円となる。（前回調査7,584百万円）

富良野市内に生じる観光関連産業の付加価値額
= (観光関連産業総売上高)
 × (付加価値額を構成する人件費、租税公課、減価償却費、営業利益の比率)
 × (それらの地域内に生じた割合)
・以上より、観光関連産業の市内所得化率（＝富良野市内に生じる観光関連産業の付加価値額（8,298百万円）／観光関連産業の付加価値額全体（11,355百万円））は、0.731となる（前回調査0.822）

図表4-1-5 富良野市内に生じる観光関連産業の付加価値額および市内所得率

番号	項目	市内に生じる分(単位:百万円)			
		付加価値額		市内に生じる割合	市内に生じる分
		観光関連産業 売上高	対売上比		
①	市内に生じる観光関連産業の人件費	27,427	×	0.244	× 0.823 = 5,508
②	市内に生じる観光関連産業のその他経費	27,427	×	0.169	× 0.602 = 2,790
③	市内に生じる観光関連産業の付加価値額	8,298			
④	市内所得化率(観光関連産業)	$= 8,298 \div 11,355 = 0.731$			

(注) 対売上比：図表3-2-6（人件費0.244、その他経費0.169）

市内に生じる割合：①図表3-2-11、②図表4-1-6

図表4-1-6 富良野市内にある民営事業者の本社支社従業者比率

	事業所数	従業者数	従業者数	本社支社従業者比率
			注:単独を本社に読み替えた数	
単独事業所	767	4334	4,624	0.602
本所・本社・本店	33	290		
支所・支社・支店	181	3054	3,054	0.398
合計	981	7,678	7,678	1.000

(出所) 平成29年経済センサス・基礎調査

(4) 全産業に関する係数の設定

① 全産業の付加価値率の設定

- 全産業の付加価値率は、図表3-2-6より0.460となる（前回調査0.406）。

② 全産業の市内所得化率の設定

- 全産業の市内所得化率は、0.738となる（前回調査0.801）

図表4-1-7 富良野市内に生じる全産業付加価値算出経過

番号	項目	市内に生じる分			市内・市外に生じる分
		対売上比	市内に 生じる割合	市内に 生じる分	
①	市内に生じる全産業の人工費	0.290	×	0.818 = 0.237	0.290
②	市内に生じる全産業のその他経費	0.170	×	0.602 = 0.102	0.170
③	上記合計			0.340	0.460
④	市内所得化率(全産業)			=0.340 ÷ 0.460=0.738	

(注) 対売上比：図表3-2-6（人工費0.290、その他経費0.170）

市内に生じる割合：①図表3-2-11、②図表4-1-6

(5) 各種係数のまとめ

- 上記の観光経済効果推計に使用する各種係数は下記のとおり。

図表4-1-8 観光経済効果推計に使用する各種係数

項目	設定値	前回調査	備考
市内消費率	0.676	0.693	既存資料
消費性向	0.751	0.757	既存資料
観光関連産業売上高(百万円)	27,427	24,026	観光消費実態調査
観光関連産業市内所得(百万円)	8,298	7,584	事業所調査
観光関連産業付加価値率	0.414	0.385	事業所調査
観光関連産業市内所得化率	0.731	0.822	事業所調査
観光関連産業の原材料費等比率 (原材料費比率+営業経費比率)	0.585	0.616	事業所調査
観光関連産業の原材料費等市内自給率 (各経費の市内自給率の加重平均)	0.552	0.559	事業所調査
全産業付加価値率	0.460	0.406	事業所調査
全産業市内所得化率	0.738	0.801	事業所調査、既存資料
全産業の原材料費等比率 (原材料費比率+営業経費比率)	0.539	0.593	事業所調査
全産業の原材料費等市内自給率 (各経費の市内自給率の加重平均)	0.521	0.494	事業所調査

4.2 推計結果

- ・本調査で推計する観光経済波及効果は、下表に示した「①年間観光総消費額」、「②観光関連産業の所得による効果」、「③観光関連産業の原材料等調達による効果」、「④全産業の所得による効果」の4項目で構成される。
- ・それぞれの推計結果を以降に示す。

図表4-2-1 観光経済波及効果の構成

項目	概 略
①年間観光総消費額	・観光消費実態調査結果をもとに推計した観光消費額 [=1人当たり消費額×入込数]
②観光関連産業の所得による効果	・上記①の観光消費によって生み出された観光関連産業の所得から生じる消費需要 [=所得(付加価値額)×消費性向×市内消費率]
③観光関連産業の原材料等調達による効果	・観光関連産業における原材料等の調達によって生じる市内取引需要 [=売上高×原材料等比率×市内自給率]
④全産業の所得による効果	・上記③の原材料等調達によって生み出された全産業の所得から生じる消費需要 [=所得(付加価値額)×消費性向×市内消費率]

(1) 年間観光総消費額（再整理）

- ・夏季・冬季の日帰り客と夏季の宿泊客の1人あたりの消費額は前回調査と大差はないが、冬季の宿泊客の1人あたりの消費額が伸びている。これは、宿泊日数の増加と1泊あたりの宿泊費とともに増加したことによる。
- ・1人あたり消費額に入込数を乗じて、年間観光総消費額274億円（前回240億円）が得られた。入込数は今回調査と前回調査でほぼ同じであり、上記のとおり、冬季の宿泊客の消費拡大が年間観光総消費額が拡大した要因となっている。

(2) 観光関連産業の所得による効果

- ・観光関連産業売上高によって直接的に生じる消費需要および所得について、乗数定式に必要な数値を代入して算出する。この計算結果を次表に示す。
- ・4.1(3)で設定した観光関連産業総売上高（274億円）が直接的に生み出す観光関連産業の市内での所得（4.1(2)③）は83億円（前回76億円）と推計され、前回調査時と比べて増加した。
- ・この観光関連産業市内所得は直接的な波及効果として、市内において50億円（前回48億円）の消費と、観光関連産業の所得も含めて98億円（前回91億円）の所得を生み出すと推計された（図表4-2-2）。また、後者は観光関連産業市内所得額に対して1.18倍（98億円／83億円、前回1.20倍）の乗数効果をもたらしていると算出される。

図表4-2-2 観光関連産業の売上高により生じる消費需要および所得

番号	項目・計算式	消費(百万円)	所得(百万円)
①	観光関連産業の市内所得(付加価値額)		8,298
$\text{消費分} = \text{所得} \times \text{消費性向}(0.751) \times \text{市内消費率}(0.676)$ \downarrow $\text{所得分} = \text{消費} \times \text{全産業付加価値率}(0.460) \times \text{全産業市内所得化率}(0.738)$			
	第1次消費分 $8,298 \times 0.751 \times 0.676 =$	4,213	
	第1次所得分 $4,213 \times 0.406 \times 0.738 =$		1,262
	第2次消費分 $1,262 \times 0.751 \times 0.676 =$	641	
	第2次所得分 $641 \times 0.406 \times 0.738 =$		192
	第3次消費分 $192 \times 0.751 \times 0.676 =$	97	
	第3次所得分 $97 \times 0.406 \times 0.738 =$		29
	第4次消費分 $29 \times 0.751 \times 0.676 =$	15	
	第4次所得分 $15 \times 0.406 \times 0.738 =$		4
	第5次消費分 $4 \times 0.751 \times 0.676 =$	2	
	第5次所得分 $2 \times 0.406 \times 0.738 =$		1
②	波及効果(第5次までの消費・所得計)	4,968	9,786

1.18
倍

(3) 観光関連産業の原材料等調達による効果

- 原材料購入等（営業経費支払いを含む）による波及効果の計算経過を下表に示す。
- 市内で生じる観光関連産業に関する原材料購入等（営業経費支払を含む）と、それが波及し、もたらす原材料等波及効果の合計は、123億円（前回117億円）と推計される（図表4-2-4）。また、原材料購入等波及効果合計額は、市内観光関連産業に生じる原材料等需要額89億円（前回83億円）に対して、1.38倍（123億円／89億円、前回1.41倍）の乗数効果をもたらしている。

図表4-2-4 観光関連産業の原材料等調達により生じる市内取引需要

番号	項目・計算式	原材料等調達取引需要(百万円)
①	観光関連産業売上高	27,427 百万円
②	観光関連産業の原材料等調達によって生じる市内取引需要 $= ① \times \text{観光関連産業の原材料費等比率}(0.585) \times \text{市内自給率}(0.552)$	8,857
下記は、全産業の原材料等比率(0.539)、市内自給率(0.521)		
	第1次市内取引需要 $8,857 \times 0.539 \times 0.521 =$	2,487
	第2次市内取引需要 $2,487 \times 0.539 \times 0.521 =$	698
	第3次市内取引需要 $698 \times 0.539 \times 0.521 =$	196
	第4次市内取引需要 $196 \times 0.539 \times 0.521 =$	55
	第5次市内取引需要 $55 \times 0.539 \times 0.521 =$	15
③	波及効果(第5次までの取引需要計)	12,308

1.38
倍

(4) 全産業の所得による効果

- 原材料購入等（営業経費支払を含む）により生じる所得波及効果の計測に関して、乗数定式に必要な数値を代入して算出する。この計算経過を下表に示す。

図表4-2-3 原材料購入等により生じる消費需要及び所得

番号	項目・計算式	消費(百万円)	所得(百万円)
①	観光関連産業の原材料等調達によって生じる市内取引需要 8,857 千円		
②	①によって生じる所得(付加価値額) $=① \times \text{全産業付加価値率}(0.460) * \text{全産業市内所得化率}(0.738)$		2,880
	$\text{消費分} = \text{所得} \times \text{消費性向}(0.751) * \text{市内消費率}(0.676)$ \downarrow $\text{所得分} = \text{消費} \times \text{全産業付加価値率}(0.460) * \text{全産業市内所得化率}(0.738)$		
	第1次消費分 $2,880 \times 0.751 \times 0.676 =$	1,462	
	第1次所得分 $1,462 \times 0.460 \times 0.738 =$		496
	第2次消費分 $496 \times 0.751 \times 0.676 =$	252	
	第2次所得分 $252 \times 0.460 \times 0.738 =$		86
	第3次消費分 $86 \times 0.751 \times 0.676 =$	44	
	第3次所得分 $44 \times 0.460 \times 0.738 =$		15
	第4次消費分 $15 \times 0.751 \times 0.676 =$	8	
	第4次所得分 $8 \times 0.460 \times 0.738 =$		3
	第5次消費分 $3 \times 0.751 \times 0.676 =$	2	
	第5次所得分 $2 \times 0.460 \times 0.738 =$		1
③	波及効果(第5次までの消費・所得計)	1,768	3,481

(5) 推計結果まとめ

- ・観光による市内で生じる産業全体の波及効果を含む総消費額（観光関連産業売上高と、原材料購入等及びそれらの所得増加による新たな消費の合計）は465億円（前回429億円）と推計された。これは、観光関連産業総売上高274億円（前回240億円）に対して、1.70倍（前回1.79倍）の乗数効果をもたらすと算出される。

図表4-2-7 観光経済波及効果の推計結果まとめ

項目	今回調査	H25調査
①年間観光総消費額	274億円	240億円
②観光関連産業の所得による効果	50億円	48億円
③観光関連産業の原材料等調達による効果	123億円	117億円
④全産業の所得による効果	18億円	24億円
合 計	465億円	429億円
乗数効果（合計／①年間観光総消費額）	1.70	1.79

図表4-2-8 富良野市観光経済効果に関する北海道における位置

	富良野市	北海道	富良野市が 北海道に 占める比率	同左、前回 調査時
総人口(人)	22,936	5,381,733	0.43%	0.44%
事業所従業者(人)	10,726	2,445,372	0.44%	0.49%
小売業年間商品販売額(百万円)	30,119	6,308,491	0.48%	0.56%
観光客入込数、延べ数(人)	1,894	145,759	1.30%	1.43%
宿泊客入込数、延べ数(人)	685	37,234	1.84%	1.92%
観光関連産業総売上高(億円)	274	14,298	1.92%	1.85%
市内で生じる総売上高(億円)	465	20,897	2.23%	2.56%
乗数効果(倍)	1.70	1.46	—	—
観光経済効果に相当する就業者(人)	3,005	189,979	1.58%	2.13%
観光経済効果に相当する市内常住就業者(人)	2,469	189,979	1.30%	1.77%

4.付 雇用効果にかかる検討

(1) 観光経済効果に対応する雇用効果の計測

- ・観光の産業的な規模を把握する一つの指標として、観光経済効果に対応する就業者数を算出する。なお、この数は観光関連の仕事に実際に携わっている就業者数とは異なる。本調査の観光経済効果計測アプローチ、すなわち所得循環分析の特性を活用し、「就業者に配分される所得総額」を求め、それを「就業者一人あたり平均所得額」で除する手法で算出する。
- ・観光によって生じる企業総所得から就業者に配分される個人所得総額（人件費総額）を算出する。まず、企業所得については、観光客消費から直接生じる企業所得、すなわち観光関連事業所に生じる「観光関連産業所得」と原材料購入等によって生じる企業所得、すなわち全産業事業所に波及する「原材料購入等産業所得」とを区別する。
- ・富良野市内の「観光関連産業所得」の総額は、図表4-2-2における所得合計98億円（前回91億円）であり、富良野市内の「原材料購入等産業所得」の総額は図表4-2-3における所得合計35億円（前回46億円）である。
- ・次に、企業総所得は、企業総売上高から原材料費と営業経費を除いた「人件費」、「その他」の二つからなるが、就業者に配分される個人所得総額は「人件費」である。
- ・すなわち、就業者に配分される個人所得総額は下記の通り算出される。
(就業者に配分される個人所得総額)
= (企業総所得) × (対企業総所得人件費比率 (人件費／(人件費+その他)))
さらに、図表3-2-6より、
(観光関連事業所の対企業総所得人件費比率)
= (人件費) / (人件費+その他)
= 24.4% / (24.4% + 16.9%)
= 0.591 (前回0.651) となる。
以上より、富良野市における観光経済効果に対応する就業者数は下表の通りまとめられる。

図表4-2-9 富良野市の観光経済効果に対応する就業者数算出経過

番号	項目	観光関連産業	原材料購入等産業
①	観光による産業所得総額(千円)	9,786,000	3,481,000
②	対企業総所得人件費比率 【図表3-2-6参照】	0.591	0.630
③	就業者に配分される個人所得額(千円) 【(①×②)】	5,781,559	2,194,543
④	就業者に配分される個人所得額(①×②) 【観光関連産業③+原材料購入産業③】	7,976,102	
⑤	富良野市内配分人件費比率 【図表3-2-11参照】	0.823	0.818
⑥	富良野市内常住就業者に配分される個人所得額(千円) 【③×⑤】	4,758,223	1,795,136
⑦	富良野市内就業者一人当たりの所得額(千円)	2,763	
⑧	富良野市の観光経済効果に対応する就業者数 【③÷⑦】	2,092人(前回2,259人)	794人(前回1,150人)
⑨	富良野市の観光経済効果に対応する就業者総数 【観光関連産業⑧+原材料購入産業⑧】	2,886人(前回3,409人)	
⑩	富良野市の観光経済効果に対応する市内常住就業者 【⑥÷⑦】	1,722人(前回1,906人)	650人(前回931人)

(注) 富良野市内就業者一人あたりの所得額は、総務省「平成24年度 市町村税課税状況等の調」より、2,763千円とした(前回2,636千円)。

(2) 観光経済効果額に対応する就業者総数

- ・計測された観光経済効果額に対応する観光のみに専従とみた場合の就業者総数は、2,887人(前回3,409人)であり、このうち市内に常駐する就業者総数は2,372人(前回2,837人)である。
- ・観光経済効果額に対応する就業者総数(①)が事業所従業者総数(③)に占める割合は26.9%(前回28.7%)、常住就業者総数(④)に占める割合は24.4%(27.8%)となっている。
- ・観光経済効果額に対応する市内常住就業者総数(②)が事業所従業者総数(③)に占める割合は22.1%(23.9%)、常住就業者総数(④)に占める割合は20.0%(23.1%)となっている。

図表4-2-10 観光経済効果額に対応する就業者数

	今回調査	前回調査
①観光経済効果額に対応する就業者総数	2,887	3,409
②観光経済効果額に対応する市内常住就業者総数	2,372	2,837
③事業所従業者総数	10,726	11,888
④常住就業者総数	11,843	12,283
⑤①÷③	26.9%	28.7%
⑥②÷③	22.1%	23.9%
⑦①÷④	24.4%	27.8%
⑧②÷④	20.0%	23.1%

5 観光に関する住民意識調査

5.1 調査概要

(1) アンケート調査の実施方法・期間

- ・アンケート調査の実施方法、および実施期間は以下のとおり。

図表5-1-1 アンケート調査概要

項目	内容
実施方法	<ul style="list-style-type: none">・対象者は、市民1,000名・居住地区、年齢、性別等のバランスを考慮し、住民基本台帳より抽出。
実施期間	<ul style="list-style-type: none">・平成31年2～3月
回収状況	<ul style="list-style-type: none">・発送数 1,000件返送数 14件（送付先住所尋ね当たらず）実質発送数 986件（A）回収数 301件（B）回収率（B/A） 30.5%

(2) アンケート調査の内容

- ・アンケート調査の内容は以下のとおり。（アンケート票は資料編参照）

図表5-1-2 アンケート調査項目

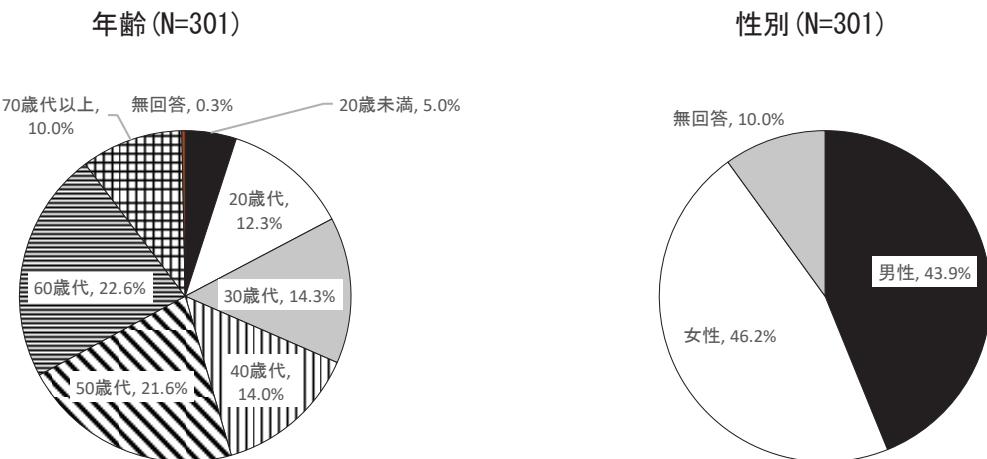
区分	内容
基本属性	年代／性別／職業／雇用形態／居住地区／出身地／居住年数／居住継続意向
観光関連産業従事者の意識	満足度／従事継続意向
観光への意識	観光客が増えていることの感想／知名度が向上していることの感想／観光客が今後増えていくことへの感想
観光振興の影響	プラスの影響／マイナスの影響
観光客の受入に対する意識	国内客／海外客別
観光客との接点・交流	接点・交流の有無／今後の接点・交流に対する意向
観光地としての富良野市の姿	観光地として目指す方向／目標に向けて今後必要な施策・努力
その他	自由意見

5.2 調査結果

(1) 回答者属性

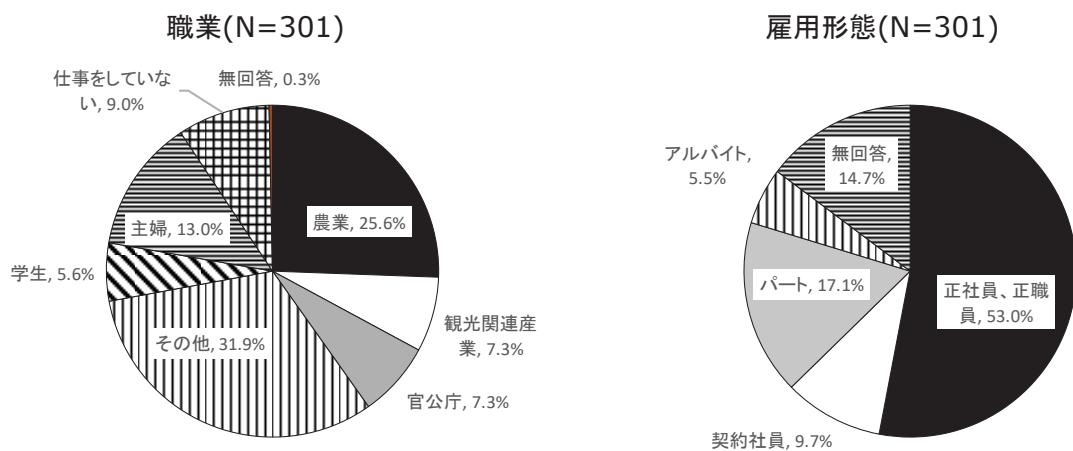
- 年齢は、「60歳代」(22.6%)が最も多く、「50歳代」(21.6%)が次いでいる。
- 性別は、「女性」(46.2%)が「男性」(43.9%)をやや上回っている。

図表5-2-1 回答者属性（年齢、性別）



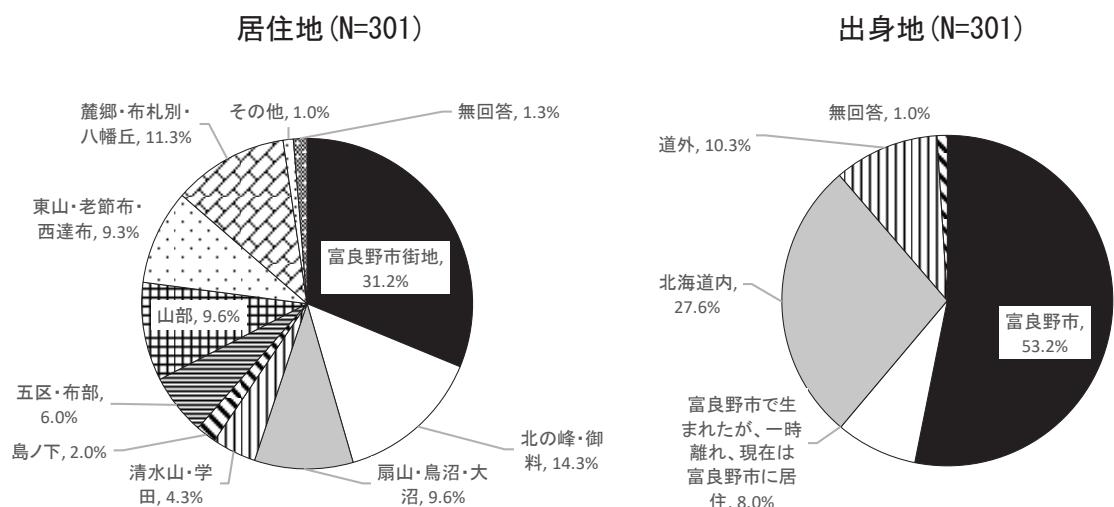
- 年齢は、「農業」(25.6%)が最も多い。「観光関連産業」は7.3%。「その他」は、医療関係、メーカー、金融機関等。
- 雇用形態は、「正社員・正職員」(53.0%)が最も多い。

図表5-2-2 回答者属性（職業、雇用形態）



- 居住地は、「富良野市街地」（31.2%）が最も多い。
- 出身地は、「富良野市」（53.2%）が最も多い。道内、道外別は下記のとおり。

図表5-2-3 回答者属性（居住地、出身地）



道内出身地詳細

空知	5	岩見沢市	1
		深川市	1
		芦別市	1
		滝川市	1
		夕張市	1
石狩	14	札幌市	11
		江別市	3
後志	1	二セコ町	1
胆振	2	室蘭市	1
		安平町	1
渡島	3	函館市	3
上川	34	旭川市	10
		中富良野町	7
		上富良野町	7
		南富良野町	5
		美瑛町	1
		美深町	1
		名寄市	1
		剣淵町	1
		占冠村	1
		留萌市	1
宗谷	2	羽幌町	1
	1	枝幸町	1
オホーツク	6	北見市	4
		遠軽町	1
		斜里町	1
		足寄町	1
十勝	4	音更町	1
		新得町	1
		更別村	1
		釧路市	3
無回答	8	無回答	8

83

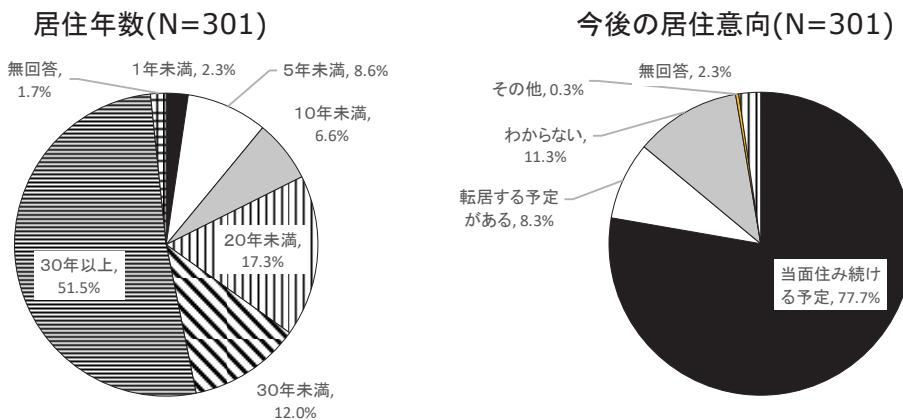
道外出身地詳細

東北	1	宮城県	1
	9	東京都	4
		神奈川県	3
		千葉県	2
中部	4	愛知県	1
		新潟県	1
		富山県	1
		福井県	1
関西	12	大阪府	5
		兵庫県	6
		奈良県	1
九州	2	長崎県	2
無回答	3	無回答	3

31 31

- ・居住年数は、「30年以上」(51.5%)が最も多い。
- ・今後の居住意向は、「当面住み続ける予定」(77.7%)が最も多い。

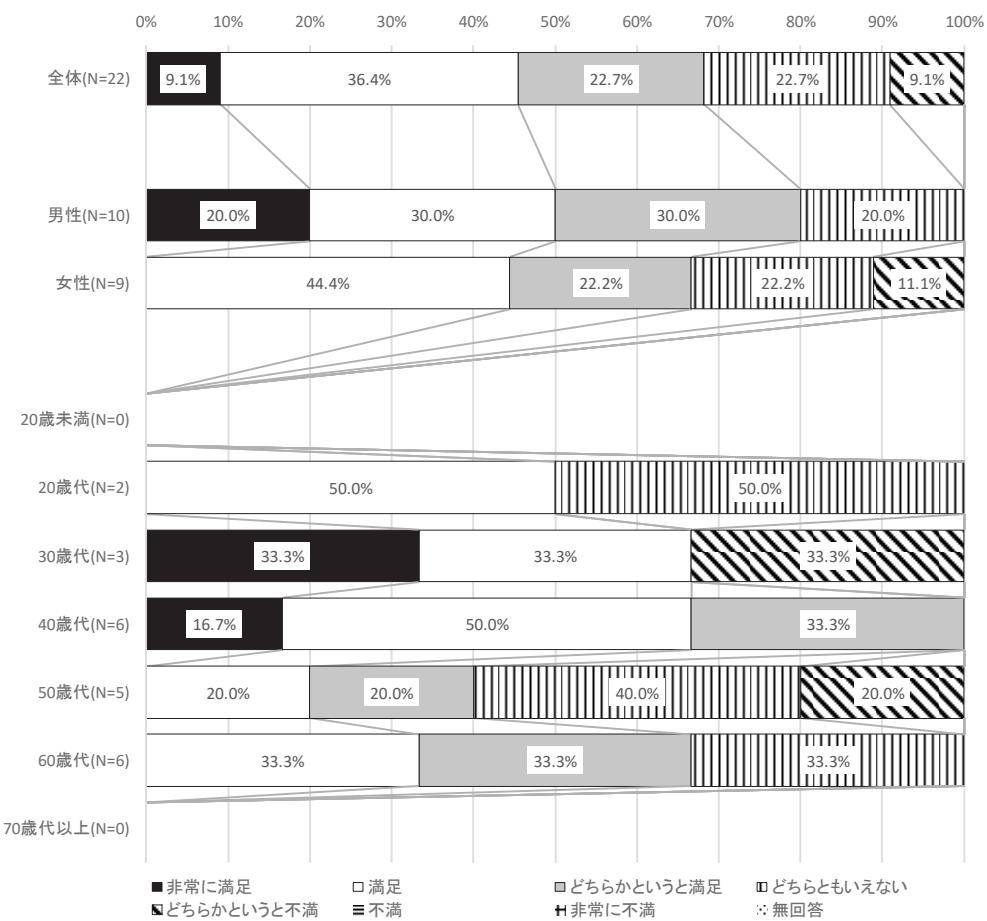
図表5-2-4 回答者属性（居住年数、今後の居住意向）



(2) 観光関連産業従事者の意識

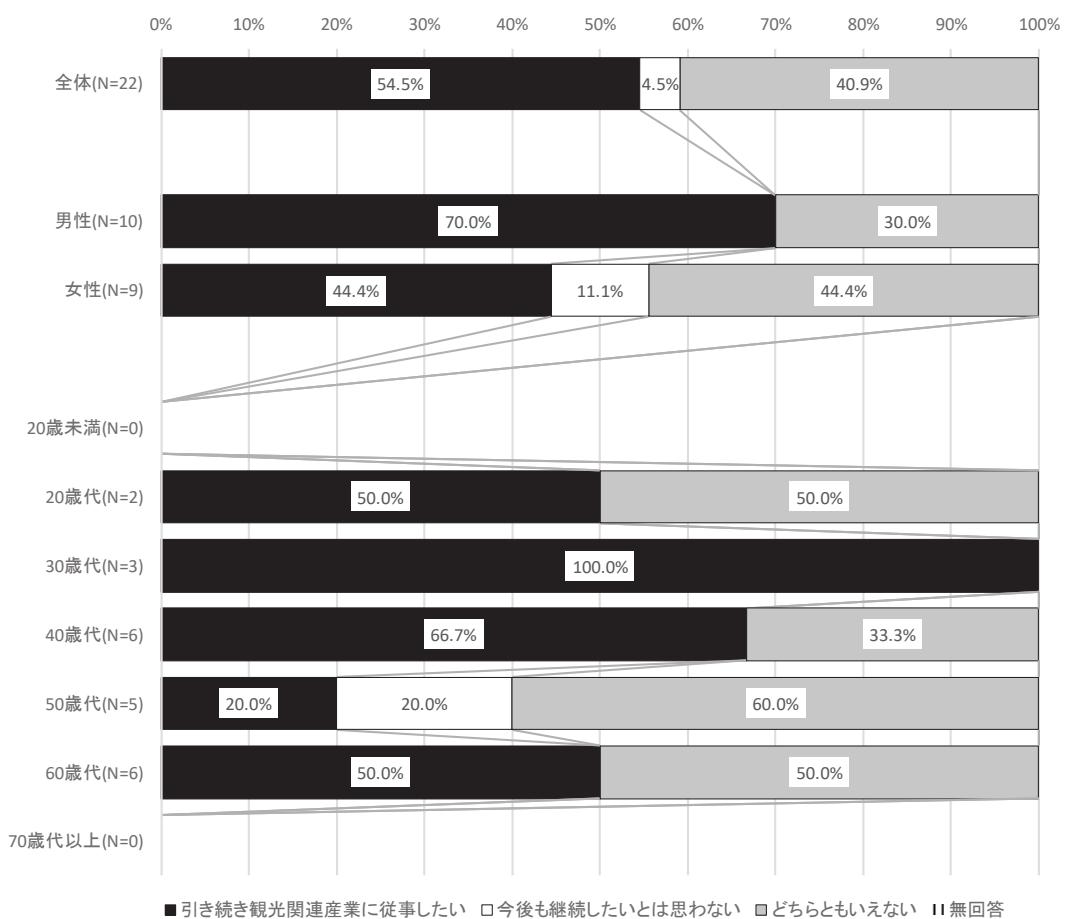
- ・満足度は、全体で7割弱が「満足（非常に好ましい、好ましい、どちらかというと好ましいの合計）」と回答している。

図表5-2-5 満足度



- 今後の従事継続意向は、全体で半数強が従事を継続したいと回答している。

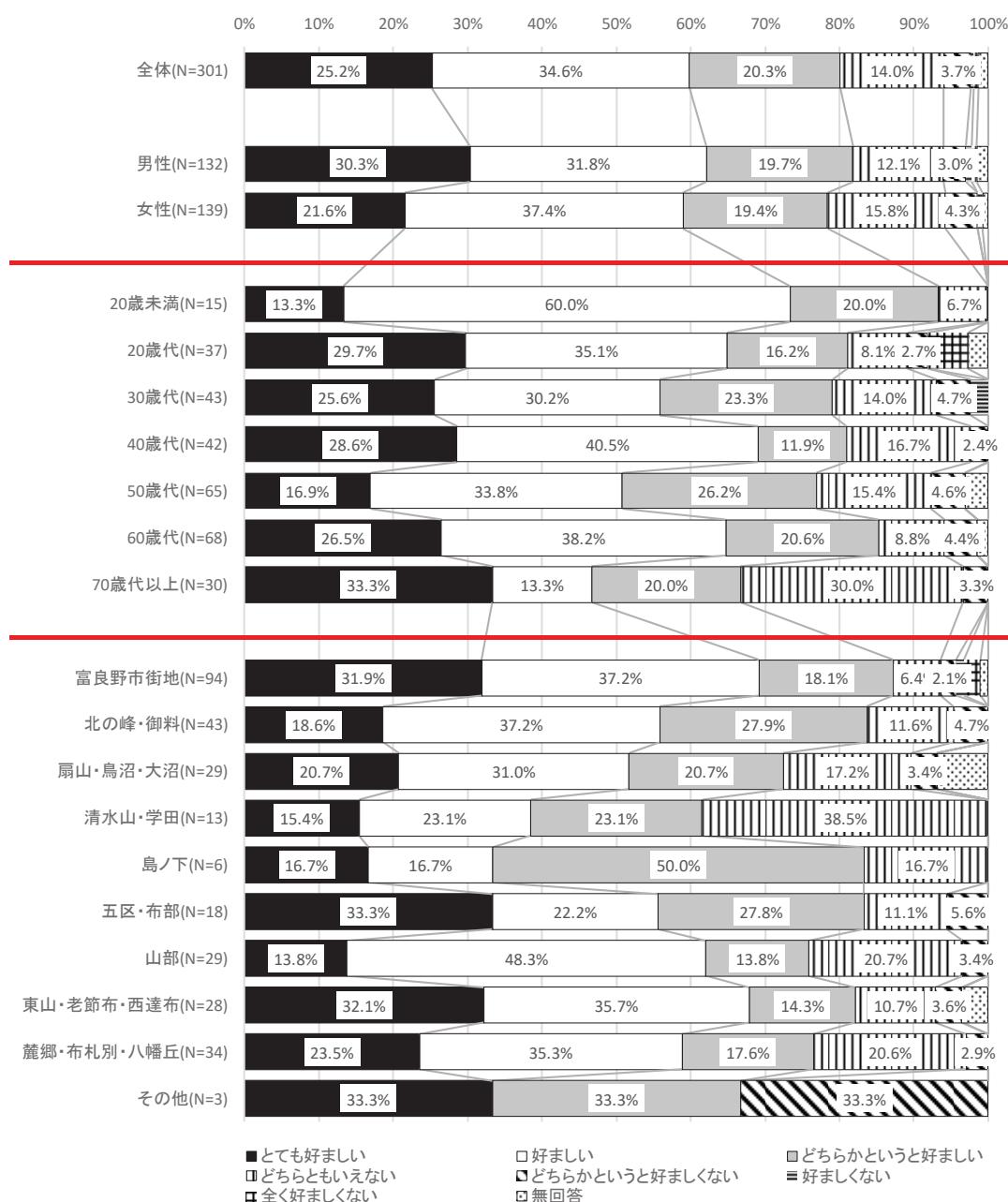
図表5-2-6 今後の従事意向



(3) 観光への意識

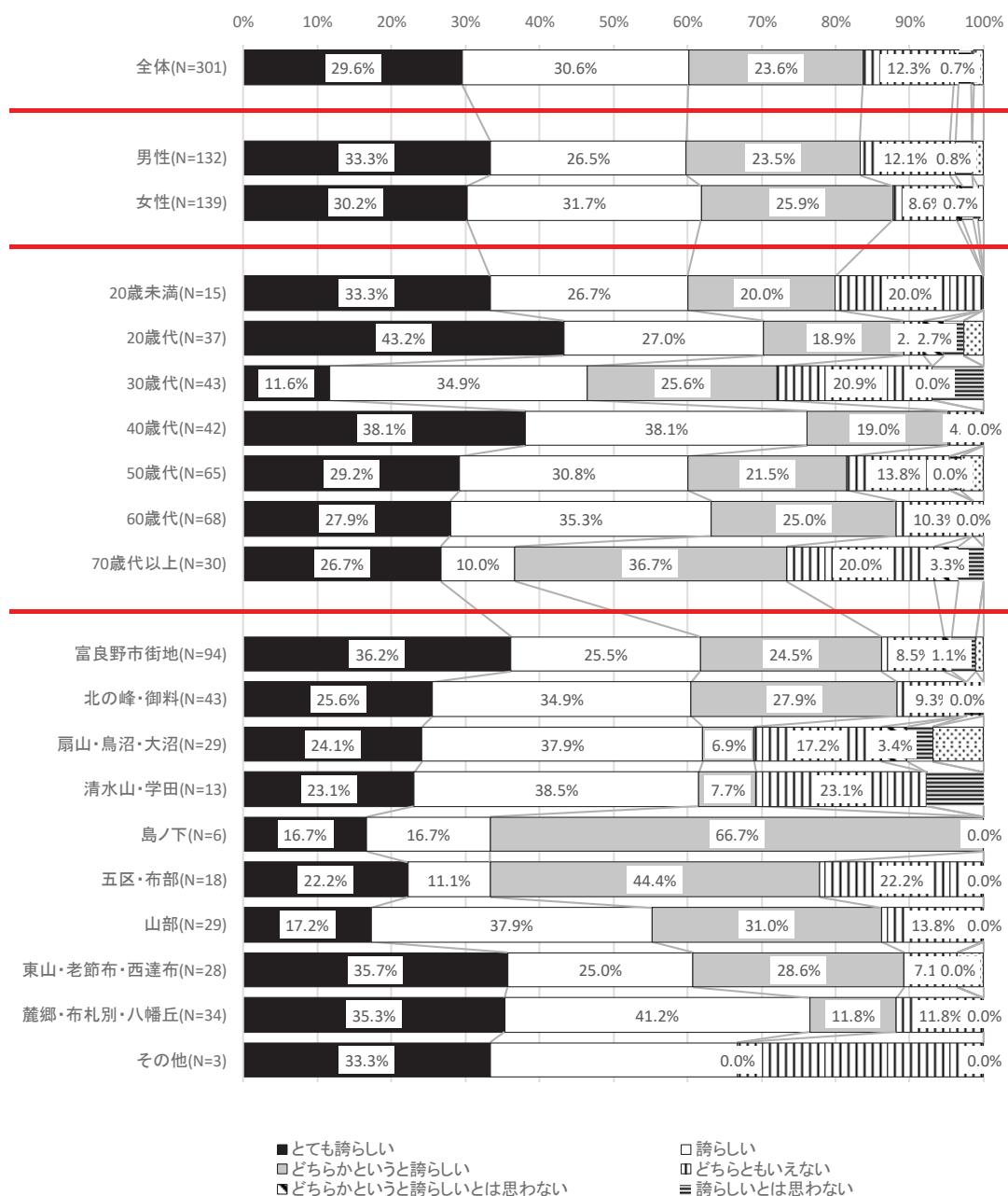
- ・観光客が増えていることに対する感想として、全体で8割強が「好ましい（とても満足、好ましい、どちらかというと好ましいの合計）」と回答している。
- ・男女別にみると、大きな傾向の違いは観察されない。
- ・年齢別にみると、20歳未満と40歳代の満足度が高くなっている。
- ・居住地区別にみると、富良野市街地、東山・老節布・西達布地区、山部地区の満足度が高くなっている。

図表5-2-7 観光客が増えていることに対する感想



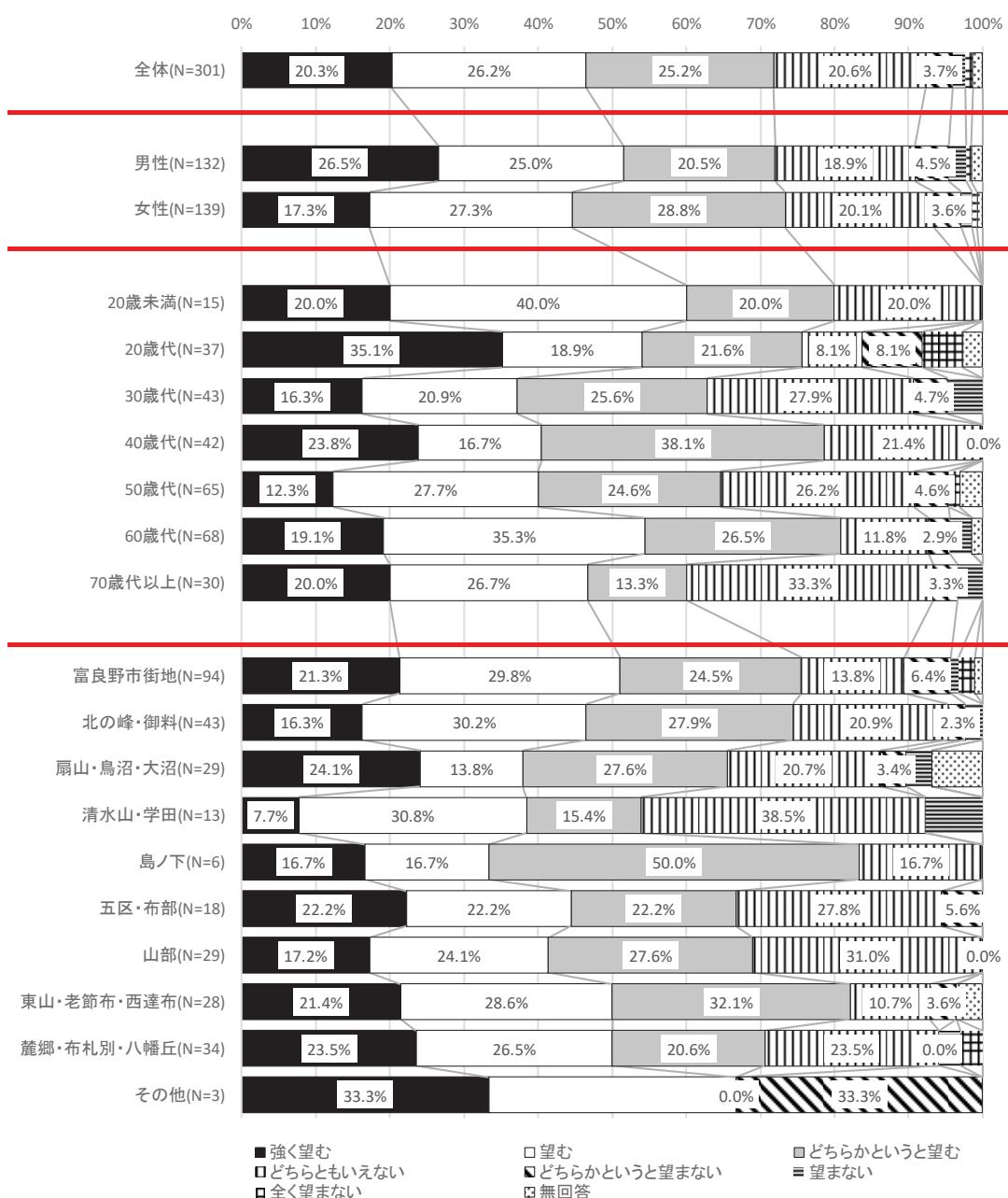
- 富良野の知名度が向上していることに対する感想として、全体で8割強が「誇らしい（とても誇らしい、誇らしい、どちらかというと誇らしいの合計）」と回答している。
- 男女別にみると、大きな傾向の違いは観察されない。
- 年齢別にみると、40歳代と20歳代において、誇らしく思う割合が特に高くなっている。
- 居住地区別にみると、麓郷・布札別・八幡丘で、誇らしく思う割合が特に高くなっている。

図表5-2-8 富良野の知名度が向上していることに対する感想



- ・富良野の知名度が向上していることに対する感想として、全体で7割強が「望む（強く望む、望む、どちらかというと望むの合計）」と回答している。
- ・男女別にみると、男性の方が「強く望む」の割合が高くなっている。
- ・年齢別にみると、20歳未満と60歳代において、「強く望む」と「望む」の合計の割合が高くなっている。
- ・居住地区別にみると、富良野市街地、麓郷・布札別・八幡丘、東山・老節布・西達布地区で、「強く望む」と「望む」の合計の割合が高くなっている。

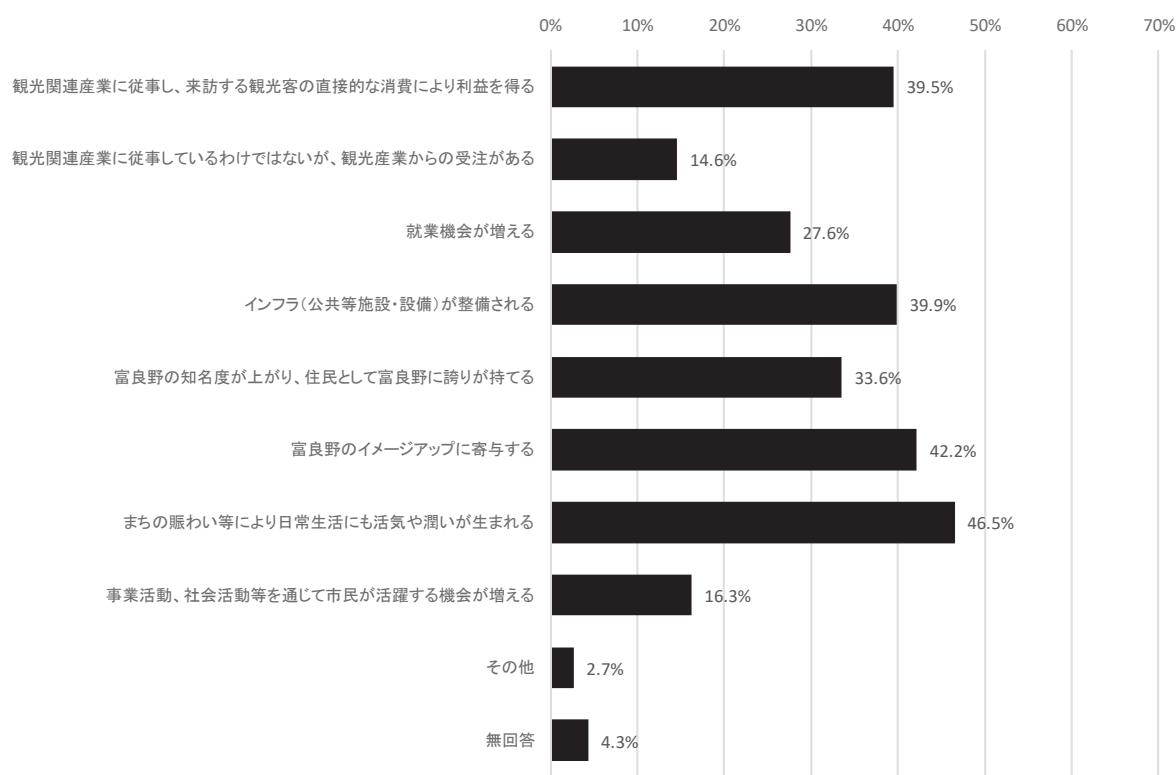
図表5-2-9 観光客が今後増えていくことに対する感想



(4)観光振興への影響

- プラスの影響としては、「まちの賑わい等により日常生活にも活気や潤いが生まれる」(46.5%)、「富良野のイメージアップに寄与する」(42.2%)、「インフラ(公共事業施設・設備)が整備される」(39.9%)の順となっている。

図表5-2-10 プラスの影響(N=301)

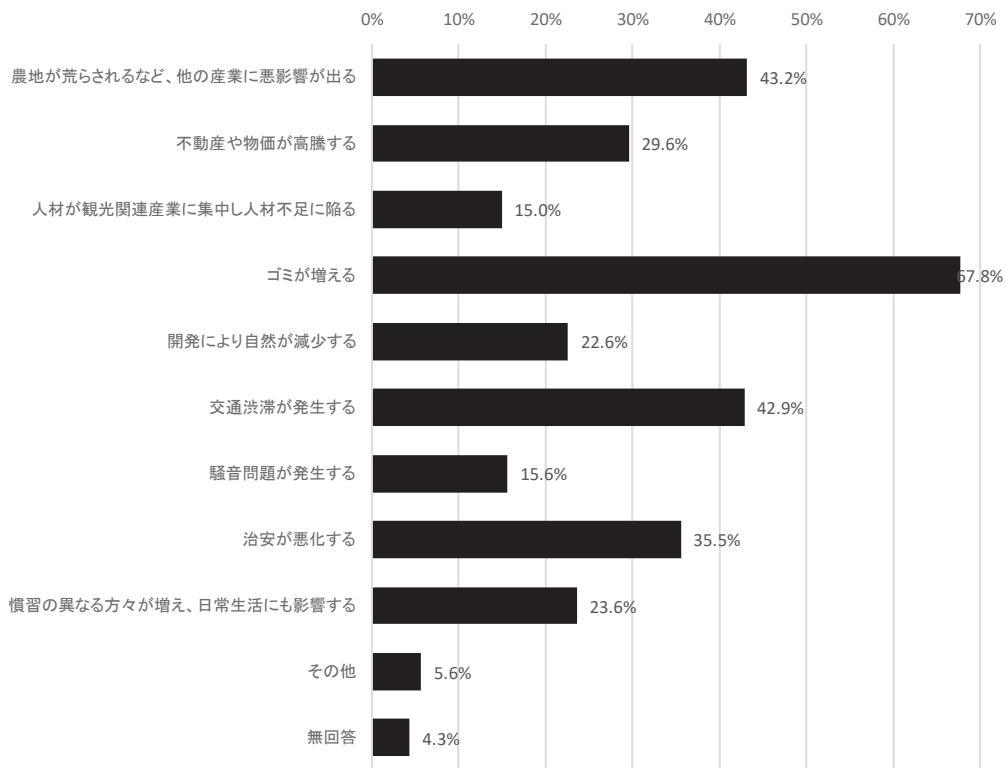


図表5-2-11 プラスの影響～男女・年代・居住地区別～

	観光関連産業に従事し、来訪する観光客の直接的な消費により利益を得る	観光関連産業に従事しているわけではないが、観光産業からの受注がある	就業機会が増える	インフラ(公共等施設・設備)が整備される	富良野の知名度が上がり、住民として富良野に誇りが持てる	富良野のイメージアップに寄与する	まちの賑わい等により日常生活にも活気や潤いが生まれる	事業活動、社会活動等を通じて市民が活躍する機会が増える	その他	無回答
全体(N=301)	④ 39.5%	⑧ 14.6%	⑥ 27.6%	③ 39.9%	⑤ 33.6%	② 42.2%	① 46.5%	⑦ 16.3%	2.7%	4.3%
男性(N=132)	④ 38.6%	⑧ 19.7%	⑥ 30.3%	③ 43.2%	⑤ 36.4%	① 43.9%	① 43.9%	⑦ 22.7%	3.8%	4.5%
女性(N=139)	③ 41.0%	⑦ 10.8%	⑥ 25.9%	④ 38.1%	⑤ 33.1%	② 42.4%	① 51.1%	⑦ 10.8%	1.4%	2.9%
20歳未満(N=15)	② 40.0%	⑦ 0.0%	⑥ 20.0%	④ 26.7%	③ 33.3%	① 46.7%	④ 26.7%	⑦ 0.0%	0.0%	6.7%
20歳代(N=37)	① 43.2%	⑥ 13.5%	⑦ 8.1%	② 40.5%	⑤ 32.4%	② 40.5%	④ 35.1%	⑦ 8.1%	2.7%	8.1%
30歳代(N=43)	② 39.5%	⑦ 18.6%	④ 32.6%	② 39.5%	⑥ 20.9%	④ 32.6%	① 44.2%	⑧ 11.6%	2.3%	0.0%
40歳代(N=42)	① 57.1%	⑥ 23.8%	④ 33.3%	④ 33.3%	⑥ 23.8%	③ 35.7%	② 52.4%	⑧ 19.0%	0.0%	2.4%
50歳代(N=65)	④ 40.0%	⑧ 15.4%	⑥ 24.6%	③ 44.6%	⑤ 38.5%	① 47.7%	② 46.2%	⑦ 16.9%	6.2%	6.2%
60歳代(N=68)	⑤ 33.8%	⑧ 10.3%	④ 38.2%	② 47.1%	⑥ 30.9%	③ 45.6%	① 55.9%	⑦ 25.0%	2.9%	2.9%
70歳代以上(N=30)	⑤ 23.3%	⑦ 13.3%	⑤ 23.3%	④ 30.0%	① 63.3%	② 46.7%	② 46.7%	⑥ 16.7%	0.0%	3.3%
富良野市街地(N=94)	③ 42.6%	⑦ 11.7%	⑥ 29.8%	④ 41.5%	⑤ 34.0%	① 51.1%	② 44.7%	⑦ 11.7%	1.1%	3.2%
北の峰・御料(N=43)	② 46.5%	⑧ 11.6%	④ 34.9%	⑥ 27.9%	④ 34.9%	③ 37.2%	① 58.1%	⑦ 27.9%	2.3%	4.7%
扇山・鳥沼・大沼(N=29)	① 37.9%	⑦ 20.7%	⑥ 24.1%	⑤ 27.6%	③ 31.0%	③ 31.0%	① 37.9%	⑧ 6.9%	0.0%	10.3%
清水山・学田(N=13)	⑥ 30.8%	⑧ 15.4%	⑤ 38.5%	② 53.8%	① 61.5%	④ 46.2%	② 53.8%	⑦ 23.1%	7.7%	0.0%
島ノ下(N=6)	② 50.0%	⑤ 16.7%	⑤ 16.7%	① 66.7%	⑧ 0.0%	⑤ 16.7%	③ 33.3%	③ 33.3%	0.0%	0.0%
五区・布部(N=18)	⑤ 27.8%	⑧ 11.1%	⑥ 16.7%	② 33.3%	② 33.3%	② 33.3%	① 50.0%	⑥ 16.7%	5.6%	5.6%
山部(N=29)	③ 44.8%	⑦ 17.2%	⑥ 31.0%	① 51.7%	⑤ 34.5%	② 48.3%	④ 41.4%	⑦ 17.2%	6.9%	0.0%
東山・老節布・西達布(N=28)	② 39.3%	⑤ 32.1%	⑥ 28.6%	② 39.3%	⑦ 21.4%	④ 32.1%	① 50.0%	⑧ 14.3%	0.0%	3.6%
麓郷・布札別・八幡丘(N=34)	⑤ 26.5%	⑧ 5.9%	⑥ 14.7%	② 44.1%	④ 38.2%	① 47.1%	③ 41.2%	⑥ 14.7%	5.9%	5.9%
その他(N=3)	① 33.3%	⑦ 0.0%	⑦ 0.0%	① 33.3%	① 33.3%	① 33.3%	① 33.3%	① 33.3%	0.0%	33.3%

- マイナスの影響としては、「ゴミが増える」(67.8%)、「農地が荒らされるなど、他の産業に悪影響が出る」(43.2%)、「交通渋滞が発生する」(42.9%)の順となっている。

図表5-2-12 マイナスの影響(N=301)

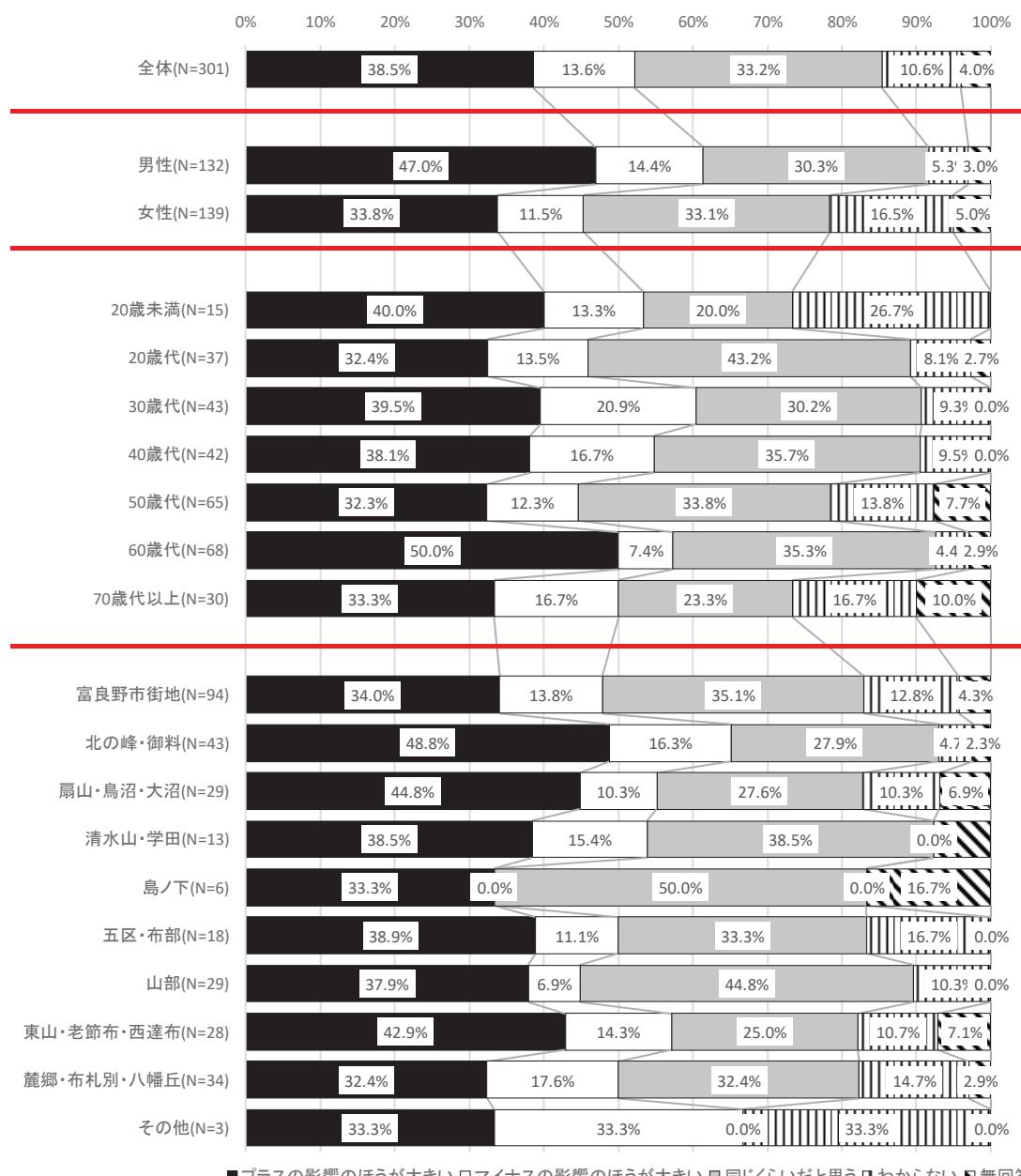


図表5-2-13 マイナスの影響 ~男女・年代・居住地区別~

	農地が荒らされるなど、他の産業に悪影響が出る	不動産や物価が高騰する	人材が観光関連産業に集中し人材不足に陥る	ゴミが増える	開発により自然が減少する	交通渋滞が発生する	騒音問題が発生する	治安が悪化する	慣習の異なる方々が増え、日常生活にも影響する	その他	無回答
全体(N=301)	(2) 43.2%	(5) 29.6%	(9) 15.0%	(1) 67.8%	(7) 22.6%	(3) 42.9%	(8) 15.6%	(4) 35.5%	(6) 23.6%	5.6%	4.3%
男性(N=132)	(2) 46.2%	(4) 33.3%	(8) 17.4%	(1) 62.9%	(7) 18.9%	(3) 43.2%	(9) 15.2%	(4) 33.3%	(6) 25.8%	2.3%	5.3%
女性(N=139)	(3) 40.3%	(5) 27.3%	(9) 12.9%	(1) 71.9%	(6) 25.2%	(2) 43.9%	(8) 15.1%	(4) 35.3%	(7) 21.6%	9.4%	2.9%
20歳未満(N=15)	(2) 40.0%	(7) 6.7%	(9) 0.0%	(1) 80.0%	(7) 6.7%	(4) 20.0%	(4) 20.0%	(3) 26.7%	(6) 13.3%	13.3%	6.7%
20歳代(N=37)	(3) 40.5%	(4) 37.8%	(6) 21.6%	(1) 56.8%	(7) 18.9%	(2) 51.4%	(8) 16.2%	(5) 32.4%	(9) 10.8%	16.2%	2.7%
30歳代(N=43)	(3) 53.5%	(8) 20.9%	(9) 14.0%	(1) 67.4%	(5) 27.9%	(2) 55.8%	(6) 25.6%	(4) 41.9%	(6) 25.6%	4.7%	—
40歳代(N=42)	(2) 50.0%	(6) 23.8%	(9) 11.9%	(1) 69.0%	(7) 21.4%	(3) 45.2%	(8) 14.3%	(3) 45.2%	(5) 26.2%	2.4%	2.4%
50歳代(N=65)	(2) 43.1%	(4) 38.5%	(8) 21.5%	(1) 64.6%	(7) 23.1%	(3) 40.0%	(9) 13.8%	(5) 35.4%	(6) 27.7%	4.6%	6.2%
60歳代(N=68)	(2) 41.2%	(4) 35.3%	(8) 13.2%	(1) 69.1%	(6) 27.9%	(2) 41.2%	(9) 8.8%	(5) 33.8%	(7) 25.0%	2.9%	4.4%
70歳代以上(N=30)	(3) 30.0%	(6) 20.0%	(9) 10.0%	(1) 80.0%	(8) 16.7%	(2) 33.3%	(7) 20.0%	(4) 26.7%	(4) 26.7%	3.3%	6.7%
富良野市街地(N=94)	(4) 35.1%	(6) 25.5%	(8) 18.1%	(1) 63.8%	(7) 22.3%	(2) 43.6%	(8) 18.1%	(3) 37.2%	(5) 28.7%	6.4%	4.3%
北の峰・御料(N=43)	(3) 41.9%	(2) 48.8%	(8) 23.3%	(1) 76.7%	(7) 25.6%	(4) 34.9%	(9) 20.9%	(5) 32.6%	(5) 32.6%	7.0%	2.3%
扇山・鳥沼・大沼(N=29)	(3) 37.9%	(5) 17.2%	(8) 3.4%	(1) 69.0%	(7) 13.8%	(2) 48.3%	(9) 3.4%	(4) 27.6%	(6) 17.2%	3.4%	10.3%
清水山・学田(N=13)	(3) 38.5%	(5) 23.1%	(6) 23.1%	(1) 69.2%	(9) 0.0%	(2) 61.5%	(7) 7.7%	(4) 30.8%	(8) 7.7%	7.7%	0.0%
島ノ下(N=6)	(2) 50.0%	(2) 50.0%	(7) 16.7%	(2) 50.0%	(7) 16.7%	(5) 33.3%	(5) 33.3%	(1) 66.7%	(9) 0.0%	0.0%	0.0%
五区・布部(N=18)	(2) 50.0%	(5) 27.8%	(7) 11.1%	(1) 66.7%	(7) 11.1%	(2) 50.0%	(7) 11.1%	(6) 16.7%	(4) 33.3%	11.1%	11.1%
山部(N=29)	(5) 37.9%	(3) 41.4%	(9) 13.8%	(1) 75.9%	(6) 31.0%	(2) 51.7%	(7) 20.7%	(3) 41.4%	(7) 20.7%	6.9%	0.0%
東山・老筋布・西達布(N=28)	(1) 57.1%	(8) 7.1%	(8) 7.1%	(2) 57.1%	(5) 25.0%	(3) 39.3%	(6) 10.7%	(4) 35.7%	(6) 10.7%	0.0%	10.7%
麓郷・布札別・八幡丘(N=34)	(2) 61.8%	(3) 38.2%	(8) 14.7%	(1) 67.6%	(4) 35.3%	(6) 32.4%	(9) 11.8%	(4) 35.3%	(7) 26.5%	5.9%	0.0%
その他(N=3)	(6) 0.0%	(6) 0.0%	(6) 0.0%	(1) 66.7%	(3) 33.3%	(3) 33.3%	(2) 33.3%	(1) 66.7%	(6) 0.0%	0.0%	0.0%

- ・プラスの影響とマイナスの影響を対比させると、「プラスの影響の方が大きい」とする回答が多くなっている。
- ・男女別にみると、男性の方が「プラスの影響の方が大きい」とする回答が多くなっている。
- ・年齢別にみると、特に60歳代で「プラスの影響の方が大きい」とする回答が多くなっている。
- ・居住地区別にみると、特に北の峰・御料地区で「プラスの影響の方が大きい」とする回答が多くなっている。

図表5-2-14 プラスの影響とマイナスの影響の対比～男女・年代・居住地区別～



(5)観光客の受入に対する意識

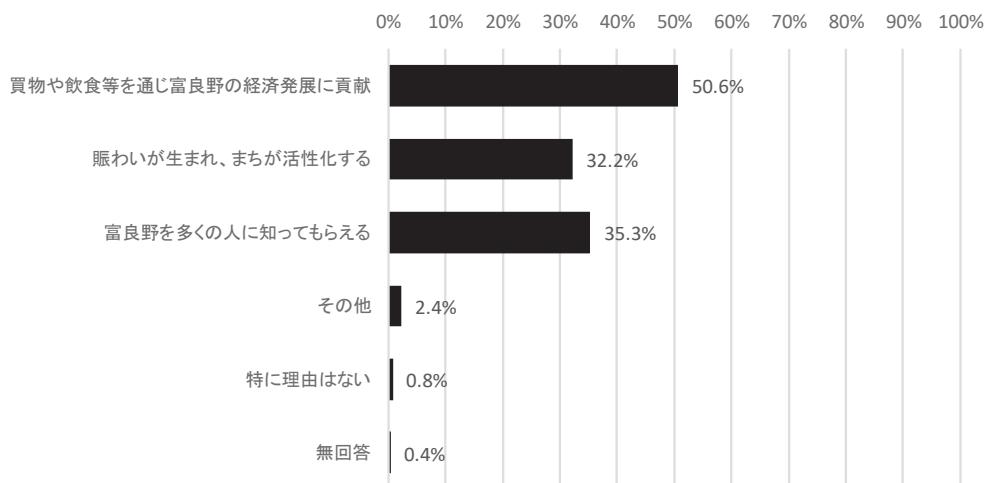
- ・日本人観光客の受入について、どの階層においても、「賛成である」とする回答が大半を占めている。

図表5-2-15 日本人観光客の受入について



- 賛成の理由として、「買物や飲食等を通じ富良野の経済発展に貢献」（50.6%）が最も多く、以下「富良野を多くの人に知ってもらえる」（35.3%）、「賑わいが生まれ、まちが活性化する」（32.2%）が次いでいる。

図表5-2-16 日本人観光客の受入に賛成する理由(N=255)

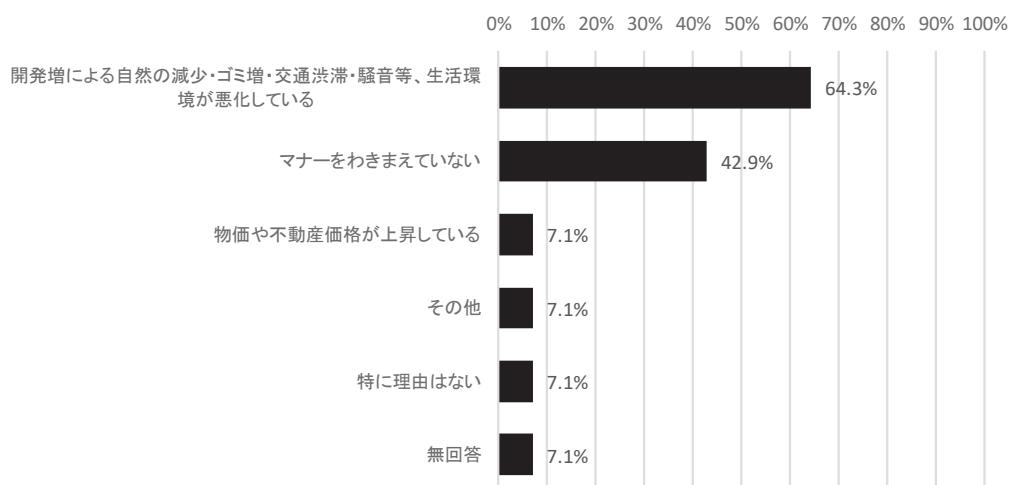


図表5-2-17 日本人観光客の受入に賛成する理由～性別・年齢・居住地別～

	買物や飲食等を通じ富良野の経済発展に貢献	賑わいが生まれ、まちが活性化する	富良野を多くの人に知ってもらえる	その他	特に理由はない	無回答
全体(N=255)	① 50.6%	③ 32.2%	② 35.3%	2.4%	0.8%	0.4%
男性(N=113)	① 55.8%	② 33.6%	② 33.6%	2.7%	0.0%	0.9%
女性(N=120)	① 49.2%	③ 30.0%	② 36.7%	1.7%	0.8%	0.0%
20歳未満(N=13)	③ 30.8%	② 30.8%	① 46.2%	0.0%	0.0%	0.0%
20歳代(N=32)	① 53.1%	③ 25.0%	② 37.5%	0.0%	3.1%	0.0%
30歳代(N=35)	① 65.7%	② 40.0%	③ 14.3%	2.9%	0.0%	0.0%
40歳代(N=37)	① 70.3%	③ 24.3%	② 35.1%	2.7%	0.0%	2.7%
50歳代(N=54)	① 51.9%	② 37.0%	② 37.0%	0.0%	0.0%	0.0%
60歳代(N=58)	① 43.1%	② 36.2%	③ 31.0%	6.9%	0.0%	0.0%
70歳代以上(N=26)	② 23.1%	② 23.1%	① 61.5%	0.0%	3.8%	0.0%
富良野市街地(N=77)	① 59.7%	② 35.1%	③ 31.2%	2.6%	0.0%	0.0%
北の峰・御料(N=38)	③ 34.2%	② 34.2%	① 36.8%	2.6%	2.6%	2.6%
扇山・鳥沼・大沼(N=23)	① 56.5%	② 30.4%	③ 17.4%	4.3%	0.0%	0.0%
清水山・学田(N=12)	① 50.0%	③ 16.7%	② 33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
島ノ下(N=5)	① 80.0%	③ 40.0%	② 60.0%	0.0%	0.0%	0.0%
五区・布部(N=15)	① 53.3%	③ 26.7%	② 46.7%	0.0%	0.0%	0.0%
山部(N=24)	① 45.8%	② 33.3%	③ 25.0%	4.2%	0.0%	0.0%
東山・老節布・西達布(N=25)	① 52.0%	② 32.0%	③ 28.0%	4.0%	4.0%	0.0%
麓郷・布札別・八幡丘(N=30)	② 36.7%	③ 30.0%	① 60.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他(N=3)	① 66.7%	③ 33.3%	① 66.7%	0.0%	0.0%	0.0%

- 反対の理由として、「開発増による自然の減少・ゴミ増・交通渋滞・騒音等、生活環境が悪化している」(64.3%)が最も多く、以下「マナーをわきまえていない」(42.9%)が次いでいる。

図表5-2-18 日本人観光客の受入に反対する理由(N=14)



図表 5-2-19 日本人観光客の受入に賛成する理由 ~性別・年齢・居住地別~

	開発増による自然の減少・ゴミ増・交通渋滞・騒音等、生活環境が悪化している	マナーをわきまえていない	物価や不動産価格が上昇している	その他	特に理由はない	無回答
全体(N=14)	① 64.3%	② 42.9%	③ 7.1%	7.1%	7.1%	7.1%
男性(N=7)	① 42.9%	① 42.9%	③ 0.0%	14.3%	0.0%	0.0%
女性(N=6)	① 83.3%	② 50.0%	③ 16.7%	0.0%	0.0%	0.0%
20歳未満(N=0)	-	-	-	-	-	-
20歳代(N=1)	- 0.0%	- 0.0%	- 0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
30歳代(N=3)	① 66.7%	② 33.3%	③ 0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
40歳代(N=0)	-	-	-	-	-	-
50歳代(N=5)	① 60.0%	① 60.0%	③ 20.0%	0.0%	0.0%	20.0%
60歳代(N=3)	① 66.7%	① 66.7%	③ 0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
70歳代以上(N=2)	① 100.0%	② 0.0%	② 0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
富良野市街地(N=4)	① 50.0%	② 25.0%	③ 0.0%	0.0%	25.0%	0.0%
北の峰・御料(N=2)	① 100.0%	① 100.0%	③ 50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
扇山・鳥沼・大沼(N=2)	① 100.0%	① 100.0%	③ 0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
清水山・学田(N=1)	① 100.0%	② 0.0%	② 0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
島ノ下(N=0)	-	-	-	-	-	-
五区・布部(N=0)	-	-	-	-	-	-
山部(N=1)	① 100.0%	② 0.0%	② 0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
東山・老節布・西達布(N=1)	- 0.0%	- 0.0%	- 0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
麓郷・布札別・八幡丘(N=3)	① 33.3%	① 33.3%	③ 0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
その他(N=0)	-	-	-	-	-	-

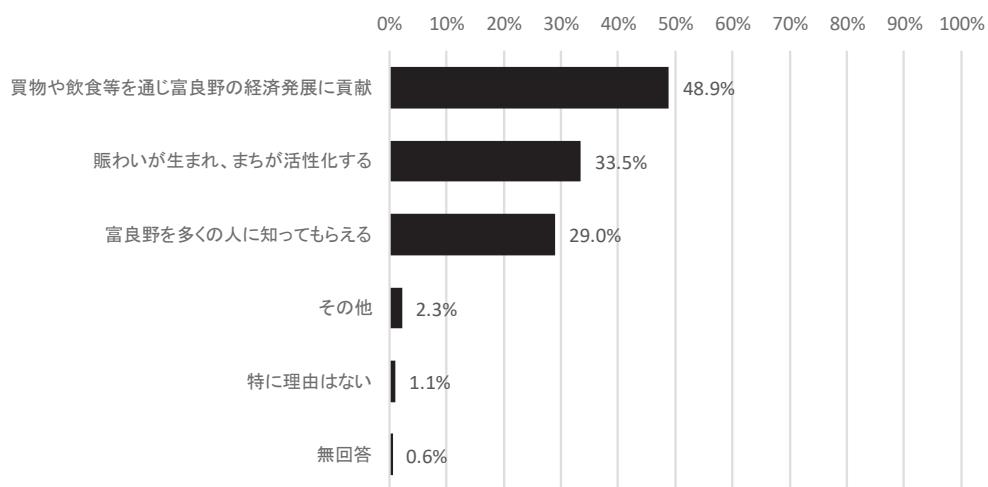
- 外国人観光客の受入について、どの階層においても、「賛成である」とする回答が多くなっているが、その割合は日本人観光客ほど高くなく、「反対である」とする回答も日本人観光客の場合を上回っている。

図表5-2-20 外国人観光客の受入について



- 賛成の理由として、「買物や飲食等を通じ富良野の経済発展に貢献」（48.9%）が最も多く、以下「賑わいが生まれ、まちが活性化する」（33.5%）、「富良野を多くの人に知ってもらえる」（29.0%）が次いでいる。

図表5-2-21 外国人観光客の受入に賛成する理由(N=176)

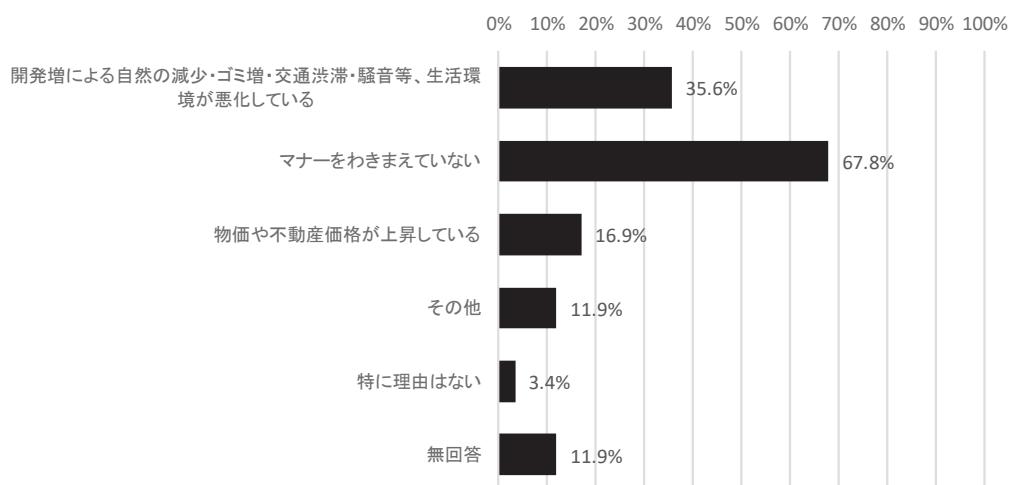


図表5-2-22 外国人観光客の受入に賛成する理由～性別・年齢・居住地別～

	買物や飲食等を通じ富良野の経済発展に貢献	賑わいが生まれ、まちが活性化する	富良野を多くの人に知ってもらえる	その他	特に理由はない	無回答
全体(N=176)	① 48.9%	② 33.5%	③ 29.0%	2.3%	1.1%	0.6%
男性(N=82)	① 53.7%	② 31.7%	③ 26.8%	4.9%	0.0%	0.0%
女性(N=81)	① 44.4%	② 35.8%	③ 29.6%	0.0%	1.2%	0.0%
20歳未満(N=9)	① 33.3%	① 33.3%	③ 22.2%	11.1%	0.0%	0.0%
20歳代(N=23)	① 52.2%	③ 21.7%	② 30.4%	4.3%	0.0%	4.3%
30歳代(N=19)	① 68.4%	② 36.8%	③ 15.8%	0.0%	0.0%	0.0%
40歳代(N=22)	① 68.2%	③ 22.7%	② 27.3%	4.5%	0.0%	0.0%
50歳代(N=40)	① 55.0%	② 37.5%	③ 27.5%	0.0%	2.5%	0.0%
60歳代(N=45)	② 33.3%	① 44.4%	③ 26.7%	2.2%	0.0%	0.0%
70歳代以上(N=18)	② 33.3%	③ 22.2%	① 55.6%	0.0%	5.6%	0.0%
富良野市街地(N=48)	① 58.3%	② 31.3%	③ 27.1%	4.2%	0.0%	0.0%
北の峰・御料(N=29)	① 41.4%	① 41.4%	③ 20.7%	0.0%	3.4%	0.0%
扇山・鳥沼・大沼(N=19)	① 47.4%	② 31.6%	③ 15.8%	5.3%	5.3%	0.0%
清水山・学田(N=8)	② 25.0%	① 50.0%	② 25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
島ノ下(N=3)	① 66.7%	③ 33.3%	① 66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
五区・布部(N=10)	① 60.0%	③ 30.0%	② 40.0%	0.0%	0.0%	0.0%
山部(N=17)	① 47.1%	① 47.1%	③ 29.4%	5.9%	0.0%	0.0%
東山・老節布・西達布(N=17)	① 35.3%	③ 23.5%	① 35.3%	0.0%	0.0%	5.9%
麓郷・布札別・八幡丘(N=22)	① 50.0%	③ 27.3%	② 36.4%	0.0%	0.0%	0.0%
その他(N=2)	① 50.0%	③ 0.0%	① 50.0%	0.0%	0.0%	0.0%

- 反対の理由として、「マナーをわきまえていない」(67.8%)が最も多く、以下「開発増による自然の減少・ゴミ増・交通渋滞・騒音等、生活環境が悪化している」(35.6%)、「物価や不動産価格が上昇している」(16.9%)が次いでいる。

図表5-2-23 外国人観光客の受入に反対する理由(N=59)



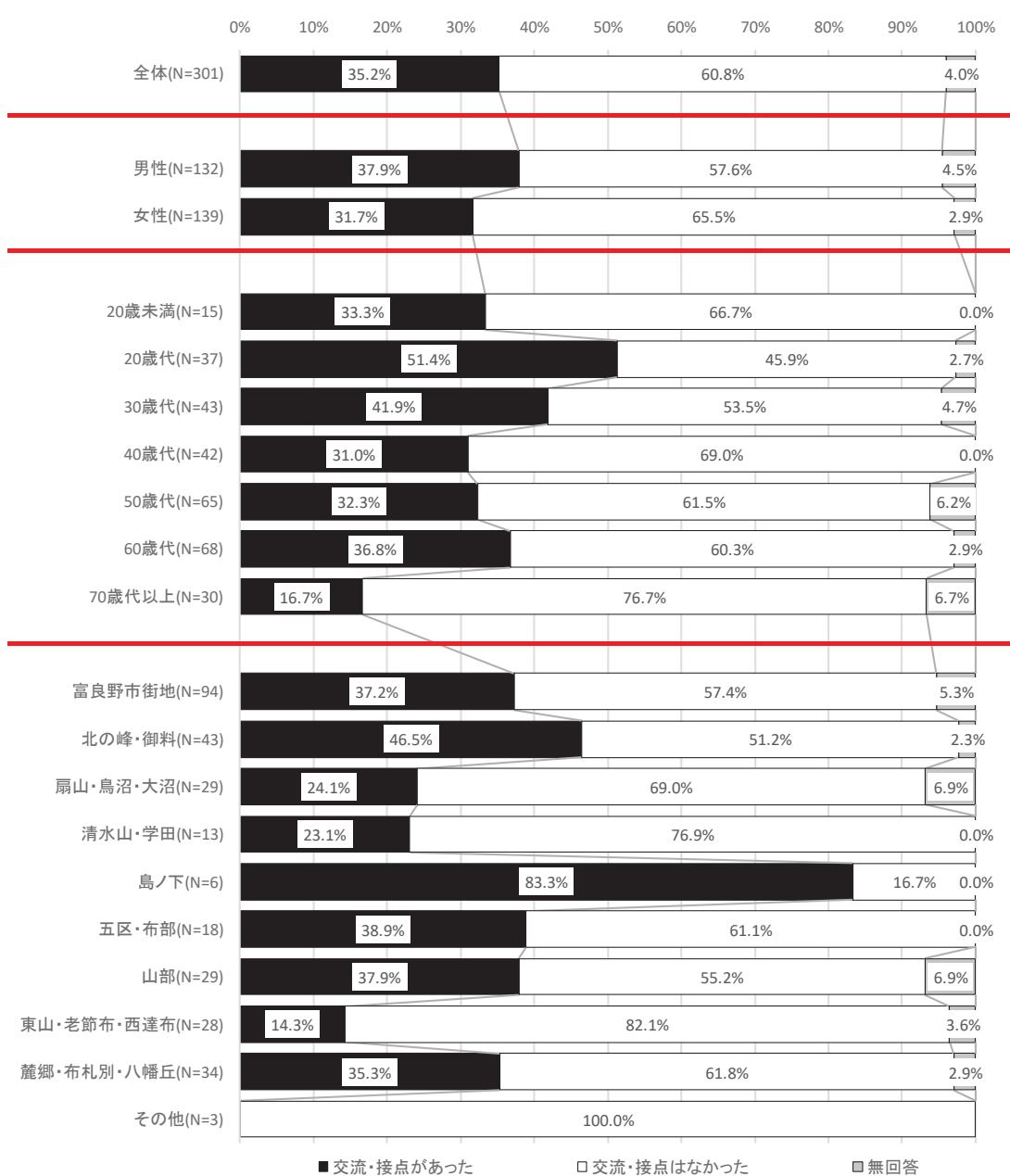
図表5-2-24 外国人観光客の受入に反対する理由 ~性別・年齢・居住地別~

	開発増による 自然の減少・ ゴミ増・交通渋 滞・騒音等、生 活環境が悪化 している	マナーをわき まえていない	物価や不動産 価格が上昇し ている	その他	特に理 由はな い	無回答
全体(N=59)	(2) 35.6%	(1) 67.8%	(3) 16.9%	11.9%	3.4%	11.9%
男性(N=28)	(2) 32.1%	(1) 60.7%	(3) 0.0%	10.7%	0.0%	0.0%
女性(N=25)	(2) 44.0%	(1) 76.0%	(3) 20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20歳未満(N=3)	(2) 0.0%	(1) 66.7%	(2) 0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
20歳代(N=8)	(2) 37.5%	(1) 87.5%	(3) 12.5%	25.0%	0.0%	0.0%
30歳代(N=10)	(2) 40.0%	(1) 90.0%	(2) 40.0%	30.0%	0.0%	0.0%
40歳代(N=8)	(2) 37.5%	(1) 75.0%	(3) 0.0%	0.0%	12.5%	12.5%
50歳代(N=14)	(2) 35.7%	(1) 50.0%	(3) 14.3%	7.1%	0.0%	14.3%
60歳代(N=9)	(2) 22.2%	(1) 44.4%	(3) 11.1%	11.1%	11.1%	22.2%
70歳代以上(N=7)	(2) 57.1%	(1) 71.4%	(3) 28.6%	0.0%	0.0%	14.3%
富良野市街地(N=18)	(2) 22.2%	(1) 66.7%	(2) 22.2%	16.7%	0.0%	11.1%
北の峰・御料(N=10)	(2) 40.0%	(1) 70.0%	(2) 40.0%	0.0%	0.0%	10.0%
扇山・鳥沼・大沼(N=4)	(2) 50.0%	(1) 75.0%	(3) 0.0%	0.0%	0.0%	25.0%
清水山・学田(N=2)	(1) 50.0%	(1) 50.0%	(3) 0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
島ノ下(N=1)	(1) 100.0%	(1) 100.0%	(3) 0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
五区・布部(N=5)	(2) 40.0%	(1) 60.0%	(2) 40.0%	40.0%	0.0%	20.0%
山部(N=2)	(2) 50.0%	(1) 100.0%	(3) 0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
東山・老節布・西達布(N=5)	(2) 40.0%	(1) 60.0%	(3) 0.0%	20.0%	20.0%	0.0%
麓郷・布札別・八幡丘(N=10)	(2) 30.0%	(1) 60.0%	(3) 0.0%	10.0%	10.0%	20.0%
その他(N=1)	(1) 100.0%	(1) 100.0%	(3) 0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(6) 観光客との接点・交流

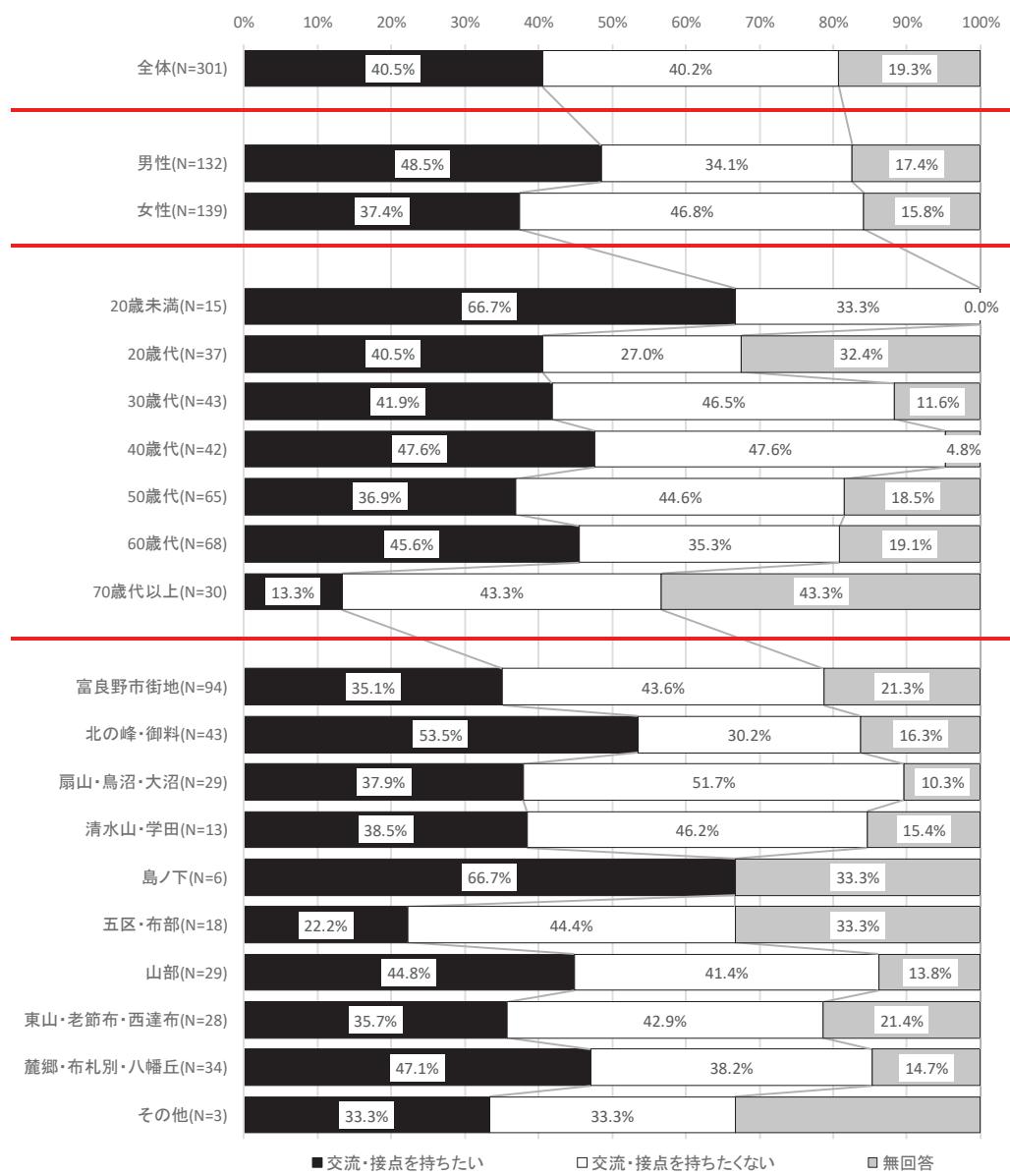
- これまでの観光客との接点・交流について、「接点・交流があった」とする回答は全体で35.2%、「接点・交流がなかった」とする回答が60.8%となっている。
- 男女別にみると、男性の方が「接点・交流があった」とする回答がやや多くなっている。
- 年齢別にみると、20歳代、30歳代で「接点・交流があった」とする回答が多くなっている。
- 居住地区別にみると、サンプル数の少ない島の下を除き、北の峰・御料で「接点・交流があった」とする回答が多くなっている。

図表5-2-25 観光客との接点・交流 ~これまで~



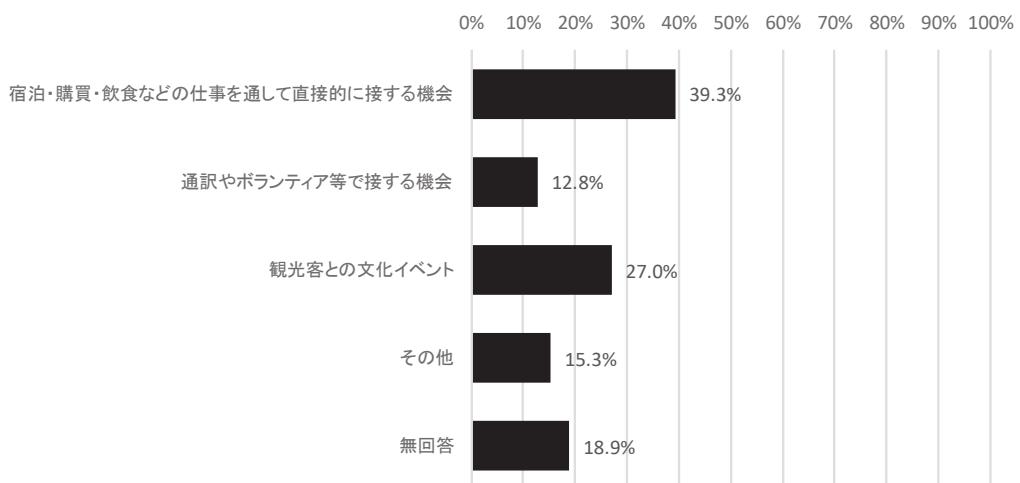
- ・ これからの観光客との接点・交流について、「接点・交流を持ちたい」とする回答は全体で40.5%、「接点・交流を持ちたくない」とする回答が40.2%と、ほぼ同率となっている。
- ・ 男女別にみると、男性の方が「接点・交流を持ちたい」とする回答が多くなっている。
- ・ 年齢別にみると、20歳未満の「接点・交流を持ちたい」(66.7%)とする回答が特に多く、20歳代～60歳代は「接点・交流を持ちたい」とする回答が概ね40%前後となっている。70歳代以上は、「接点・交流を持ちたい」とする回答が13.3%にとどまっている。
- ・ 居住地区別にみると、サンプル数の少ない島の下を除き、北の峰・御料地区や麓郷・布札別・八幡丘で「接点・交流を持ちたい」とする回答が多くなっている。

図表5-2-26 観光客との接点・交流 ~これから~



- 接点を持ちたいとする回答者にどういった機会を望むか尋ねたところ、「宿泊・購買・飲食などの仕事を通して直接的に接する機会」(39.3%)が最も多く、「観光客との文化イベント」(27.0%)が次いでいる。

図表5-2-27 観光客と持ちたい接点の内容

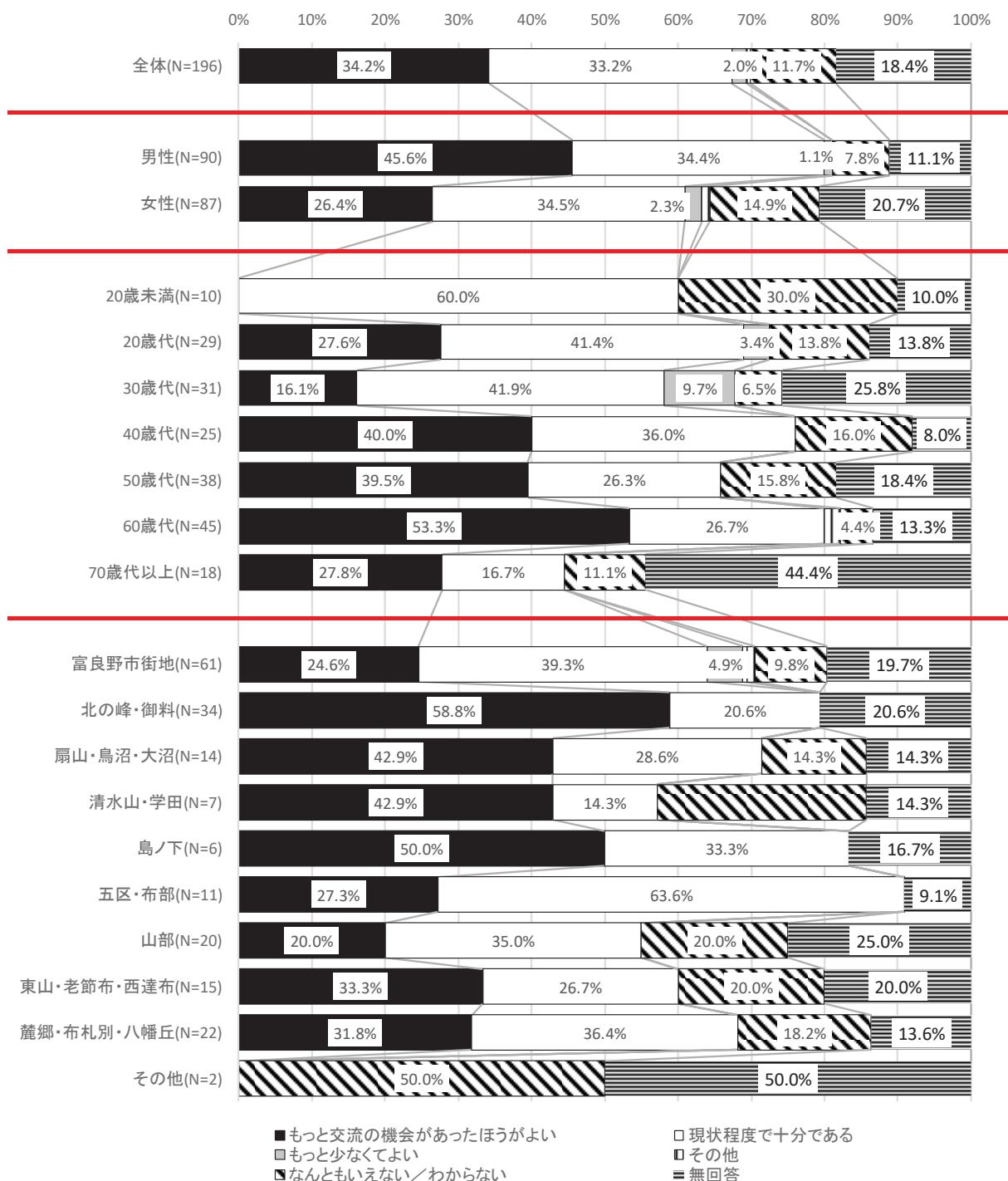


図表5-2-28 観光客と持ちたい接点の内容 ~性別・年齢・居住地別~

		宿泊・購買・飲食などの仕事を通して直接的に接する機会	通訳やボランティア等で接する機会	観光客との文化イベント	その他	無回答
全体(N=196)	①	39.3%	③	12.8%	②	27.0%
男性(N=90)	①	40.0%	③	13.3%	②	31.1%
女性(N=87)	①	37.9%	③	13.8%	②	26.4%
20歳未満(N=10)	①	50.0%	③	20.0%	②	30.0%
20歳代(N=29)	①	37.9%	③	13.8%	②	17.2%
30歳代(N=31)	①	51.6%	③	9.7%	②	19.4%
40歳代(N=25)	①	48.0%	③	12.0%	②	24.0%
50歳代(N=38)	①	36.8%	③	13.2%	②	34.2%
60歳代(N=45)	②	33.3%	③	17.8%	①	35.6%
70歳代以上(N=18)	①	22.2%	③	0.0%	①	22.2%
富良野市街地(N=61)	①	41.0%	③	9.8%	②	26.2%
北の峰・御料(N=34)	②	32.4%	③	17.6%	①	35.3%
扇山・鳥沼・大沼(N=14)	①	35.7%	③	14.3%	②	28.6%
清水山・学田(N=7)	①	42.9%	③	14.3%	②	28.6%
島ノ下(N=6)	①	50.0%	②	16.7%	②	16.7%
五区・布部(N=11)	①	45.5%	③	18.2%	②	27.3%
山部(N=20)	①	40.0%	③	5.0%	②	15.0%
東山・老節布・西達布(N=15)	①	46.7%	③	6.7%	②	26.7%
麓郷・布札別・八幡丘(N=22)	①	36.4%	③	18.2%	②	27.3%
その他(N=2)	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%
					50.0%	50.0%

- ・接点の頻度については、「もっと交流の機会があったほうがよい」とする回答が34.2%を占め、ほぼ同率で「現状程度で十分である」(33.2%)が次いでいる。
- ・年齢別にみると、若い世代が「現状程度で十分である」が最も多いのに対し、上の世代では「もっと交流の機会があったほうがよい」が最も多くなっている。

図表5-2-29 観光客との接点の頻度

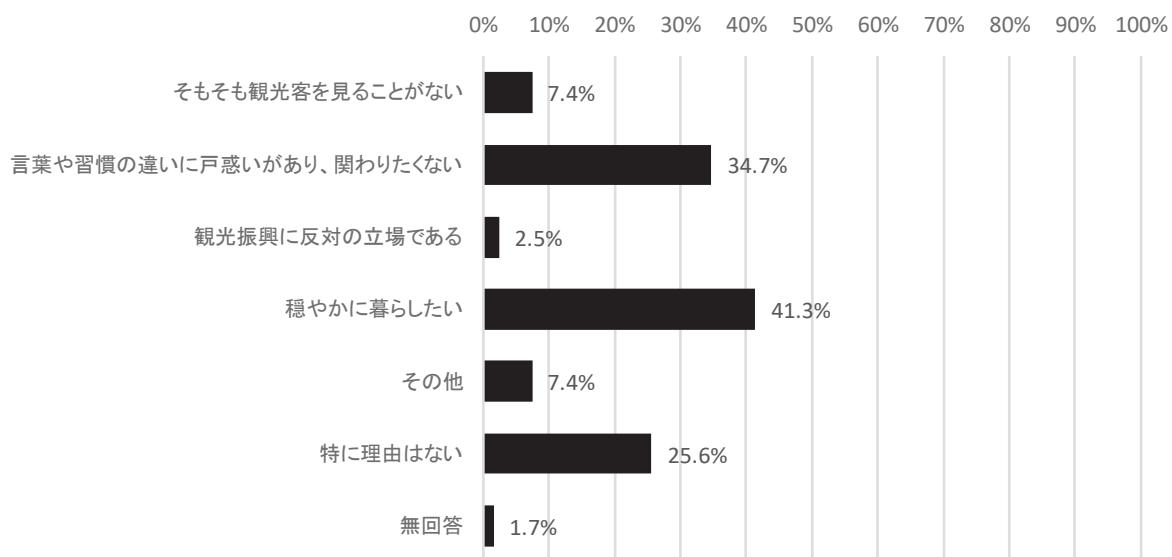


■ もっと交流の機会があったほうがよい
□ 現状程度で十分である
▨ もっと少なくてよい
▨ なんともいえない／わからない
▨ その他
▨ 無回答

- 92 -

- 接点を持ちたくないと回答した方に理由を尋ねたところ、「穏やかに暮らしたい」(41.3%)、「言葉や習慣の違いに戸惑いがあり、関わりたくない」(34.7%)の順に多くなっている。

図表5-2-30 観光客との接点を持ちたくない理由



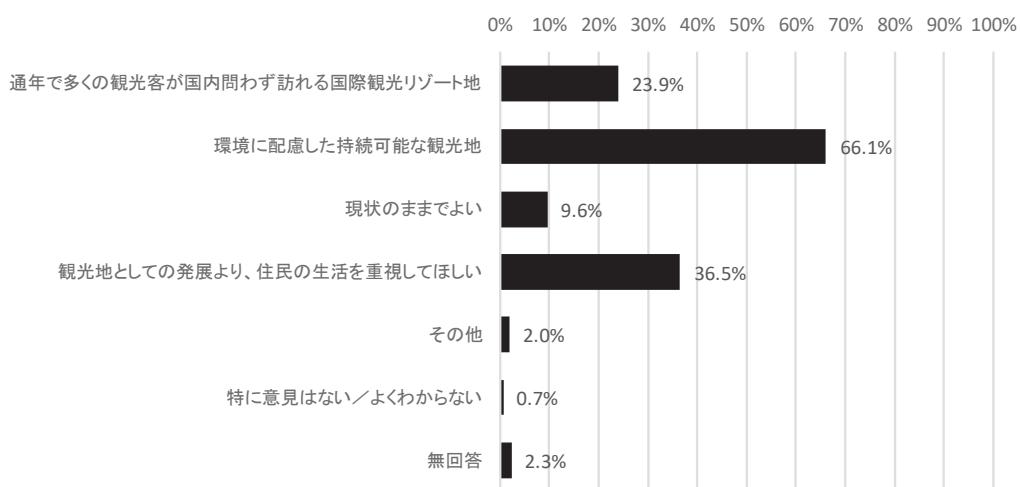
図表5-2-31 観光客との接点を持ちたくない理由 ~性別・年齢・居住地別~

	そもそも観光客を見ることがない	言葉や習慣の違いに戸惑いがあり、関わりたくない	観光振興に反対の立場である	穏やかに暮らしたい	その他	特に理由はない	無回答
全体(N=121)	(③) 7.4%	(②) 34.7%	(④) 2.5%	(①) 41.3%	7.4%	25.6%	1.7%
男性(N=45)	(③) 6.7%	(②) 35.6%	(④) 4.4%	(①) 48.9%	6.7%	24.4%	2.2%
女性(N=65)	(③) 6.2%	(①) 38.5%	-	(②) 35.4%	6.2%	26.2%	1.5%
20歳未満(N=5)	- 0.0%	(②) 20.0%	-	(①) 40.0%	20.0%	20.0%	0.0%
20歳代(N=10)	(③) 20.0%	(②) 30.0%	-	(①) 50.0%	10.0%	10.0%	0.0%
30歳代(N=20)	(③) 10.0%	(②) 30.0%	-	(①) 40.0%	10.0%	15.0%	5.0%
40歳代(N=20)	(③) 10.0%	(②) 25.0%	-	(①) 35.0%	10.0%	30.0%	0.0%
50歳代(N=29)	(④) 6.9%	(②) 37.9%	(③) 10.3%	(①) 41.4%	3.4%	24.1%	0.0%
60歳代(N=24)	- 0.0%	(①) 50.0%	-	(②) 45.8%	8.3%	33.3%	0.0%
70歳代以上(N=13)	(③) 7.7%	(②) 30.8%	(③) 0.0%	(①) 38.5%	0.0%	38.5%	7.7%
富良野市街地(N=41)	- 0.0%	(①) 36.6%	(③) 4.9%	(②) 34.1%	7.3%	36.6%	0.0%
北の峰・御料(N=13)	- 0.0%	(②) 30.8%	-	(①) 76.9%	7.7%	23.1%	0.0%
扇山・鳥沼・大沼(N=15)	(③) 6.7%	(①) 46.7%	-	(②) 26.7%	6.7%	26.7%	6.7%
清水山・学田(N=6)	(③) 16.7%	(①) 33.3%	-	(①) 33.3%	0.0%	33.3%	0.0%
島ノ下(N=0)	- 0.0%	-	0.0%	-	0.0%	0.0%	0.0%
五区・布部(N=8)	- 0.0%	(②) 25.0%	-	(①) 50.0%	25.0%	25.0%	0.0%
山部(N=12)	(③) 16.7%	(①) 33.3%	-	(①) 33.3%	0.0%	16.7%	8.3%
東山・老節布・西達布(N=12)	(②) 33.3%	(③) 16.7%	-	(①) 41.7%	8.3%	16.7%	0.0%
麓郷・布札別・八幡丘(N=13)	(③) 7.7%	(①) 46.2%	(③) 7.7%	(①) 46.2%	7.7%	7.7%	0.0%
その他(N=1)	- 0.0%	-	0.0%	-	100.0%	0.0%	0.0%

(7)観光地として目指す姿

- ・観光地としてどのような姿になってほしいかという設問に対し、「環境に配慮した持続可能な観光地」（66.1%）が最も多く、「観光地としての発展より、住民の生活を重視してほしい」（36.5%）、「通年で多くの観光客が国内問わず訪れる国際観光リゾート地」（23.9%）の順となっている。

図表5-2-32 観光地として目指す姿



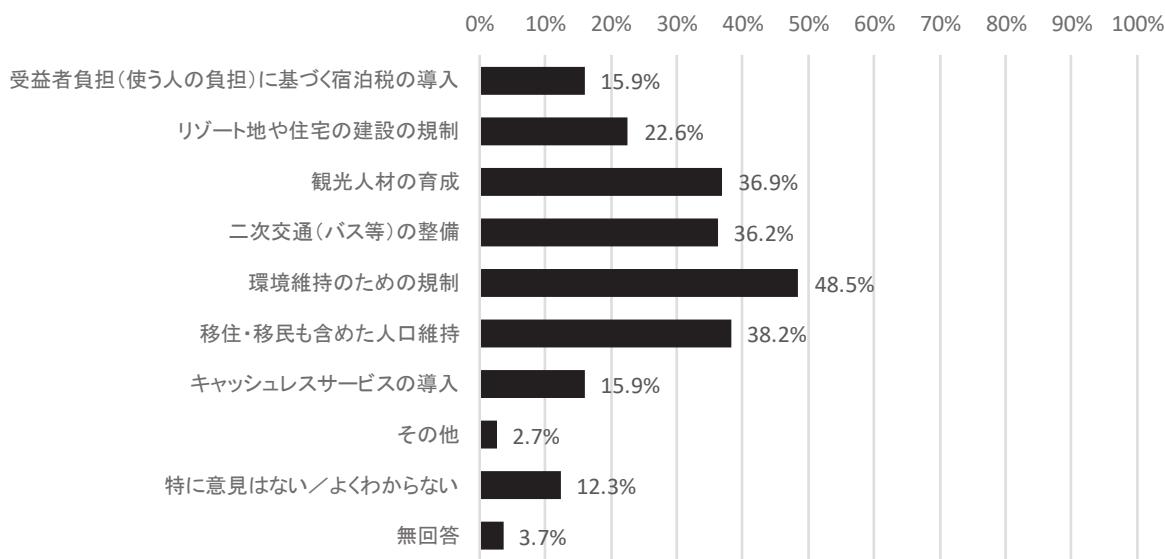
図表5-2-33 観光地として目指す姿 ~性別・年齢・居住地別~

	通年で多くの観光客が国内問わず訪れる国際観光リゾート地	環境に配慮した持続可能な観光地	現状のままでよい	観光地としての発展より、住民の生活を重視してほしい	その他	特に意見はない	無回答
全体(N=301)	③ 23.9%	① 66.1%	④ 9.6%	② 36.5%	2.0%	0.7%	2.3%
男性(N=132)	② 30.3%	① 68.2%	④ 8.3%	③ 29.5%	1.5%	0.8%	2.3%
女性(N=139)	③ 18.7%	① 65.5%	④ 10.1%	② 40.3%	2.9%	0.7%	2.2%
20歳未満(N=15)	② 20.0%	① 66.7%	④ 6.7%	② 20.0%	6.7%	6.7%	0.0%
20歳代(N=37)	③ 29.7%	② 45.9%	④ 8.1%	① 51.4%	0.0%	0.0%	2.7%
30歳代(N=43)	③ 16.3%	① 60.5%	④ 11.6%	② 34.9%	2.3%	2.3%	2.3%
40歳代(N=42)	③ 28.6%	① 66.7%	④ 9.5%	② 38.1%	7.1%	0.0%	0.0%
50歳代(N=65)	③ 15.4%	① 73.8%	④ 7.7%	② 41.5%	1.5%	0.0%	1.5%
60歳代(N=68)	② 27.9%	① 76.5%	④ 8.8%	③ 26.5%	0.0%	0.0%	4.4%
70歳代以上(N=30)	③ 30.0%	① 60.0%	④ 16.7%	② 40.0%	0.0%	0.0%	3.3%
富良野市街地(N=94)	③ 26.6%	① 59.6%	④ 7.4%	② 39.4%	3.2%	0.0%	1.1%
北の峰・御料(N=43)	③ 20.9%	① 74.4%	④ 14.0%	② 32.6%	0.0%	0.0%	4.7%
扇山・鳥沼・大沼(N=29)	③ 27.6%	① 62.1%	④ 6.9%	② 31.0%	0.0%	0.0%	3.4%
清水山・学田(N=13)	③ 15.4%	① 69.2%	— 0.0%	② 46.2%	0.0%	0.0%	0.0%
島ノ下(N=6)	③ 33.3%	① 83.3%	④ 16.7%	② 66.7%	16.7%	0.0%	0.0%
五区・布部(N=18)	③ 22.2%	① 55.6%	④ 5.6%	② 38.9%	5.6%	5.6%	5.6%
山部(N=29)	③ 17.2%	① 79.3%	④ 13.8%	② 20.7%	0.0%	0.0%	3.4%
東山・老節布・西達布(N=28)	③ 32.1%	① 57.1%	④ 10.7%	② 39.3%	3.6%	0.0%	3.6%
麓郷・布札別・八幡丘(N=34)	③ 20.6%	① 76.5%	④ 11.8%	② 38.2%	0.0%	2.9%	0.0%
その他(N=3)	② 33.3%	② 33.3%	— 0.0%	① 66.7%	0.0%	0.0%	0.0%

(8)今後必要な施策や努力

- 今後必要な施策や努力としては、「環境維持のための規制」(48.5%)、「移住・移民も含めた人口維持」(38.2%)、「観光人材の育成」(36.9%)の順となってい る。

図表5-2-34 今後必要な施策や努力



図表5-2-35 今後必要な施策や努力 ~性別・年齢・居住地別~

	受益者負担(使 う人の負担)に 基づく宿泊税 の導入	リゾート地や住 宅の建設の規 制	観光人材の育 成	二次交通(バス 等)の整備	環境維持のた めの規制	移住・移民も含 めた人口維持	キヤッショレス サービスの導 入	その他	特に意 見はな い	無回答
全体(N=301)	(6) 15.9%	(5) 22.6%	(3) 36.9%	(4) 36.2%	(1) 48.5%	(2) 38.2%	(7) 15.9%	2.7%	12.3%	3.7%
男性(N=132)	(6) 23.5%	(5) 29.5%	(3) 39.4%	(4) 34.8%	(1) 53.0%	(2) 43.9%	(7) 19.7%	3.0%	9.1%	2.3%
女性(N=139)	(7) 7.9%	(5) 17.3%	(2) 37.4%	(3) 36.7%	(1) 44.6%	(4) 34.5%	(6) 11.5%	0.7%	16.5%	3.6%
20歳未満(N=15)	(5) 13.3%	(6) 6.7%	(3) 26.7%	(1) 40.0%	(4) 20.0%	(2) 40.0%	(7) 6.7%	0.0%	26.7%	0.0%
20歳代(N=37)	(6) 8.1%	(7) 5.4%	(1) 37.8%	(2) 35.1%	(4) 29.7%	(3) 35.1%	(5) 27.0%	0.0%	16.2%	5.4%
30歳代(N=43)	(6) 11.6%	(7) 11.6%	(5) 18.6%	(3) 32.6%	(1) 39.5%	(2) 34.9%	(4) 20.9%	9.3%	23.3%	2.3%
40歳代(N=42)	(6) 19.0%	(7) 16.7%	(2) 40.5%	(2) 45.2%	(1) 47.6%	(4) 40.5%	(5) 23.8%	2.4%	11.9%	2.4%
50歳代(N=65)	(5) 23.1%	(3) 30.8%	(6) 40.0%	(6) 21.5%	(1) 56.9%	(4) 30.8%	(7) 13.8%	3.1%	9.2%	4.6%
60歳代(N=68)	(6) 16.2%	(5) 38.2%	(3) 44.1%	(3) 45.6%	(1) 58.8%	(2) 48.5%	(7) 11.8%	1.5%	4.4%	4.4%
70歳代以上(N=30)	(6) 10.0%	(5) 20.0%	(3) 40.0%	(3) 36.7%	(1) 56.7%	(4) 36.7%	(7) 3.3%	0.0%	10.0%	3.3%
富良野市街地(N=94)	(7) 13.8%	(5) 18.1%	(1) 38.3%	(4) 31.9%	(1) 38.3%	(2) 38.3%	(5) 18.1%	3.2%	19.1%	3.2%
北の峰・御料(N=43)	(6) 20.9%	(5) 39.5%	(3) 48.8%	(2) 51.2%	(1) 53.5%	(4) 44.2%	(7) 14.0%	0.0%	4.7%	2.3%
扇山・鳥沼・大沼(N=29)	(5) 20.7%	(6) 20.7%	(2) 27.6%	(3) 27.6%	(1) 44.8%	(4) 27.6%	(7) 10.3%	0.0%	17.2%	6.9%
清水山・学田(N=13)	(7) 7.7%	(5) 30.8%	(3) 53.8%	(4) 53.8%	(1) 61.5%	(2) 61.5%	(6) 15.4%	0.0%	7.7%	0.0%
島ノ下(N=6)	- 0.0%	(5) 33.3%	(1) 66.7%	(2) 50.0%	(3) 50.0%	(4) 50.0%	(6) 33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
五区・布部(N=18)	(6) 5.6%	(5) 22.2%	(3) 33.3%	(2) 44.4%	(1) 61.1%	(4) 33.3%	(7) 5.6%	5.6%	5.6%	0.0%
山部(N=29)	(6) 20.7%	(5) 27.6%	(3) 37.9%	(4) 31.0%	(1) 62.1%	(2) 44.8%	(7) 20.7%	6.9%	6.9%	6.9%
東山・老節布・西達布(N=28)	(6) 14.3%	(5) 21.4%	(7) 14.3%	(1) 42.9%	(3) 28.6%	(2) 42.9%	(4) 25.0%	3.6%	10.7%	3.6%
麓郷・布札別・八幡丘(N=34)	(5) 20.6%	(6) 11.8%	(2) 35.3%	(3) 26.5%	(1) 61.8%	(4) 23.5%	(7) 8.8%	2.9%	11.8%	2.9%
その他(N=3)	- 0.0%	- 0.0%	(2) 33.3%	- 0.0%	(1) 66.7%	(3) 33.3%	- 0.0%	0.0%	33.3%	0.0%

6 富良野観光経済振興の課題と方向

(1) 観光の現状

- ・近年、観光入込数が回復傾向にあり、特にインバウンドの流入が顕著となっている。国籍も豪州や中国をはじめとして、欧洲からの来訪もあるなど、多様化してきている。冬場のインバウンドスキーパー客の中には、ニセコの喧騒を敬遠して富良野を訪問するような動きも広まっている。
- ・国内外を問わず、富良野の自然景観の素晴らしさや静かで落ち着ける雰囲気への評価は依然として高い。一方で、マナーに問題のある一部の外国人旅行者が農地を荒らす、ごみ処理を怠る、交通ルールを守らないといった問題も発生している。
- ・概ね30歳未満の、「北の国から」を知らない若い世代も増えている。一方で、「北の国から」の関連施設巡りを楽しみに来訪する観光客もいる（駅前の資料館閉鎖を惜しむ声もあった）。伝統的な観光資源に加え、新たな魅力も増強させていく必要がある。
- ・平成30年9月には大規模地震を契機に全道規模の停電が発生し、住民のみならず観光客の安全確保も重要な課題となることが再認識された。安全で安心できる観光まちづくりが求められる。

(2) 観光インフラ整備

- ・商業施設については集積があり、土産品の購入拠点となるフラノマルシェ、2015年オープンのフラノマルシェ2、2018年オープンのフラノコンシェルジュ（インフォメーション、宿泊施設、飲食施設を併設）のような新たな施設も充実してきている。
- ・Wi-Fiのような通信設備の整備も進められてきているところであるが、回線速度が遅いといった意見も一部にみられた。
- ・道路について、表示がわかりにくい、でこぼこで走りにくいといった意見もみられ、今後改善していく必要がある。
- ・二次交通についても、市内のバス路線の充実を求める声もあった。

(3) 観光消費

- ・宿泊費は、平均宿泊数や1泊あたりの宿泊費が前回調査と比較して増加している。個別のデータをみると、比較的高価な宿泊施設に数泊するケースや、安価な宿泊施設に長期滞在するケースなど、多様化している。
- ・2号館もできたフラノマルシェのような土産物や特産品の購入拠点を中心として、物品購入費は増加している。
- ・富良野スキー場やふらのチーズ工房での対面調査の実施により、リフト代やチーズづくり、温泉等といった施設利用料も、宿泊費や土産品と並んで重要な観光収入源であることが明らかとなった。

- ・冬場のアクティビティはスキー、スノーボードに集中しており、他のアクティビティの開拓の余地が大きいと考えられる。
- ・事業所間の取引条項も考慮して推計した観光経済波及効果については、前回調査よりも高い結果が得られた。

(4)富良野市民の意識

- ・観光振興を今後進めていくことについては、住民（市民）から概ね賛同を得られているが、マナーに問題のある外国人観光客の流入拡大、外国人との土地の売買といった点については警戒する意見もみられた。世代や居住地域によっても観光への意識は違いが観察され、今回調査結果で得られたクロス集計結果も参考にしながら、今後の施策展開につなげていくことが求められる。

参考資料1 アンケート調査票

(1) 観光消費実態調査

調査地点: 調査日(平成30・31年 月 日)

富良野市内観光消費実態観光客アンケート調査

問1 あなたのお住まい、性別、年齢、旅行形態、富良野市内観光の回数、市外利用交通機関をお尋ねします。

住まい	1.北海道内(市町村)	2.北海道外(都府県)	3.海外()				
性別	1.男性	2.女性					
年齢	1.20歳未満	2.20歳代	3.30歳代	4.40歳代	5.50歳代	6.60歳代	7.70歳以上
旅行形態	1.一人旅	2.夫婦	3.家族旅行(子供が→ a.未就学 b.小学生 c.中学生 d.高校生 e.18歳以上)				
	4.カップル	5.友人・知人	6.グループ	7.団体旅行			
富良野市内観光の回数	1.はじめて	2.2回目	3.3回目	4.4回目以上			
市外利用交通機関 (複数回答)	1.飛行機	2.フェリー	3.鉄道	4.路線バス	5.観光バス		
北海道内での到着・出発の空港	到着(空港)	出発(空港)					

問2 今回のご旅行の主たる目的は何ですか。次の中から1つお選びください。

- 1.自然観賞 2.都市見物 3.食・グルメ 4.買い物 5.地域の祭り・イベント 6.大会参加
7.スポーツ(→具体的に()) 8.湯治 9.宿泊目的 10.職場観察
11.修学旅行 12.新婚旅行 13.出会いの場 14.帰省 15.仕事のみ 16.記念旅行 17. インターンシップ
18.ボランティア活動 19.ワーキングホリデー 20.その他()

問3 あなたは富良野の観光について、どこから主に情報を得ましたか。次の中から1つお選びください。

- 1.テレビ番組 2.旅行ガイドブック 3.雑誌や広告 4.家族や友人 5.パンフレット 6.旅行代理店
7.インターネット(→a. Lonely Planet b. 地球の歩き方 c. るるぶ d. じゃらん e. その他())
8. SNS(→a. Instagram b. Twitter c. Facebook d. Line e. WeChat f. その他())
9.その他()

問4 今回の旅行では、富良野市内のどの観光地に訪れましたか(及び訪れる予定ですか)。次にあげた観光地で当時はまるもの全てに○印を付けてください。(複数回答)

- 1.イノベーションセンター(観光協会)及びJR富良野駅 2.中心商店街地区(へそ祭り会場を含む) 3.中心公園
4.フラノマルシェ 5.富良野演劇工場 6.朝日ヶ丘公園 7.ニングルテラス 8.風のガーデン
9.自然塾 10.富良野スキーフィールド(北の峰) 11.ワイン工場・ワインハウス・ぶどう果汁工場
12.六花亭 13.チーズ工房 14.ハイランドふらの 15.山部太陽の里 16.鳥沼公園
17.八幡丘分館・富良野ゴルフコース周辺 18.蘆別の森・五郎の石の家・拾ってきた家・ジャム園
19.原始ヶ原入口(ニングルの森) 20.コンシェルジュフラノ 21.その他()

問5 あなたは富良野市内で、どのような飲食・サービスに、それぞれいくらくらい支払いました(及び予定ですか)。なお、下段のパック・団体料金や宿泊費に含まれるもののは記入しないでください。

①交通費(富良野市内で乗ったJR、タクシー、バス、レンタカー、ガソリン料金等) ()円
②宿泊費()円 → 富良野市内での宿泊日数()日
③土産代()円 → 主な購入品()
④その他物品購入費()円 例: 農産物・農産加工品・織物・ガラス細工・ジュース・タバコ 等
⑤飲食費1(飲食店)()円 → 主な食事・購入場所()
⑥飲食費2(コンビニ、商店等で弁当等購入)()円 → 主な食事・購入場所()
⑦施設利用料(観光施設等)()円 → 主な利用施設() 日帰り温泉入湯料()円 → 主な利用施設()
⑧通信費(宅配・運送・郵送・電話)()円
⑨医療費()円
⑩その他(レンタサイクル料金等)()円 → 主な使途()

*パック料金()円 → 含まれるものに○(宿泊料金、航空料金、鉄道料金、食事代、その他)

問6 あなたは、富良野に愛着がありますか。

- 1.非常にある 2.少しはある 3.わからない 4.あまり愛着がない 5.全く愛着がない

問7 あなたは、富良野に住んでみたいと思いますか。

- 1.移住したい 2.一時期だけ住んでみたい（1.春 2.夏 3.秋 4.冬） 3.住んでみたいと思わない

問8 あなたは、また来たいと思いますか。また来たいと思う方は、次回はいつ頃来たいと思いますか。

- 1.また来たいと思う（a.半年以内に b.1年以内に c.3年以内に d.それ以上） 2.また来たいと思わない

問8-2 「1.また来たいと思う」と回答した方にお聞きします。次回来る時は何をしたいですか。（全てに○）

- 1.花や農村景観の鑑賞 2.自然観賞（サイクリング・トレッキング・登山等） 3.テレビドラマロケ地巡り
4.アウトドア・インドア体験（→具体的に（ ））
5.スポーツ（スキー・ゴルフ等） 6.富良野を拠点とした広域の滞在観光
7.芸術文化鑑賞（富良野演劇工場等） 8.市民との交流（農家・観光ガイド等） 9.地元料理の満喫
10.地域イベント参加 11.その他（ ）

問8-3 「2.また来たいと思わない」と回答した方にお聞きします。その理由を教えてください。

（回答欄）

問9 あなたは、富良野市内を観光してどのような印象を受けましたか。

- 1.とても満足 2.満足 3.まあ満足 4.ふつう 5.やや不満 6.不満 7.とても不満

問9-2 満足した内容を教えてください。

（回答欄）

問9-3 悪い印象を受けたところは何ですか。一つ選んで下さい。

- 1.食べ物 2.観光サービス 3.観光施設 4.駐車場 5.自然環境 6.宿泊施設 7.看板 8.二次交通
9.外国語対応 10.その他（ ）

問10 親しい友人等に富良野を紹介したいと思いますか。

- 1.是非紹介したい 2.紹介したい 3.まあ紹介したい 4.どちらでもない／わからない
5.あまり紹介したくない 6.紹介したくない 7.全く紹介したくない

アンケートは以上です。御協力有り難うございました。

(2)観光経済事業所調査

富良野市観光経済効果に関する事業所調査

- ご記入頂いた内容は全て統計的に処理いたします。(会社名等、個別情報は集計に一切反映されません。) また、観光経済効果計測のみに使用し、他の目的に使うことは一切ありません。
(集計後、調査票はシュレッダーにより廃棄処分いたします。)
- ご多忙のところ恐縮ですが、ご記入が終わりましたら同封の返信用封筒に入れて、12月14日(金)までにご投函ください。
- ご回答の期日までにご返信がない場合やご記入に欠落がある場合には、お電話などでお尋ねする場合がございます。
- 不明な点がありましたら、下記までお問い合わせ下さい。
株北海道二十一世紀総合研究所（担当：富田、小山）
〒060-8640 札幌市中央区大通西3丁目 北洋ビル6階
Tel. 011-231-3053 / Fax. 011-231-3143

★最初に、貴事業所についてご記入ください。

事業所名			
住 所			
電話番号			
ご記入者	所属・役職： お 名 前：		
業 種 ※1つに○	1. 運輸・通信業 2. 小売業 3. 飲食店	4. 物品販賣業 5. 旅館・ホテル・民宿等 6. 娯楽業	7. 駐車場業 8. その他の業種 ()

問1 富良野市内での観光客数の増加は、貴事業所の“業績”にどのような関係がありますか?
(いずれか1つに○)

1. 非常に業績を増加させる	4. わからない
2. やや業績を増加させる	5. その他
3. 特に影響ない	()

※以下の質問は、貴事業所の直近の決算期のご経営内容からお答えください。

問2 貴事業所の従業員数について教えてください。次の記入欄に数字をご記入ください。

常用従業員数（経営者を除く）	約 () 人
臨時雇用者数（パートを含む）	約 () 人
年間の実労働人工総計	約 () 人日

問3 貴事業所の年間総売上高について、おおよその金額を教えて下さい。

約 () 億 () 千 () 百万円

問4 貴事業所の年間総売上高のうち、観光客からの売上、及び観光関連業者からの売上のおおよその割合を教えて下さい。

※観光関連業者とは、観光客が利用する店舗や事業用施設を有する事業所を指します。

観光客からの売上の割合	年間売上全体の 約() %
観光関連業者からの売上の割合	年間売上全体の 約() %

問5 貴事業所の年間総売上高に占める各経費・利益（下記①～④）のおおよその割合を教えて下さい。下の表に数値をご記入下さい。

①原材料費 (商品及び材料仕入費、運輸業での燃料費・車両整備費等も含む)	約() %
②人件費 (臨時雇用者の傭人料を含む)	約() %
③営業経費 (水道光熱費、支払賃料、広告宣伝費、出張旅費、消耗品費など)	約() %
④その他 (租税公課、減価償却費、営業利益等)	約() %
合 計 (年間総売上高)	100%

問6 上記の「①原材料費」「③営業経費」について、支払い先の地域別内訳のおおよその割合を教えて下さい。また、「②人件費」について、従業員の居住地別内訳のおおよその割合を教えてください。下の表に数値をご記入ください。

	原材料費	営業経費	人件費
①富良野市内	約() %	約() %	約() %
②富良野圏域 (美瑛町、上富良野町、中富良野町、南富良野町、占冠村)	約() %	約() %	約() %
③その他道内 (富良野市内、富良野圏域を除く道内全域)	約() %	約() %	約() %
④北海道外 (本州、四国、九州、海外)	約() %	約() %	約() %
合 計	100%	100%	100%

問7 富良野市の観光経済効果をより大きなものにするには、どのような取り組みが有効と日頃お考えですか？ 次の中から“3つ”選び、○印を付けてください。

1. 市内企業間で観光ビジネスに関する情報交換を活発化する
2. 市内企業間の商取引を増やす
3. 観光入込み数を増やす
4. 観光入込みの通年化を図る
5. 宿泊客数や滞在日数を増やす
6. 観光施設・設備を充実する
7. 商品・サービスを改善し付加価値を高める
8. 観光客の市内消費を増やすため、商品・サービスの多様化を図る
9. 労働力確保や従業員教育への取り組みを改善する
10. 観光行政の指導性を高める
11. その他 ()

問8 最後になりますが、富良野市の観光振興に関するご意見などがありましたら、自由にご記入ください。

調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。
同封の返信用封筒にてご返送ください。

(3) 観光に関する住民意識調査

富良野市観光に関する住民意識調査

富良野市では、市民の皆様に富良野市観光に関する住民意識調査を実施しています。市民の皆様に、日常生活における観光関連業とのかかわり、観光関連産業への御意見等をお伺いするものです。頂いた回答は統計的に処理され、個人の特定につながる情報は公開いたしません。

3月18日（月）までに同封の返信用封筒にて、返送ください。皆様のご協力をお願い申し上げます。

富良野市経済部商工観光課

問1 最初に、あなたのこと教えてください。（一つに○）

年齢→	・20歳未満 ・50歳代	・20歳代 ・60歳代	・30歳代 ・70歳代以上	・40歳代
性別→	1. 男性 2. 女性			
職業→	1. 農業 3. 官公庁 5. 学生 7. 仕事をしていない（定年退職、無職等）	2. 観光関連産業（宿泊業、飲食業、旅行関連サービス業等） 4. その他（ ）	6. 主婦	
雇用形態→	1. 正社員、正職員 4. 清水山・学田 7. 山部	2. 契約社員 5. 島ノ下 8. 東山・老節布・西達布	3. パート 6. 五区・布部	4. アルバイト
居住地区→	1. 富良野市街地 4. 清水山・学田 7. 山部 9. 麓郷・布札別・八幡丘	2. 北の峰・御料 5. 島ノ下 8. 東山・老節布・西達布	3. 扇山・鳥沼・大沼 6. 五区・布部	10. その他（ ）
出身地→	1. 富良野市 3. 北海道内（ 市・町・村）	2. 富良野市で生まれたが、一時離れ、現在は富良野市に居住	4. 道外（ 都・府・県）	
富良野市に住んでいる年数→	・1年未満 ・30年未満	・5年未満 ・30年以上	・10年未満	・20年未満
富良野市への居住継続意向→	1. 当面住み続ける予定 4. その他（ ）	2. 転居する予定がある	3. わからない	

問2 問1で職業を「観光関連産業」と回答した方にお尋ねします。仕事の満足度と、今後同じ仕事に従事する意向を教えて下さい。

問2-1 仕事には満足していますか？（一つに○）

- | | | | |
|---------------------------|----------------|---------------------------|--------------|
| 1. 非常に満足
5. どちらかといふと不満 | 2. 満足
6. 不満 | 3. どちらかといふと満足
7. 非常に不満 | 4. どちらともいえない |
|---------------------------|----------------|---------------------------|--------------|

問2-2 今後も観光関連産業に従事したいとお考えですか？（一つに○）

- | | |
|-------------------------------------|-------------------|
| 1. 引き続き観光関連産業に従事したい
3. どちらともいえない | 2. 今後も継続したいとは思わない |
|-------------------------------------|-------------------|

問3 富良野市に来られる観光客の数は近年増加傾向にありますが、これに対する感想を教えてください。

問3-1 観光客が増えていることについてどう思いますか？（一つに○）

- | | | | |
|----------------------------|------------------------------|------------------------------|-------------|
| 1. とても好ましい
4. どちらともいえない | 2. 好ましい
5. どちらかといふと好ましくない | 3. どちらかといふと好ましい
6. 好ましくない | 7. 全く好ましくない |
|----------------------------|------------------------------|------------------------------|-------------|

問3-2 観光振興により富良野市の知名度が上がることについて誇りに思いますか（一つに○）

- | | | | |
|-------------------------------|--------------------------|------------------------------------|--------------|
| 1. とても誇らしい
5. どちらかといふと誇らしい | 2. 誇らしい
6. 誇らしいとは思わない | 3. どちらかといふと誇らしい
7. 全く誇らしいとは思わない | 4. どちらともいえない |
|-------------------------------|--------------------------|------------------------------------|--------------|

問3-3 今後も観光客が増えていくことを望んでいますか？（一つに○）

- | | | | |
|----------------------------|------------------|----------------------------|--------------|
| 1. 強く望む
5. どちらかといふと望まない | 2. 望む
6. 望まない | 3. どちらかといふと望む
7. 全く望まない | 4. どちらともいえない |
|----------------------------|------------------|----------------------------|--------------|

問4 富良野の観光が活発になると、どのようなプラスの効果があると思いますか？（〇はいくつでも）

1. 観光関連産業に従事し、来訪する観光客の直接的な消費により利益を得る
2. 観光関連産業に従事しているわけではないが、観光産業からの受注がある
3. 就業機会が増える
4. インフラ（公共等施設・設備）が整備される
5. 富良野の知名度が上がり、住民として富良野に誇りが持てる
6. 富良野のイメージアップに寄与する
7. まちの賑わい等により日常生活にも活気や潤いが生まれる
8. 事業活動、社会活動等を通じて市民が活躍する機会が増える
9. その他（ ）

問5 富良野の観光が活発になると、どのようなマイナスの効果があると思いますか？（〇はいくつでも）

1. 農地が荒らされるなど、他の産業に悪影響が出る
2. 不動産や物価が高騰する
3. 人材が観光関連産業に集中し人材不足に陥る
4. ゴミが増える
5. 開発により自然が減少する
6. 交通渋滞が発生する
7. 騒音問題が発生する
8. 治安が悪化する
9. 慣習の異なる方々が増え、日常生活にも影響する
10. その他（ ）

問6 上記のプラスの影響とマイナスの影響について、どちらが大きいと思いますか？（一つに〇）

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1. プラスの影響のほうが大きい | 3. 同じくらいだと思う |
| 2. マイナスの影響のほうが大きい | 4. わからない |

問7 道外や海外からの観光客の受け入れについて、あなたの考えを教えてください。

	受け入れについて ↓（一つに〇）	賛成・反対の理由 ↓（一つに〇）
国内（日本人）の観光客	<p>1. 賛成である</p> <p>2. 反対である</p> <p>3. わからない／特に意見はない</p>	<p>【賛成の理由】</p> <ol style="list-style-type: none">1. 買物や飲食等を通じ富良野の経済発展に貢献2. 賑わいが生まれ、まちが活性化する3. 富良野を多くの人に知ってもらえる4. その他（ ）5. 特に理由はない <p>【反対の理由】</p> <ol style="list-style-type: none">1. 開発増による自然の減少・ゴミ増・交通渋滞・騒音等、生活環境が悪化している2. マナーをわきまえていない3. 物価や不動産価格が上昇している4. その他（ ）5. 特に理由はない

海外(外国人) の観光客	1. 賛成である	【賛成の理由】 1. 買物や飲食等を通じ富良野の経済発展に貢献 2. 賑わいが生まれ、まちが活性化する 3. 富良野を多くの人に知ってもらえる 4. その他 () 5. 特に理由はない
	2. 反対である	【反対の理由】 1. 開発による自然の減少・ゴミ増・交通渋滞・騒音等、生活環境が悪化している 2. マナーをわきまえていない 3. 物価や不動産価格が上昇している 4. その他 () 5. 特に理由はない
	3. わからない／特に意見はない	

問8 あなたは日常の生活において、観光客との交流・接点がありますか？（それぞれ一つに○）

これまで→	1. 交流・接点があった	2. 交流・接点はなかった
これから→	1. 交流・接点を持ちたい	2. 交流・接点を持ちたくない

問8-1 問8で「交流・接点があった」、「交流・接点を持ちたい」と回答した方にお尋ねします。それはどのような機会ですか？（○はいくつでも）

1. 宿泊・購買・飲食などの仕事を通して直接的に接する機会
2. 通訳やボランティア等で接する機会
3. 観光客との文化イベント
4. その他 ()

問8-2 問8で「交流・接点があった」、「交流・接点を持ちたい」と回答した方にお尋ねします。交流・接点の機会は十分あると思いますか？（一つに○）

1. もっと交流の機会があったほうがよい
2. 現状程度で十分である
3. もっと少なくてよい
4. その他 ()
5. なんともいえない／わからない

問9 問8で「2. 交流・接点は持ちたくない」と回答した方にお尋ねします。理由があれば教えてください。（○はいくつでも）

1. そもそも観光客を見ることがない
2. 言葉や習慣の違いに戸惑いがあり、関わりたくない
3. 観光振興に反対の立場である
4. 穏やかに暮らしたい
5. その他 ()
6. 特に理由はない

問10 今後、富良野はどのような観光地になってほしいと思いますか？（○はいくつでも）

1. 通年で多くの観光客が国内間わざ訪れる国際観光リゾート地
2. 環境に配慮した持続可能な観光地
3. 現状のままでよい
4. 観光地としての発展より、住民の生活を重視してほしい
5. その他（ ）
6. 特に意見はない／よくわからない

問11 富良野市は持続可能な観光地づくりを進めていきたいと考えていますが、そのためにはどういった施策や努力が必要だと思いますか？（○はいくつでも）

1. 受益者負担（使う人の負担）に基づく宿泊税の導入
2. リゾート地や住宅の建設の規制
3. 観光人材の育成
4. 二次交通（バス等）の整備
5. 環境維持のための規制
6. 移住・移民も含めた人口維持
7. キャッシュレスサービスの導入
8. その他（ ）
9. 特に意見はない／よくわからない

問12 この他、富良野市の観光施策についてご意見があれば、御自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

参考資料2 観光に関する住民意識調査 自由回答

- ・幼稚園（保育園）～高校生などの交流もかまえるのではなく、又、市民など希望があればホームステイなどもあれば良いなと思っております。又、ワンポイント語学交流（マルシェやフラット、商工会議所）ホワイトボードなど置き、それに書ける→勉強できる、楽しむ、遊びを教え合う…などなど。（60歳代 女性）
- ・住民の生活を重視した街づくりをお願い致します。（年齢性別無回答）
- ・キャッシングについては、バスや電車の電子マネー導入をお願い致します。
- ・スマート決済は日本製でpring（プリン）、オリガミペイ、楽天ペイ、d払い、その他の銀行系のスマート決済をお願い致します。特にpringは、日本企業でおすすめのこれから伸びる企業なので、ご検討お願い致します。（年齢性別無回答）
- ・PayPayは中国企業と提携していますので、情報流出が不安なので導入はやめて頂きたいです。LinePayも韓国企業と深いつながりがあるのでやめて頂きたいです。Lineは国によって個人情報流出があるので、禁止しているところもあります。官公庁では完全に禁止の国があります。（30歳代女性）
- ・外国人との交流パーティがあれば、もっと宣伝してください。道で迷う外国人もいるので、（将来の就職のこともありますが）語学教育に力を入れるべきです。特に英語です。（60歳代女性）
- ・礼儀が良く無い観光客がかなり多い。バス中、JR中、外で大声出し過ぎ、歩きながらのタバコ等々。有り余る位。全員は知らないが、云わせてもらいたい。（50歳代男性）
- ・外国籍の人にはただ投資目的での売買には規制してほしい→環境破壊…。鉄道：根室線の存続は大変だが、バス、レンタカーなどでは環境イメージが悪い。何年後かに大変な事になる。存続すれば、遠い町とも続けてやがて経済効果を生むことになる。（60歳代 性別無回答）
- ・無料の高速道路の整備。値段を低く抑えた地元の野菜や名物の販売。これらも含めた複合型大型商業施設。駐車場が完備された、安価なホテル（中心部に）。（50歳代男性）
- ・富良野市、市民の幸せを願い、住み良い富良野で、市民一人一人が豊かに暮らせる事を願っています。観光客も素直に受け入れることで、たとえ言葉が通じなくても…あせらず、富良野を知つてもらう事が一番です。富良野大好きです。今回のようなアンケートとても良い事だと思います。（50歳代 性別無回答）
- ・観光よりも子育てしやすい街づくりをしてほしい。（20歳代女性）
- ・観光客増えるのはとても良いけれども、富良野住民そのものの生活を重視していただけたら助かります。地元住民の恩恵がないように思います。例えば、フラノマルシェでも地元住民を身分証明を出して、値引きしてもらえるとか、そういうことあっても良いかなと思う。後、観光客の交通マナーが良くないです。何度も、ぶつかられそうになりました（車の運転時）。観光客の事故も多いし、どうにかしてほしいです。地

元住民が危ないです。 (40歳代女性)

- ・富良野市に限定してみれば、本当に見るべきものはない。ラベンダーは中富良野富田さんのラベンダー、丘の風景は上富良野から美瑛にかけての地域と独立したものはない。冬のスキー場だけと言ってもいい。埋もれているものを発掘して出していく、又は生み出していくのも一つの手法であるので、もったいないと思う。

①一つは国道から38号から富田ファームに向かうバイパスの道の下っていく道に右側に連なる丘に花園を作る。十勝岳連峰、大雪山、トムラウシ山も望み素晴らしい景色、すぐ終わる花ではなく、6月から10月まで咲くバラ園は最高だと、女の人は特に花が好きです。

②西達布から麓郷に抜ける道の連なる丘はどうでしょうか…提案です。

(年代無回答、女性)

- ・冬の道路の排雪を、宿泊施設付近はこまめにしてほしい。 (20歳未満 女性)
- ・観光客、住民の為にも、今後中心街にある食品スーパー、既存大型（ラルズマート）は新しく建て替えた方が良いと思います。外国人の人にもわかり易い表示をしたら良いと思います。 (40歳代女性)
- ・観光地らしく観光客の目線で見れば、看板のわかりにくさ、市民の語学力の低さなど。 (30歳代男性)
- ・この先、20年後、30年後を考えた時、現在のように観光客がいるのかどうか… (50歳代男性)
- ・住民が生き生きと暮らす街であってこそ外から訪問される方によって魅力的な街と感じていただけると思います（過ごしたい街、住みたい街）。「外」と「内」にバランスよく幸福をもたらす施策となるよう望みます。 (50歳代男性)
- ・大きなホテルが不景気になって、廃業した場合、廃業が残らないか心配。 (40歳代男性)
- ・一時期のブームではなく、今後もコンスタントに観光地として、魅力を保ち続けるためには、外国人、日本人どちらにあっても居心地が良い場所になるような施策が必要だと考える。今は、日本人は外国人が多いことに嫌悪感を覚えるきらいがあるように見受けられる（ホテル勤務者として）。お互い交流できる機会やイベントを富良野でもっと通年開催できればと思う。もしくは、アイコン的なイベントを作る。（例えば、小樽＝コスプレなど）。また、春、秋の観光客の減少が激しいので、紅葉や避暑地としてのアピールがもっと可能かと考える。そうすれば、通年雇用者が増え富良野の人口減少の抑止にもつながるのではと考える。 (20歳代女性)
- ・マルシェ内のフード店は、高すぎて、市民向けではない。観光客向けのみではなく、市民にも利用しやすい値段にすれば、まだまだ人気が出るように思います。甘太郎とかも入れてほしい。 (販売だけでも)。子供達（小学生）の壁新聞や、作品をたまり一ぱに飾ってほしい。 (20歳代男性)
- ・レンタカーを利用した観光客のマナーの悪さ（交差点や走行中の急停車、畑への侵入）。 (40歳代男性)

- ・事故が多発しているし、実際に怖い思いをした。現状だとマイナスの影響のほうが大きいと思わざるを得ない。市や警察が何か対策を取っていくべき。（30歳代 性別無回答）
- ・かなやま湖・芦別岳・十勝岳を周遊する圏域全体のルートを確立する、東大演習林地域の解放、老節布地区での温泉掘削。（70歳代以上男性）
- ・10年以上富良野に住んでいるが、10年前と何も変わらない。マルシェは観光客のための施設であり、富良野は何につけても観光客のための町づくりをする。移住者がどんなに声を上げても、地方民は何も聞き入れない。他の町は観光で得た利益を住民のために使うが、富良野は全く変化がない。公共施設や保育所など、本当に動線が悪すぎる。もう少し他の町を見てみたらどうか。不便は町の良さではない。（40歳代 性別無回答）
- ・最新のゲームセンターを増設してほしい。学生が気軽に休憩や勉強などのために使える施設があってもいいと思う。また、ゲームセンターに限らず札幌や旭川のような場所に行かないといろいろなものを増やしてほしい。（20歳代男性）
- ・むやみに開発を認めず、あまり景観を壊さぬように気を付け、市民が観光客に対して親切にすることも大切だと思います。（20歳代男性）
- ・最近町内にて民宿による外国人の姿が見につくようになってきました。欧米南半球の人々はフレンドリーで笑顔での挨拶などのコミュニケーションが良いのですが、中国系のアジア人は一般常識が欠如していると思われます。夜中に花火をしたり、庭先に入り込んで、大声を出したり、ゴミの不法投棄を行ったりと大変迷惑な行動が多すぎます。宿主の徹底した教育を望みます。（60歳代男性）
- ・富良野市の観光施策については、おおむね良いと思うし、満足している。現状を維持し、フラノマルシェ、トマールなどを基点にして、観光施策を進めていてほしいと考える。また、観光が充実している一方で、富良野市の若年者人口は減少しており、観光の発展が富良野市に住みたい、富良野で子育てをしたいという流れに繋がっていないと思う。さらに、今後の富良野市の観光施策で得た利益を教育、子育ての充実にあててほしいと考える。特に、保育施設の充実や保育士の給与面での充実は、急務と考える。若年層では、子供を預けることができるなら、働きたい、両親共に働きたいという人が、まだまだいると考える。「働きたい、子育て世代が充実する街」の実現に向け、富良野の観光施策の優位性をぜひ生かしてほしい。（30歳代男性）
- ・住民の幸せが最優先、その前提で観光客のための施策を考えてほしい。お客様が最優先では幸せになれない。（50歳代男性）
- ・中国人のマナーの悪さが目立つ（お店で持ってきた食べ物や飲み物を飲食したりする）。（30歳代女性）
- ・風景、自然、再度見直し、発信戦略を沿線と建て直し共有すべき。北星山からの日の出や雲海を見に行って感動した。50数年住んでいて、たぶん美しいだろうとは想像していたが、実際に見ると格別。富良野盆地では北の峰、なまこ山、清水山、ハートビル、鳥沼、北星山、本幸、千望峠と雲海や日の出、夕陽の美しい小高い丘や山があ

り、それらからの眺望を「Furano 360度」というワードくくりで発信してはどうか！！雲海と言えばトマムのテラスが有名ですが、二番煎じで結構なので。雲の上に十勝丘～大雪山旭岳まで眺めることができる場所はここにしかない。これらの風景は子供のころから当たり前すぎて気づかず、訪れる人に教えられ、特別なのだと知らされたのです。（50歳代男性）

- ・私は富良野に仕事で少し間滞在し、景色が気に入ったため、移り住みましたが、観光する立場とすると、夏と冬のみ目的があつて来ることはあっても、春と秋はグッと観光客は減っているし、確かに何も見るものも特別行くところもないかな？と思います。春や秋でも楽しめるところやイベントがあると、もっと観光客も増えるのかな？と思います。それとも、夏と冬にグッと集客できているため十分なのでしょうか？これといって、提案できる内容がないのは申し訳ないのですが。宿泊施設がここ数年でとても増えたので、ホテルに勤めている方々は収入が減らないかと冷や冷やしているのではないか？客が増加しているということなので、心配いらないですかね？（30歳代女性）
- ・市道、道道、国道ゴミのポイ捨て人が、多く見られる。交通事故（レンタカーとか地方の車との事故）が多くなったのでは。（60歳代 性別無回答）
- ・各都市の大型商業施設での富良野の食材や景色（十勝岳、芦別岳、スキーチャンプーを大きな写真で）をアピール、観光客に桜や紅葉の名所をわかりやすくする。
(50歳代男性)
- ・外国人のマナーも悪いけど、それを受け入れている宿泊先などのオーナーも、見て見ないふりなどしている。住宅街にある民泊的なところではもっと規制を正しくしてほしい。夜中の花火など、ひどすぎるし、エンジンかけたままで、排気ガスが家の中に入ってきたりする。市民が気軽に食事できるところがない。（20歳代男性）
- ・観光産業の発展（ホテル建設ラッシュ）が迫っていますが、圧倒的に人手が足りていません。まず、働く人が集まらないと継続的な維持は困難と考えます。市からの補助というのはさすがに難しいかもしれません、何らかの形で、バックアップしていただき、会社が待遇改善を図れる流れを作っていただきたいです。外から働き手を募るのも大変結構ですが、まずは地元で働く人を守ることが最優先ではないでしょうか。乱筆失礼致しました。（30歳代 性別無回答）
- ・市内の土地が有りにも中国とかアジアの人々に多く売りすぎることにより地価が上がって困ります。特に中国が多いです。間に入る人も、中国だと地価も高く売れると言つて歩いてます。困ります。（70歳代以上女性）
- ・観光施策を計画実施するにあたっては、観光関係者だけでなく、いろんな立場（むしろ観光とは無縁と思うぐらいの）の市民や企業を取り組むべき。（40歳代男性）
- ・1歳の子供を連れて、オーストラリアからスキービー観光に来ていた家族を飲食店で見かけました。子供に食べさせるものを選ぶのに少し時間がかかっていたように見えたので、子供連れに優しいお店、向いているお店など、少しでも提示してあげられると、海外の方同士の口コミなどで評価が上がるのではないか？（20歳代女性）

- ・人口増加に繋がることは、前向きに進んでいいと思う。若者の発想で前に進んでください。地域が良くなるのであれば良いと思う。（70歳代以上男性）
- ・私の小さいころより、道路、川の管理が悪いと思う。（60歳代男性）
- ・外国人が住民になるのは、これ以上やめてほしい。交通の一時停止もわからんものは、来ないで。（50歳代男性）
- ・観光施設については人材育成が重要と考えます。富良野市民の日常生活が充実する事、地域づくり、人づくりが土台にあってこそ、来てみたい富良野！！だと思う。富良野市は細かいところにうるさすぎる。例年通り、決りだから…と何のために何を大事にあるかがなくて、息苦しい、動きづらい、他の地域と比べてもおかしい。やる気のある者をつぶしていく街だ。教育関係やる気なさすぎる。全て1から考え直してみた方がよい。優しい時間が流れる街ふらのもっと広い視野で頑張ってほしい。（50歳代女性）
- ・ネットの時代通信インフラ整備は観光のみならず、福祉、医療、教育にも重要なものになると思われる。お客様だけではなく、本来の住民もサービスもお忘れなく！（60歳代男性）
- ・観光ばかりに力を入れ、市民のための街ではない。とても住みづらい。観光客の車が怖い。危ない。申し訳ないが、富良野は好きではない。（40歳代女性）
- ・外国人と富良野市民との共存が大事だと思う。言葉の問題、意思疎通を日本人は外国語と、外国人は日本語を話せるようにすれば良いのでは？どうすれば勉強できるか考えた方が良いと思う。外国語の看板の追加、ホテル等の案内看板を！（60歳代男性）
- ・オムカレーがご当地メニューとして有名だけど、その他にも何か富良野の良さをいかしたおいしい料理ができたらいいなと思う。（30歳代女性）
- ・富良野市は観光も出来、おいしいご飯を提供し、観光資源も豊富。このまま、富良野の食材を生かした料理を提供していくためには、新規農業者が増えるように政策を考えたり、安心して農業を続けたりしていくようにしていくべき。今後、観光の他、就労をしに海外の方が移住してくるかもしれない。お互いが住みやすいようにするのと、治安維持に配慮してほしい。せっかくの観光地なので、屋内、外で子供が遊べるような施設があると、大人も子供も楽しめる富良野になると思います。高規格道路ができたことにより、富良野を通過だけさせないで、少しでも魅力的で富良野に寄りたいと思わせるような工夫をしてほしい。（30歳代男性）
- ・中国などから来る観光客は飲食店に平気で持ち込みしたものを広げ食べている。ゴミはそのまま店内に置いて帰る。スキー場へ来た人はロッカールームでホッカイロ等のゴミを床に散らかしたままである。又、ぶつかってきても謝らない。そりをしてはいけないところでそりをしている。それを注意しないスキー側にも責任はあると思うが…。マナーの向上がなければ、気分が悪いだけである。以上のことから最低限のマナーを守るような注意喚起を各観光施設や町全体で行うことが必要だと思う。（60歳代女性）

- ・富良野は農業・農村の景観が観光のメインになることが多いと思うが、農地で写真を撮ることを快く思わない人が多いので、撮影ポイントを設置し、パンフレットにしたりして、地域の人達に配慮するか地域の人と話し合い、どこで撮ってもいい所を作るかした方が良いのではないかと思う。 (30歳代男性)
- ・このアンケート調査の必要性がわかりません。 (50歳代男性)
- ・観光客が増えることによって、若い人達の働く場がたくさんできれば良い。海外の人達が農地に勝手に入らぬよう外国語の標識などを揃えてほしい。交通ルールを守らない人の取り締まり強化。一時停止やワインカーをつけず曲がる観光客が多いと思う。 (50歳代男性)
- ・市内の土地が外国人に買われ、開発が始まったが、途中で頓挫している地区もある。
(開発行為の規制条件を強める必要。審査(開発の実行性)を厳しくする必要あり)。先日、ホテル建設の説明会に参加したが、ニセコの開発業者が来てホテル建設との話だが、「運営が決まっていない」との事、建設後のゴミの問題を尋ねても答えられなかった!結局、コンドミニアム方式になるのか?別荘方式になるのか、わからないままに建設が進んでいる。富良野方式の規制を考える時かも(ニセコとは違う)。外国資本が入るのはいいが、将来の事を考えて、(土地は公有地にして、低額で買い戻す条件をつけるとか?廃業する場合は、土地を富良野市に寄属(帰属)する条件をつける等の処置が必要では? (60歳代男性)
- ・大きく観光に力を入れ過ぎてしまうと、国際(外交)などの問題から急に観光客が減ることも考えられます。もともと観光業は不安定な産業であるので、「農業」「観光」に続く第3の産業を育てることも大切だと考えます。また、観光に従事する若者達が離職する話も多く、賃金や待遇が伴うようにならなければ経済的に発展したとしても市民が幸せだとは感じられないように思います。 (40歳代男性)
- ・市議会、議員の人が提案した事があるが、屋内(全天候型)の大規模、公園と一緒に屋外のアスレチックの整備、道の駅ちっぷべつや、旭川の神居のもりや、稚内にある公園を参考して、作って欲しい。子供が遊ぶ場所があれば、家族連れ、特に子供や孫のために、多少お金がかかっても、お金をいっぱい持っているバブル世代がお金を落してくれる。公園の受付などに富良野市の観光案内(チーズ工房やマルシェで、ソフトクリームが50円引きになるチラシ等)をおいておけば、その公園から、お土産などを買うために、公園が郊外にあっても、(郊外に富良野市はいっぱい空地ありますよね)市内にまで、周遊してくれる。富良野市内の観光地をめぐるスタンプラリー等(例えば、アンパンマンショップ、マルシェ、チーズ工房、フラノコンシェルジュ等)すると、子供が楽しめる。市内のソフトクリーム、スタンプラリーとともにやったら良い。市内3店舗のスタンプを集めて、応募したら、特賞は宿泊券1名(ペア)で良い。次の賞は富良野で使える商品券を送る。→その商品券を使うために次の年にも富良野に来てくれる!!というのを繰り返せば良いと思う。回数を増やして、富良野市の魅力を感じてもらえば良い。公園の周りに、桜や紅葉樹を育てて、高齢者にも来てもらう。又、花壇なども整備して、カップルなども呼べると思う。公園の整備をシル

バー人材センターにやってもらえば？シルバー人達の仕事も増える！！ふるさと納税を利用して、高額納税者にはホテル宿泊券とラフティングのセットプランなども準備して楽しんでもらって、又、富良野に来てもらえるよう努力をする。全天候型、屋内公園を作つて、国際観光とか、国内観光客ではなく、道内の（道民）観光客を取り込むべきと思います。道の駅がないのだから、そこは頑張るべきだと思います。（40歳代女性）

- ・夏に畠で仕事をしていると、ズカズカと畠になつてきたり、電気柵を乗り越えて入つてきたり、しまいにはハウスにまで入つてきたりと特にアジア系の観光客に毎年毎年迷惑しています。新プリに繋がる道路に面しているため、たくさんの観光客の人が通る道沿いですが、マナーの悪さは目立ちます。たまたま納屋のシャッターを開けたまま出荷に行き帰つて来たら中に男性と女性の2人が入つていて、私達が車を入れようとしても出て行かず、渋々と一言もなく出て行くという事もありました（アジアの方です）。夜は外灯が少なくてとても暗いのですが、歩道があるにもかかわらず車道を真っ黒な服装で歩いたり、ドキッとさせられたりすることが多々あります。レンタカーもたくさん走っていますが、本当に免許持つているのか？と不安になるような運転がそこら中であります。牧草ロールが珍しいのか畠の中に入り写真を撮つたり、しまいにはウェディングドレスで牧草ロールに乗りドローンで撮影までしています。日本人の方なら言葉で注意しても伝わりますが、海外の方はどう注意していいかもわからず困っています。もっともっとマナーについて旅行者の人に教えて欲しいです。こういう状況であるために観光客に対してすべてウェルカム！！とならないのは仕方ないですよね。（50歳代女性）
- ・市内に、続々と宿泊施設が増えているが、それだけお客様が利用する機会があるのか不明。夏と冬は良いが、他の季節の観光をもっと考えた方が良いと思う。又、宿泊施設が増えても、働く人が足りるのか不安。結局人手不足で、お客様にも満足してもらえないのであれば、観光客は減ると思う。（40歳代女性）
- ・海外からの観光客の長期滞在が増えているように感じます。スーパーや薬局で日用品を購入しに来ている姿を見かけるので。その移動手段として、雪のある冬でも自転車というケースも数回目になります。富良野には1か所で、目的の買い物をすべて完了できる施設がありません。「何でもいい」と思えば済むことかもしれません、選択肢をと思うと、何で大きなデパート1つないのかと思ってしまいます。イオンモールのような縦に高い商業施設がないと、今時観光客、子育て家族には不便で仕方ないです。最寄りのバス停がないことも、子育てをする立場から言わせてもらえば、とっても不便です。（20歳代 男性）
- ・観光地づくりを進めるのはいいが、富良野住民にとって利益がない。住民にとってもっと利益があり、住みやすい観光地を進めていくべきである。（30歳代男性）
- ・市中心部は本当に人が少ないです。地元民は元より観光客が心から喜べる場所がたくさんできると嬉しいです。（60歳代男性）
- ・観光者を迎える心が今より大切にすることが必要と思う。たえず笑顔で。（60歳代女

性)

- ・観光客が農地に入らないよう厳しく取り締まってほしい。 (30歳代男性)
- ・マナーを知らない中国人には、日本でのマナーを教える場が必要だし、マナーを知つてから観光して欲しい。スーパーや街中でいつも不快な思いをしています。特に畑の中に入つて（無断で）写真を撮つたり、「そこにあるから」と野菜を採つて行つたりと、色々話を聞きます。自分勝手な観光客は富良野の損害にしかならないので、街中だけでなく農村の状況もしっかり見て欲しい。 (50歳代女性)
- ・富良野のニセコ化が心配である。観光関連に人材流出し、人件費の高騰、バブル化する地価、外国人増加に伴つて富良野が無国籍化する状況に陥ることも考えられるので、あらかじめ今のうちからルール作りをしっかりして、秩序のあるリゾート開発振興を行つたほうが良いと思う。ぜひ上記のような受益者負担に基づく宿泊税の導入は行ってほしい。ゴミ処理や道路整備、道路標示や案内所など観光に向けて行う施策に付する目的税として、1泊￥100～1000程度徴収するのはどうか？ (40歳代男性)
- ・観光客の受け入れ政策には賛成だが、地元住民のインフラがまだまだ十分だとは言えない。東山地域のような過疎地にも力を入れて頂き、街中だけではなく、地域にも観光客が訪れるような体制を敷いて欲しい。特に、光通信などの整備。 (60歳代男性)
- ・飲食店などがすべて観光地向けのメニューと価格設定になつてゐるようで、なつてない。地元の人と観光に来た人の両方が楽しめる。お店や施設を（映画館などの娯楽施設）整備、検討して欲しい。地元で楽しめる所がないのが非常に不便で仕方ない (20歳代男性)
- ・長期的に富良野に住み続けていたいが、宅地の値段が高く、家を買って永住することが難しい。 (30歳代 性別無回答)
- ・外国の方に多く来ていただくのは賛成ですが、開発業者に荒らされることに懸念を持っています。特に投資目的と思われる案件を規制できればと思うのですが、富良野の環境を守っていくことが大切だと感じます。 (50歳代 性別無回答)
- ・産業としての明確なビジョンと基幹産業都市の市民の意識を育てる事、コンセンサスを確立する事。 (50歳代男性)
- ・持続可能な観光地づくり賛成です。一時的な急成長でインフラ整備、中心地やドラマロケ地だけの賑わいで終わることの無いよう、各産業を含め、連携した観光地づくりとなつていただきたいです。 (50歳代男性)
- ・観光客向け飲食店が多く、価格設定が高い。チェーン店など増やして住民の暮らしやすい市にしてほしい。バスが少なすぎて観光客が道路を歩いている。それかレンタカーを借りるので事故が多い。 (20歳代女性)
- ・夏の観光については、年々増加しているように思えるが、ラベンダーと風景だけに頼り、とても受け身で他力本願であるように思える。駅前や五条通商店街などの開発も中途半端で、魅力を感じない。沖縄の国際通りのような賑わいを希望する。富良野らしい緑や木々を活かした町づくりをしてほしい。又、富良野は元々ワールドカップが開催され、冬の観光やスキーに魅力があったのに、まったく力を入れていない。もつ

とニセコ町のように冬の街づくりにも力を入れ、1年を通して活気のある街づくりを強く希望します。私は富良野が大好きです。北市長、頑張ってください。（40歳代男性）

- ・20歳代、30歳代が住み良い場所にしなければいけないと思う。若者が少ない。働く場所が少ない。子育て、医療、交通の利便性、どれも欠けてはいけない。観光業を盛り上げたいのならば、そこに住み働き、生活していく人にとって良い場でなければ人の定着もなく、企業の中堅層がいない、状況を解決できないと思います。市立病院をもたない市は眼を向けてもらはず、取り返しのつかないことになると考えます。（20歳代男性）
- ・富良野盆地を一望できるなまこ山の景観整備を望みます。ヒヨロヒヨロの木が生い茂り、山頂に行ってもまったく市街すら見ることが出来ない。コミュニティバスで目的地への移動ができる環境を、観光も良いが市民の足が欲しい。老人にも足を。（70歳代以上男性）
- ・富良野市街地の中心部の閉店が目立ちます。富良野全体を見回すとき、西地区にまだ開発されていない農地が目立っています。その場所を住宅地として利用し、近くに商業施設があれば便利で住みやすいと思います。（70歳代以上男性）
- ・道路標識が外国人にも分かるように増やす。5条商店街の飲食店の活気がない。宿泊施設から観光エリアまでの距離があるのと、市内までの距離が。歩いて富良野のまちを楽しめるような工夫があったらな。外国人の移住が多くなって欲しい。山部にも空き屋がたくさんあるのを利用してもらったりしてほしい。（40歳代女性）
- ・観光客を周遊させた方が経済効果が高いので、観光振興は広域で進める方が良い（富良野、美瑛、上富、中富、占冠、南富）。6地区で1地区毎に景観の良い所を8ヶ所選定し、「富良野、美瑛景観48景」として売り出し、写真、インスタなどの愛好者向けのPRをすると周遊型に寄与するのではないか。美瑛の「青い池」のような自然環境を売りにする場所を6市町村で1ヶ所ずつでも新たな資源の活用を考えてみては？今後は外国人観光客の受入を強化しないと永続的な観光振興は計れない。日本人客は人口減、高齢化で必ず減少傾向になるため。倉本先生の資料館の話を新聞で見たが、富良野市もバックアップしてあげたら良いのではないかでしょうか。（70歳代以上男性）
- ・住民としては、ほどほどの観光地（今の知名度で充分）で富良野のローカルな感じが好きです。そこが魅力だと思います。あまり国際リゾート地のような街になりすぎると（ニセコのような）物価が高くなったり、住みづらい町になったりするのではないかと心配になります。現状維持で、子育てしやすい町であってほしいです。（30歳代女性）
- ・室内で子供が遊べる場所が少ない。千歳市のぴっぴちとせ、旭川カムイの杜公園、雨竜郡ちっくるのような場所があれば、住民と観光客を利用すると思います。リゾート地としては、そのうちニセコ化すると思うので、外国資本に買い占められないように思います。（30歳代男性）
- ・住民と観光客が近づきやすい（話がしやすい）環境が必要ではないかと思います。住

民は英語を耳にする機会がまだまだ少ないので、耳にする機会があれば話しかけられても身振り手振りと単語で話せるのでは？観光客は英語（中国語なども）から日本語への訳を目にする機会が多いと住民に話しかけやすいのでは？と思っています。うまく伝わらないかもしれません、日本語と他国語の訳される言葉がたくさん目にする事によりお互いが近くなるのでは？（50歳代女性）

- ・最近は海外の方が連泊し買い物をしている姿を見るようになったが、冬だけで夏は宿泊だけ、観光も素通り型多い、体験型や連泊しやすい観光を望む。また、障害のある子供や老人と家族と一緒に旅行できるように、ヘルパー（介護）や預かりなどが気軽に利用できる観光地、人にやさしい土地になってほしい。ガイドヘルパーもたくさん育成したらいいと思う。外国人旅行者的一部だが、マナーの悪さも目立つので、文化を伝えながらお互いが安心できる観光地を作つて欲しい。（20歳未満男性）
- ・TVの特集で「ふらの観光」といいながら、取り上げられているのは中富良野、美瑛だった…という事が多い。今のふらのに積極的に人を誘う目玉はないのでは。「マルシェ大成功」のように騒がれているけれど、地元の人間は納得していないと思います。これまでのふらのはまずハコモノを作つてから、テナントを募る。困つてから駐車場を捜すような展開で、まず一番大事なのは駐車場で、きれいなトイレなのでは。地元優先と言つても、何か、人が行きたくなる大きなモノ業者でないと、同じようなものがいくつもあっても興味はわからない。バリアフリーの点でも、遅れないと感じます。マルシェを何故一つ一つの建物にして、天候の悪い時に不便な思いをさせているのか、未だに謎です。（50歳代女性）
- ・春から秋にかけて直売に携わっていますが、1人でも多くの人に利用してもらいたいと思います。昨年の夏もいろいろな地域の方々が利用していただきました。（60歳代女性）
- ・富良野地方は国立、道立公園、東京大学演習林など大自然を有する風景のすばらしい地域です。これは後世に伝える義務があります。安いリゾート開発を進めてはいけない。農業と大自然の調和が大切。東大演習林は日本が世界に示すことのできる健康的な森づくりをしています。それらを国内外の人々に示せるようなガイド付き散策ツアーナなどを提案します。私はパチンコ屋さんなどで明らかに依存症だと思う人を見ることがあります。本人も家族も大変だと思うので、リゾート地でのギャンブルはあつてはならないと思います。（60歳代 性別無回答）
- ・国内外問わず、観光の方が多く来られ富良野市が活性化していくことには大いに賛成です。ただ、国民性もあると思いますがどうしても特にアジア圏の方のマナーが気になるところであります。これは富良野だけではなく日本全国問題になっている事とも思います。日本旅行へのガイドブックなどに記載したり、旅行会社の方々にももっと理解してもらつたりして欲しいところであります。（日本から海外へ行く際にはいろいろその国のマナーなど勉強していると思いますので）同じ日本人でも、バカנסということでマナー違反してしまう方もいらっしゃいますが。観光地となると、この辺りが一番の懸念材料です。観光のお客様を招致する際に、富良野マナーとしてお伝え

していくとか。禁止禁止と言うよりも「こうしてください」という理解していただく事も大切と思います。観光が更に盛んになれば、地元の雇用も増え、人口も増え市が活性化するというプラスな方向へ、是非とも向かってほしいです。うわべの観光業にはなってほしくないです。地道な、地産の野菜や果物（メロンやスイカ、トウモロコシ、アスパラ等など）。自然豊かな景色、昔のようにスキーのワールドカップ等。そもそも富良野が知ってもらえるきっかけとなった事にも振り返りながら、地元を大事にそして発展してほしいです。また、今の観光地の多くは、地元の人はあまり訪れないところが多いように思います。（遠くからお客様が来た時に行くくらいではないでしょうか。）ですので、例えば、地元の公園（朝日が丘公園や鳥沼公園）も地元の人たちももっと利用できるようにし、整備し、地元の人も観光の人も訪れる所を。せっかく、富良野というネームブランドがあるので、そこに甘えることなく活性化してほしいです。（50歳代女性）

- ・富良野市が観光客でにぎわうのは、ラベンダーのついでに来てくれる夏とスキーの冬だと思う。その季節以外のフラノマルシェなどを見ると経営が大変ではないかと感じる。そのような施設が、より地域住民の足が運びやすくなると持続可能な観光地づくりにつながる上、観光の活発化に理解を示す人も増えるのではないか。観光客をターゲットに展開するのも良いが、地域住民のこととも忘れない方が安定すると考える。

(例) お客様が少なめの時季のタマリーバをもっと自由に使えるようにする。机といすを増やし、マルシェ内での飲食物購入がなくても休憩OKにする。ちょっとしたおしゃべりができる、路線バスの時間まで雨風をしのいで時間を有効に使えるような場所とする。もしかすると、私が知らないだけで、もう地域住民にも長く使ってもらえるようになっているのかもしれません。4年近くほとんどの時間を市外で過ごし、帰省しても実家が市街地ではないので…そうであればすみません。また、例に挙げたことですが、使う人のマナーや考え方の違いでトラブルになる可能性など簡単な話ではないと思います。ですが、せっかくのスペースがもったいないのでバス待ちの時に宿題ができたらと高校生の時から思っていました。飲食物を購入せず、机といすを使うのは都合が良すぎるでしょうか。買い物をした人を優先する、1時間以内にする、などルール付でも観光に水を差すでしょうか。（20歳代女性）

- ・富良野市の観光はマルシェの策のみのようを感じる。マルシェだけでは限界ですか。（60歳代女性）
- ・倉本聰頼みの観光資源から少しずつ脱却していく事が必要と思われます。鉄道による観光客の誘致にまだ可能性があるように思われます。JR頼みではなく、市の方で色々と手を打つ必要があると思われます。（50歳代男性）
- ・住民も観光客も一緒に楽しめる手軽なイベントが、もっと増えると良いと思う（夏場のフラビアモール的な）。（50歳代女性）
- ・食、地元農産物の利用。住、長期滞在型の住居。衣、着物、ゆかたでのイベント参加、お茶、おどり、ヘソ祭りワイン祭り。（60歳代女性）
- ・富良野はそもそも「ドラマ」で人気が出て観光地化されたイメージが強いのですが、

今ではその人気は薄れ、国内からの観光客は少なくなったものの、海外から的人が増えたことで、近年では客層がかなり変わっている気がしますが…そのために、街の雰囲気も変わったことに、残念な部分もあります。以前、観光関連の職場で働いていた時に、何度も通って下さっているリピーターの方々から（国内）「昔の良さがどんどん無くなつて行くのが残念」と言うお声を聞きました。その方々は、今では来られなくなっています。私自身、他県からの居住なので、そのお客様のお気持ちは良くわかります。古くなったものを新しく整備することは大切だと思いますが、何でも新調してしまうのは、何とも…ただただ、今の富良野は全体的に、何もかもが中途半端でアンバランスに見えています。観光客が増えていることは良い事だと思いますが、増えていることに対しての受入体制が整えられているとは思えず…ここ最近の状況で一気に問5の問題が増加しているのに拘わらず、未だにホテルや宿泊施設は増える一方。今ままでは問題点が増加するばかりでは？コンビニやスーパー、飲食店で品物が無かつたり、満員で入れなかつたり、静かだったところにいつの間にか宿泊施設に変化した住宅で騒がれたり…戸惑うことしばしばです。もちろん、利点として、問4に挙げられていることも、街にとっては重点だと思います。「市」としては、まずは住民の生活を一番に思案していただいて…住民が良い生活をしていると、表情も自然と良くなり、それがまた観光客へのアピールの一つとなるような。風景、環境↔観光、企業↔市↔住民のサイクルが整った街づくりができる事を強く願います。（50歳代女性）

- ・食と農を結びつける施策。（30歳代男性）
- ・近年、外国人を対象とした観光地になりつつあるような感じがする。特に宿泊料金など…。今は良いが、外国人が増え、日本観光客が減って、外国人の日本ブーム（ふらのブーム）が去った時に、ふらのが観光地として成り立たなくなる恐れがあるのではないか！目前の金より、持続的に来てもらえる日本人を対象とした観光地づくりを行ってほしい。（40歳代男性）
- ・観光施策発展には賛同するが、それにより私生活に影響が出るのは困る。特に夏場のマルシェ周辺の車の交通量は仕事帰りにも多いのでなんとかならないかと考える。（30歳代男性）
- ・外国人への偏見、差別的な考え方、発言がとても嫌に感じます。特に具体的な理由もなく、一方的に全ての海外の方々へのとらえ方を考え直す企画や努力が必要と考えます。そして、滞在する外国人への富良野の環境美化に協力していただける宣伝活動も具体化していただきたい。（60歳代女性）
- ・ニセコのようになってほしくない！今はいいけど、外国人が来なくなつたら、外国人オーナーのホテルや建物などは廃墟になつてしまう。宅地は、外国人に売らない方がいい。売るしたら、区画を決め、その1区画にかためて、そこだけを売るとかにした方がいい！（40歳代男性）
- ・散歩道があつたらステキです。（50歳代女性）
- ・新しくできるホテルの温泉が地元客（日帰客）NGだったり、観光客を優遇するよう

なシステムはいかがなものか。観光に入れすぎ。中富や上富は、子供の医療費は無料なのに富良野は違つたり。南富は、あるホテルは、市民限定のディナー、ビンゴゲームなどサービス価格でやつてると聞くし…富良野は地元民に不遇！！あと、へそ祭りや地元のお祭りの時の駐車場が狭すぎ、無さすぎ。けっこう遠い所に止めて歩いたりと、大変…。別に変にオシャレで生活感を消し去らなくても良いと思うんです。田舎の富良野の地域密着型のあたたかい雰囲気が出ても、観光に来てくれる人々は富良野のおいしい食、美しい景色を見に来てくれていると思うので。都会にあるような生活感の無い感じは都会にまかせても良いと思う。田舎ならではの空気感を大事に、地元民を大事に、住みやすい町づくりを大切に。これからやっていってほしいなアと思います。（20歳代女性）

- ・宿泊施設は増えてきたと思うが、飲食店の数が少ないように感じる。とくに北の峰地区。もう少し飲食店が増えるように努力した方がよいのではないか。小さな子供、赤ちゃんが遊べる場所がないので、天候に左右されることなく1年中子供が遊べる施設があった方が、子育て世代も訪れたくなると思う。車（レンタカー含む）を持っていない場合、富良野市内が富良野市近郊を観光する場合、移動が不便ではないか。バスの運行が少なすぎる。旭川、札幌へのアクセスも不便に思う。（40歳代男性）
- ・通信速度が速くなるように整備すべき。インターネット環境を良くし、キャッシュレスにも対応できた方が良い。（50歳代男性）
- ・スーパーやレストランでの接客が第三者から見て冷たいことがある。言葉が通じなくて大変なのはわかるが、そのために言葉がわかる人を採用したり色々対策はあると思う。風習の違い等もあると思うがマナーの悪い方が多く感じるため、最低限のマナーは看板やポスターで掲示すると良いと思う。（20歳代女性）
- ・富良野はラベンダーだけでなく、野菜やスイカ、メロンなど、おいしいものがありますが、正直、地元に住んでいても高くてなかなか買えません（特にメロン、スイカ）。フラノマルシェも観光客メインのお店ばかりで、地元の人があまり行かないのが現状では？せっかくの立派な建物なのに、地元の人が利用しづらいのはもったいないなと思います。観光も大事ですが、地元の人が遠慮して、外に出なくなってしまうのはどうかと思います。（40歳代女性）